

豊後大野市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
結果報告書

令和8年3月
豊後大野市

目 次

第1章 調査の概要	3
1 調査の目的.....	3
2 調査概要.....	3
3 回答結果.....	3
4 調査結果利用上の注意.....	3
第2章 調査結果	7
1 記入について.....	7
2 年齢などについて.....	8
3 あなたのご家族や生活状況について.....	10
4 からだを動かすことについて.....	16
5 食べることについて.....	22
6 毎日の生活について.....	27
7 地域での活動について.....	36
8 たすけあいについて.....	42
9 健康について.....	49
10 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	54
11 移動手段について.....	55
12 生活支援について.....	57
13 人生の終わりに向けた活動について.....	59
第3章 判定結果	63
1 項目別評価.....	63
2 社会参加に関して.....	88
第4章 調査総括	95
1 調査結果を踏まえた課題と施策の方向性.....	95
(1) 自立した生活の維持と生活機能の現状.....	95
(2) 運動機能・転倒リスクと身体機能低下への対応.....	95
(3) 外出機会と移動手段への不安.....	95
(4) 口腔機能・栄養状態とフレイル予防.....	95
(5) 社会参加と地域とのつながり.....	96
(6) 健康状態・認知機能・精神面の状況.....	96
(7) 認知症に対する意識と権利擁護に関する課題.....	96
(8) 日常生活の困りごとと生活支援ニーズ.....	96
2 総括.....	97

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第10期豊後大野市介護保険事業計画」の策定に向けて、高齢者の生活状況や健康状態、地域における活動の状況などを把握し、豊後大野市の高齢者福祉施策の検討や、介護予防の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査概要

- 調査対象者 : 令和7年11月1日現在、在宅で暮らす65歳以上の方
(要介護1から5の介護認定者を除く)
- 調査地域 : 豊後大野市全域
- 調査票配布数 : 11,528件
- 調査期間 : 令和7年11月26日～12月26日
- 調査方法 : 郵送による配布・回収(無記名で回答)

3 回答結果

調査対象者数	有効回収数	有効回答率
11,528件	7,754件	67.3%

4 調査結果利用上の注意

- 端数処理の関係上、構成比(%)の計が100%とならない場合がある。
- 図表の構成比(%)は小数第2位以下を四捨五入したものである。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問は、すべての構成比(%)を合計すると100%を超える場合がある。
- 図表の”N=”は、各設問の対象者数を表す。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合がある。

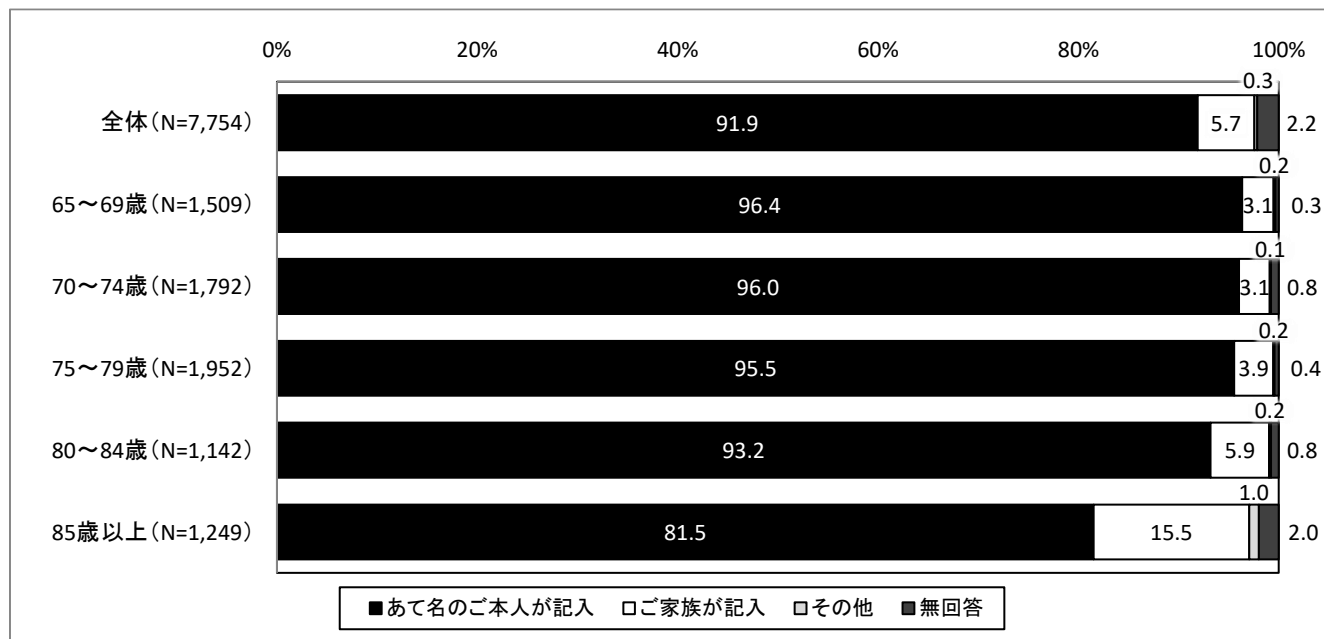
第 2 章 調査結果

第2章 調査結果

1 記入について

(1) 調査票を記入されたのはどなたですか

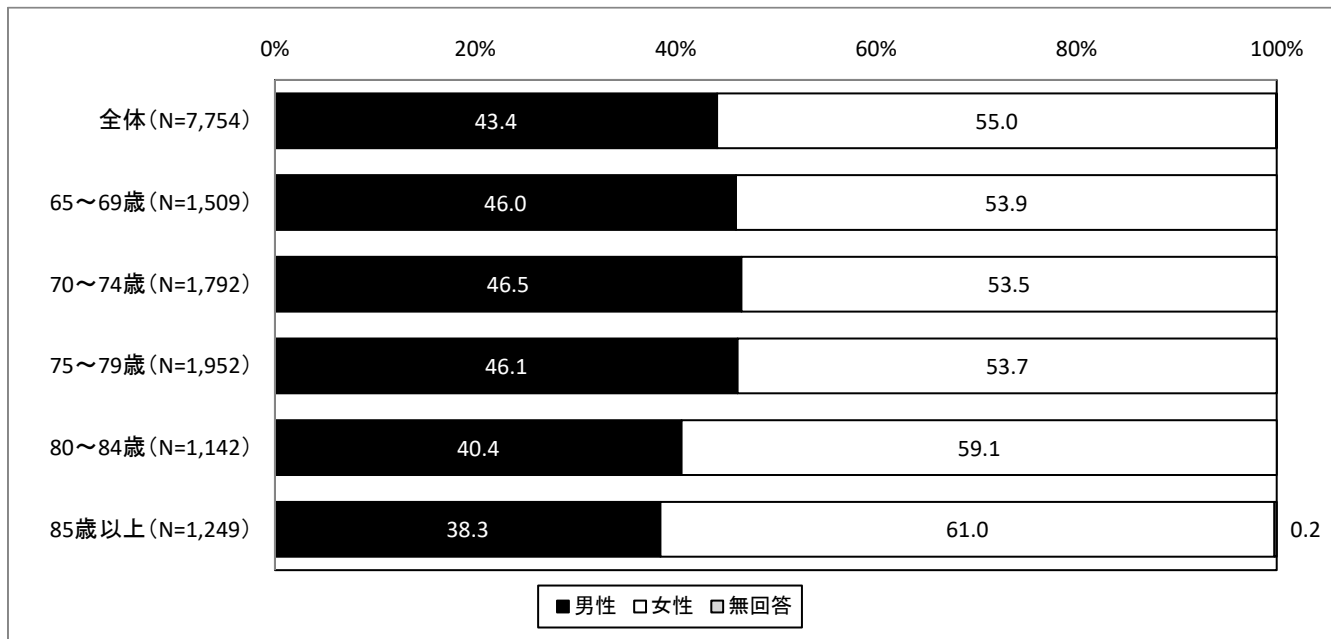
「ご本人が記入」が91.9%で最も多く、次いで「ご家族が記入」5.7%、「その他」0.3%の順となっています。



2 年齢などについて

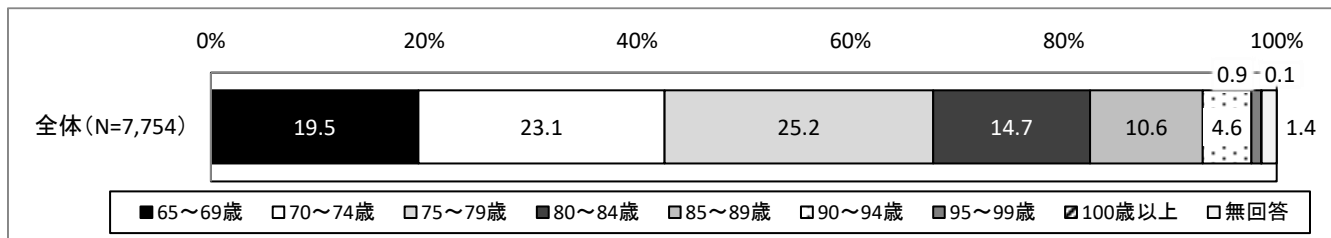
(1) あなたの性別を教えてください

「男性」が43.4%、「女性」が55.0%となっています。



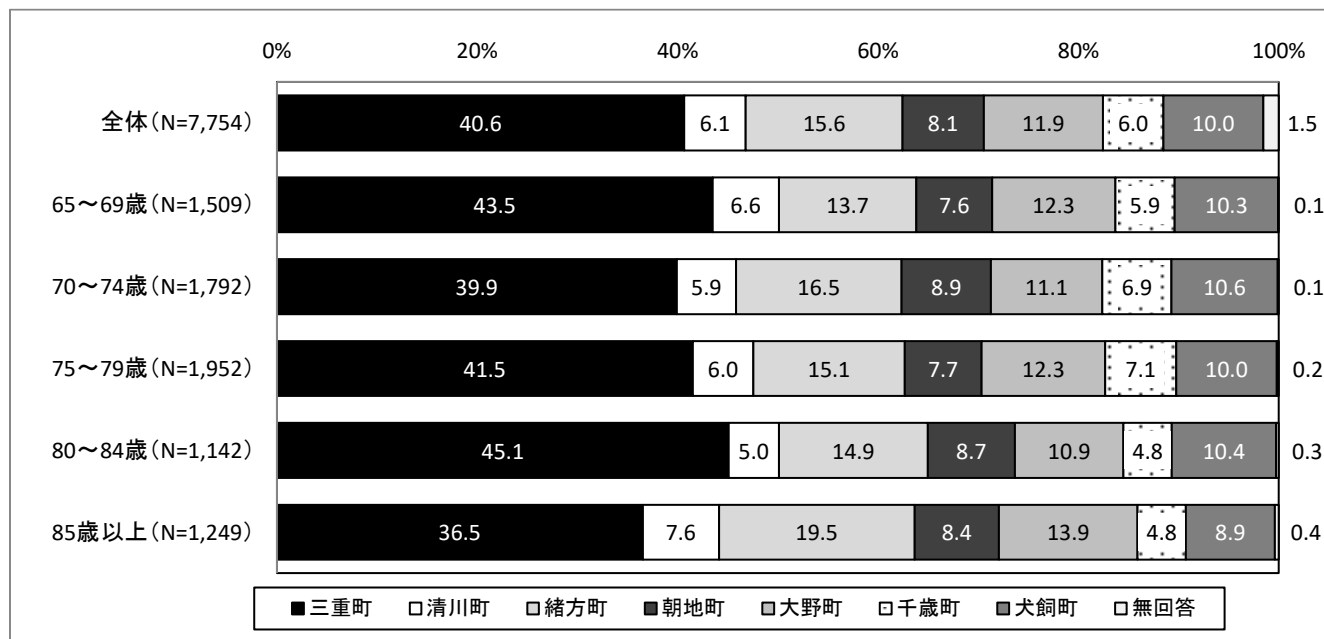
(2) あなたの年齢を教えてください

「75～79歳」が25.2%で最も多く、次いで「70～74歳」23.1%、「65～69歳」19.5%の順となっています。



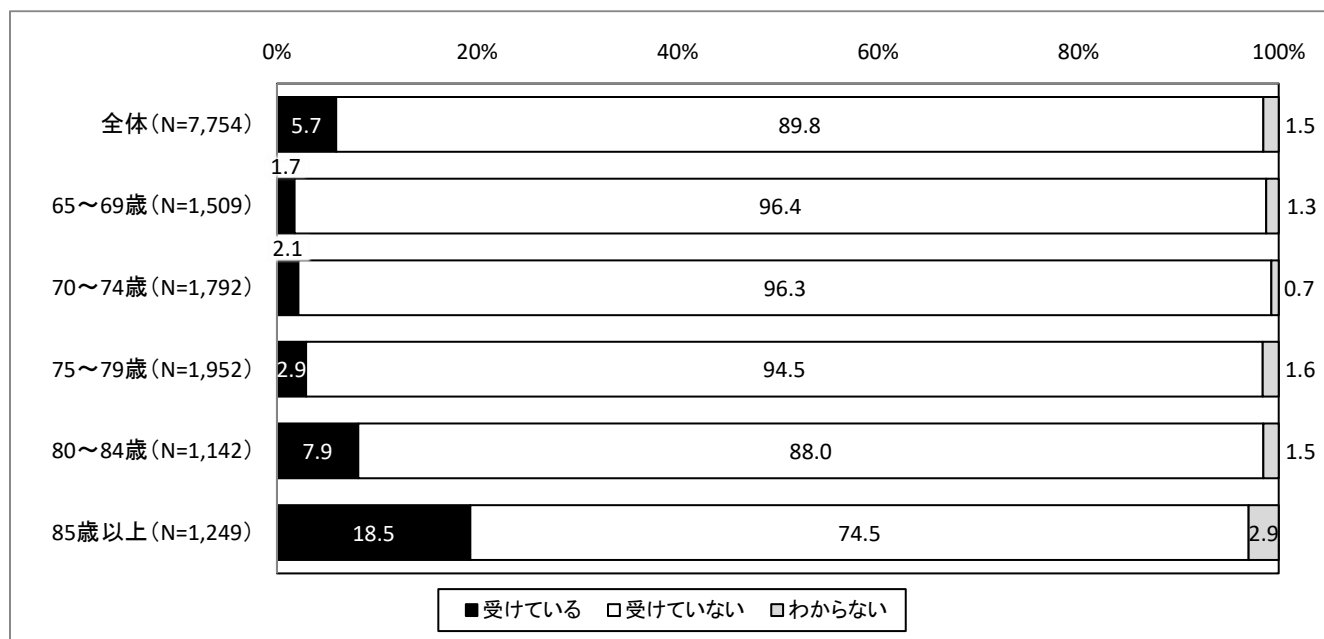
(3) あなたの住んでいる地区を教えてください

「三重町」が40.6%で最も多く、次いで「緒方町」15.6%、「大野町」11.9%の順となっています。



(4) あなたは介護保険の要支援認定(1もしくは2)を受けていますか

「受けている」が5.7%、「受けていない」が89.8%となっています。

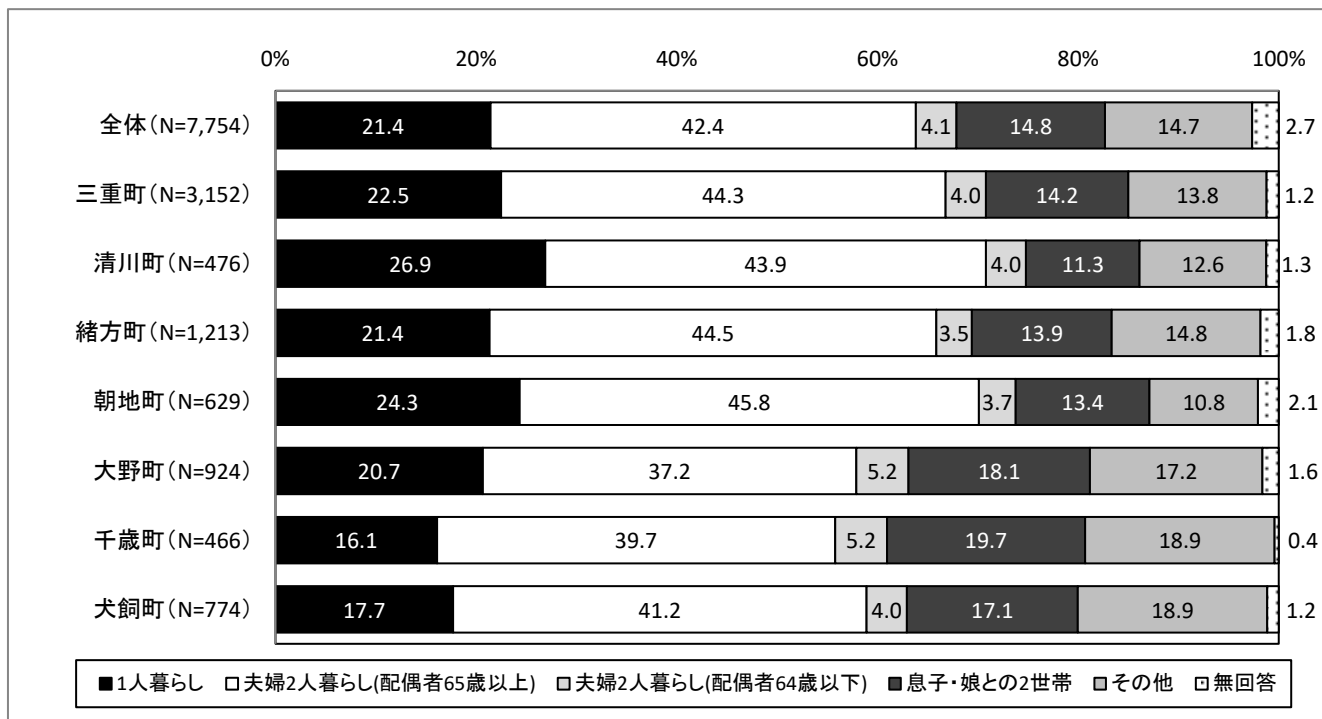
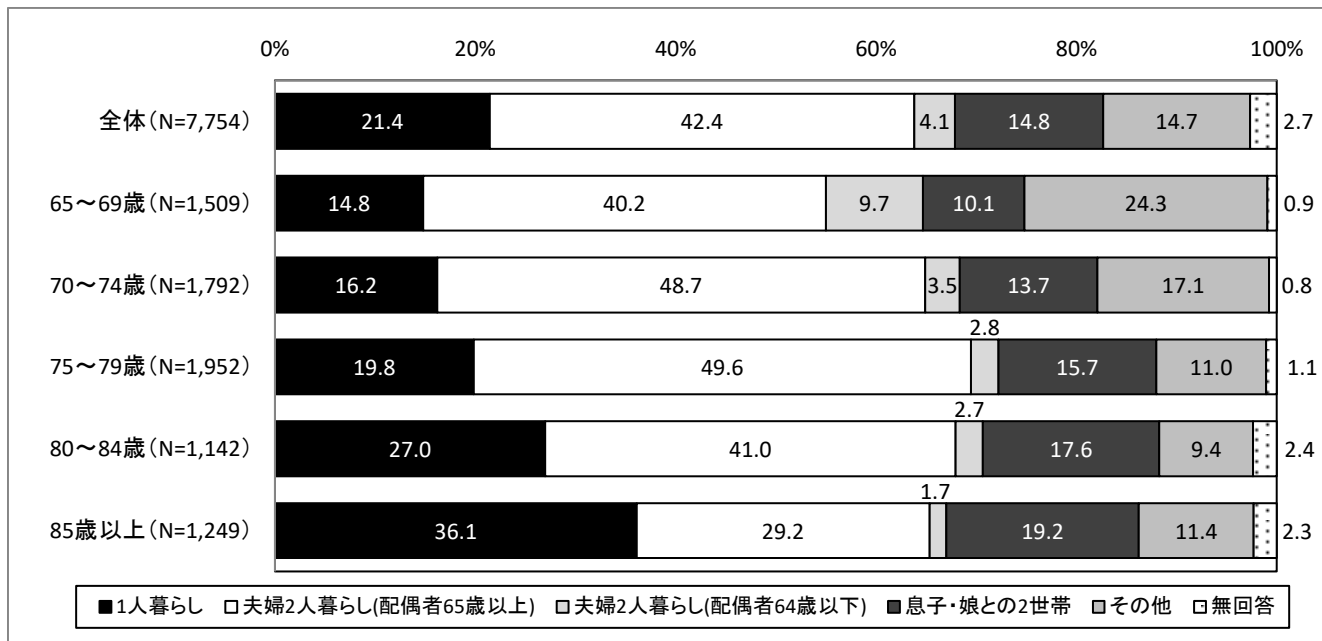


3 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が42.4%で最も多く、次いで「1人暮らし」21.4%、「息子・娘との2世帯」14.8%の順となっています。

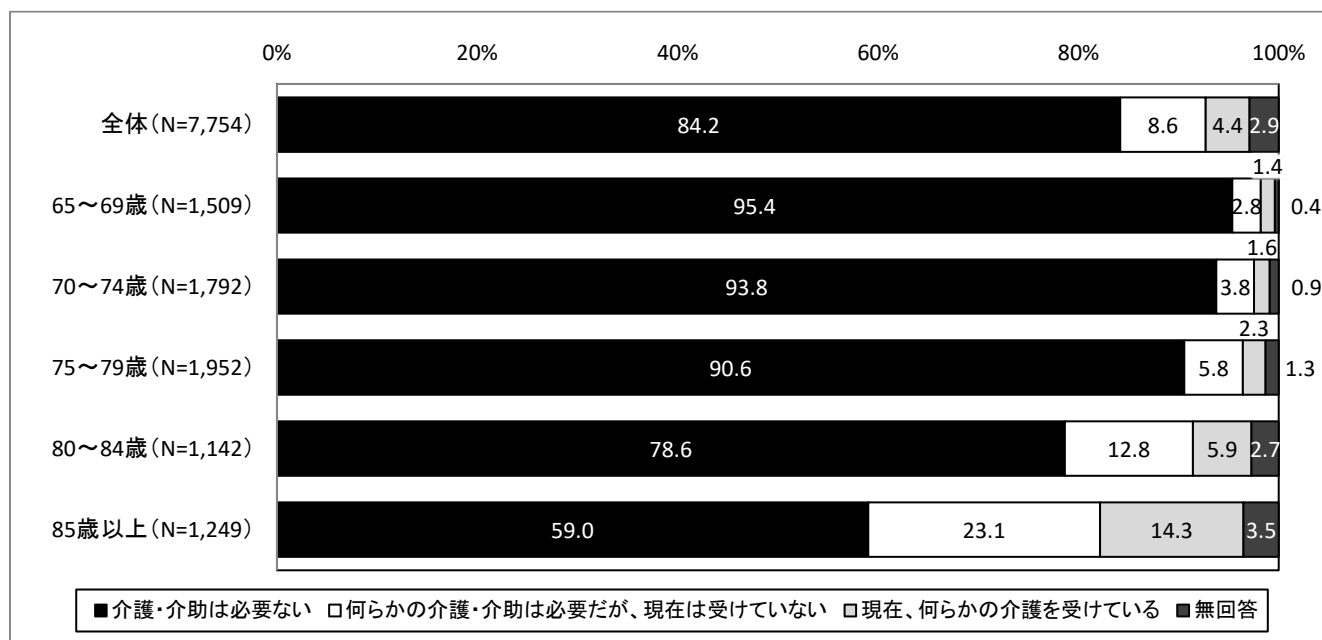
年代別に見ると、75～79歳では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が全体と比べて7.2ポイント高く、85歳以上では「1人暮らし」が14.7ポイント高くなっています。また、65～69歳では「息子・娘との2世帯」が4.7ポイント低くなっています。



(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

普段の生活でどなたかの介護・介助が必要かについては、「介護・介助は必要ない」が 84.2%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」8.6%、「現在、何らかの介護を受けている」4.4%の順となっています。

年代別に見ると、年齢が高くなるほど「介護・介助は必要ない」が減少する傾向にあります。また、85歳以上では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」が他の年代と比べて高くなっています。

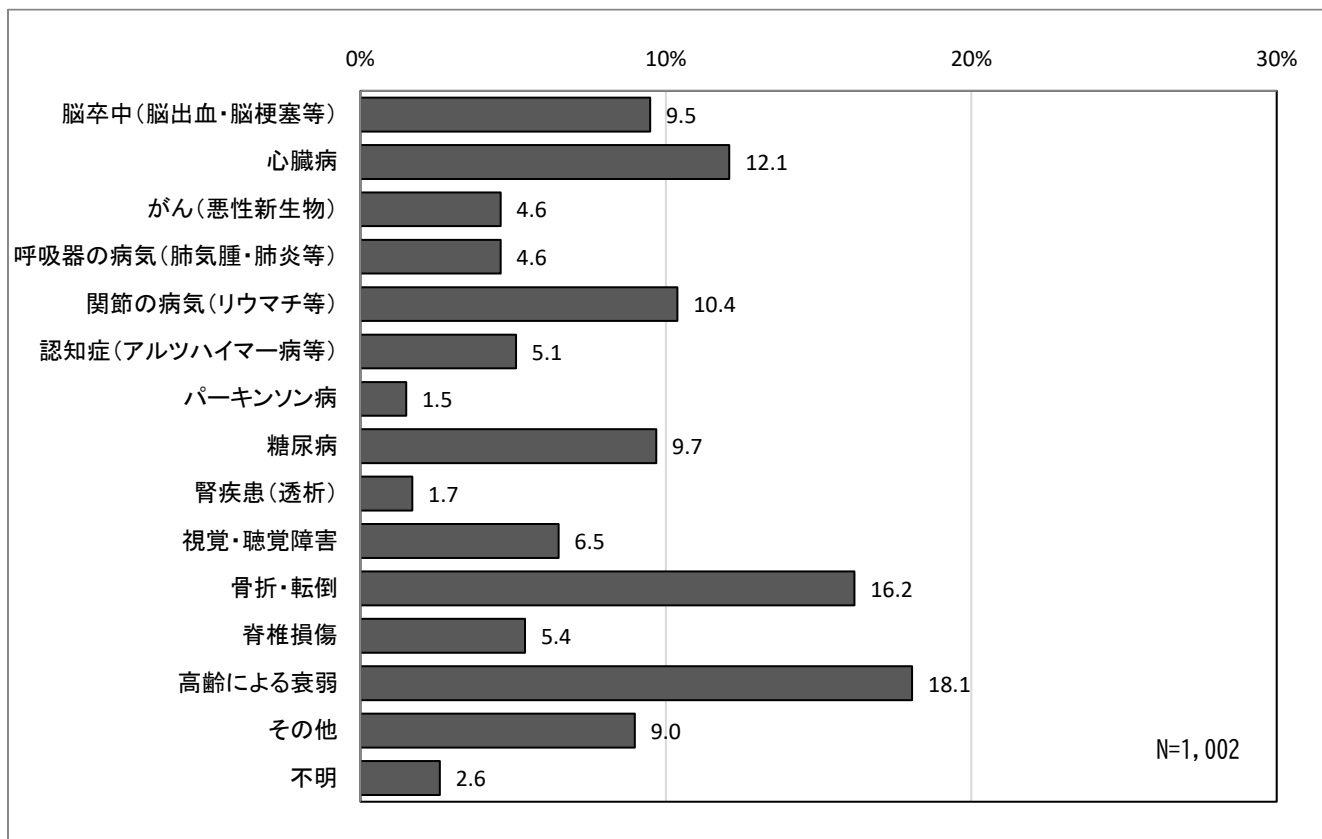


【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

(2) -① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（複数回答）

介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が18.1%で最も多く、次いで「骨折・転倒」16.2%、「心臓病」12.1%の順となっています。

年代別に見ると、年齢が高くなるほど「骨折・転倒」などで高くなっています。



(上段：構成比 下段：人数)

属性	区分	全体	脳卒中 (脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性 新生物)	呼吸器の 病気 (肺気腫・ 肺炎等)	関節の 病気 (リウマチ 等)	認知症 (アルツ ハイマー 病等)	パー キン ソン 病	糖尿 病
総数	-	100.0	9.5	12.1	4.6	4.6	10.4	5.1	1.5	9.7
		1,002	95	121	46	46	104	51	15	97
年齢	65～69歳	100.0	17.2	6.3	3.1	0.0	12.5	9.4	6.3	7.8
		64	11	4	2	0	8	6	4	5
	70～74歳	100.0	14.6	9.4	9.4	5.2	13.5	6.3	3.1	13.5
		96	14	9	9	5	13	6	3	13
	75～79歳	100.0	10.8	10.8	5.1	7.6	13.3	7.6	0.0	17.1
		158	17	17	8	12	21	12	0	27
	80～84歳	100.0	9.9	12.7	5.6	4.7	10.8	5.2	1.4	11.3
		213	21	27	12	10	23	11	3	24
	85歳以上	100.0	6.8	13.7	3.2	4.1	8.3	3.4	1.1	6.0
		468	32	64	15	19	39	16	5	28

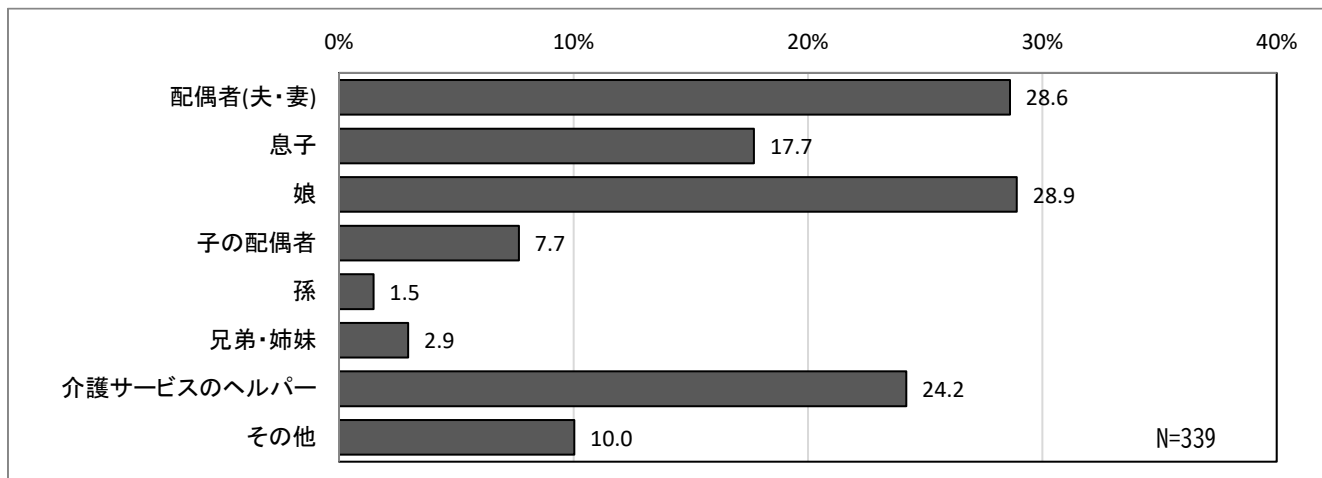
属性	区分	腎疾患 (透析)	視覚・ 聴覚障 害	骨折・ 転倒	脊椎 損傷	高齢 による 衰弱	その他	不明
総数	-	1.7	6.5	16.2	5.4	18.1	9.0	2.6
		17	65	162	54	181	90	26
年齢	65～69歳	1.6	3.1	7.8	3.1	12.5	10.9	0.0
		1	2	5	2	8	7	0
	70～74歳	1.0	7.3	10.4	4.2	6.3	14.6	5.2
		1	7	10	4	6	14	5
	75～79歳	0.6	5.7	13.9	9.5	8.9	7.6	5.7
		1	9	22	15	14	12	9
	80～84歳	1.9	5.2	20.7	8.0	15.0	10.8	1.4
		4	11	44	17	32	23	3
	85歳以上	2.1	7.7	17.1	3.4	25.6	7.3	1.9
		10	36	80	16	120	34	9

【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」方のみ】

(2) -② 主にどなたの介護、介助を受けていますか（複数回答）

主にどなたの介護、介助を受けているかについては、「娘」が28.9%で最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」28.6%、「介護サービスのヘルパー」24.2%の順となっています。

年代別に見ると、85歳以上では「息子」「娘」「介護サービスのヘルパー」が高くなっています。



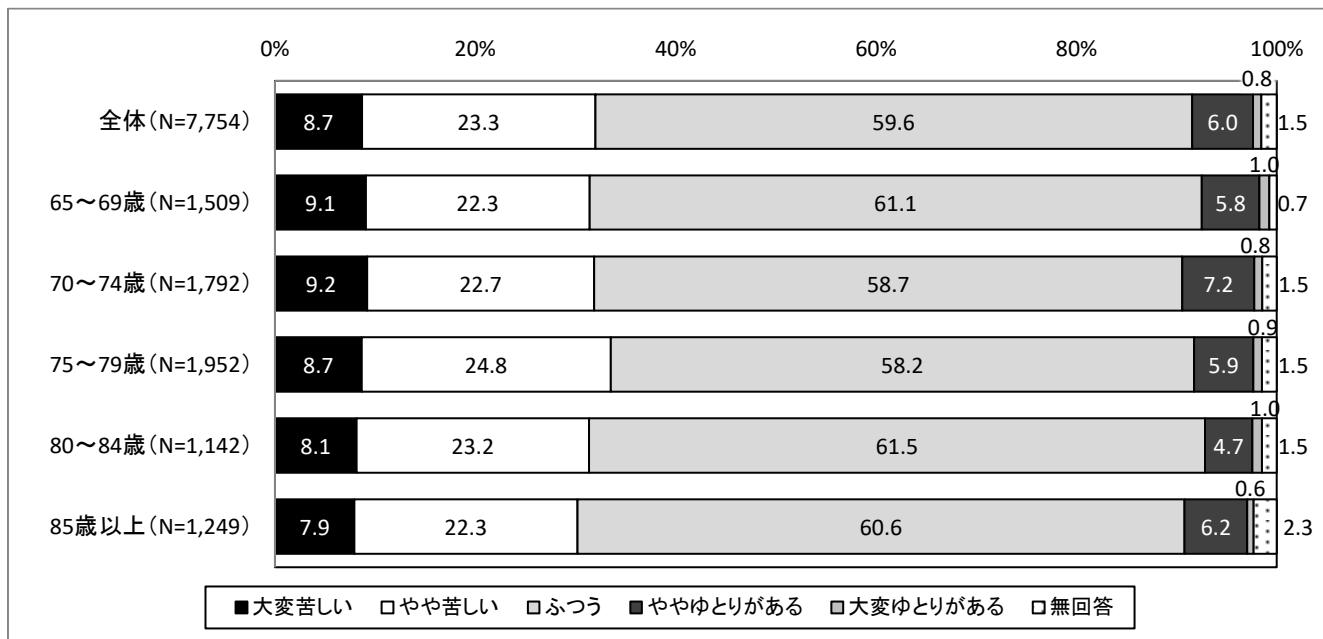
(上段：構成比 下段：人数)

属性	区分	全体	介護者							
			配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービス のヘル パー	その 他
総数	-	100.0	28.6	17.7	28.9	7.7	1.5	2.9	24.2	10.0
		339	97	60	98	26	5	10	82	34
年齢	65～69歳	100.0	19.0	9.5	9.5	0.0	0.0	14.3	23.8	33.3
		21	4	2	2	0	0	3	5	7
	70～74歳	100.0	42.9	17.9	14.3	7.1	0.0	3.6	10.7	17.9
		28	12	5	4	2	0	1	3	5
	75～79歳	100.0	52.3	9.1	20.5	2.3	0.0	4.5	27.3	6.8
	44	23	4	9	1	0	2	12	3	
	80～84歳	100.0	44.8	9.0	32.8	6.0	1.5	0.0	14.9	3.0
	67	30	6	22	4	1	0	10	2	
	85歳以上	100.0	15.6	24.0	34.1	10.6	2.2	2.2	29.1	9.5
	179	28	43	61	19	4	4	52	17	

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

経済的にみた現在の暮らしの状況については、「ふつう」が59.6%で最も多く、次いで「やや苦しい」23.3%、「大変苦しい」8.7%の順となっています。

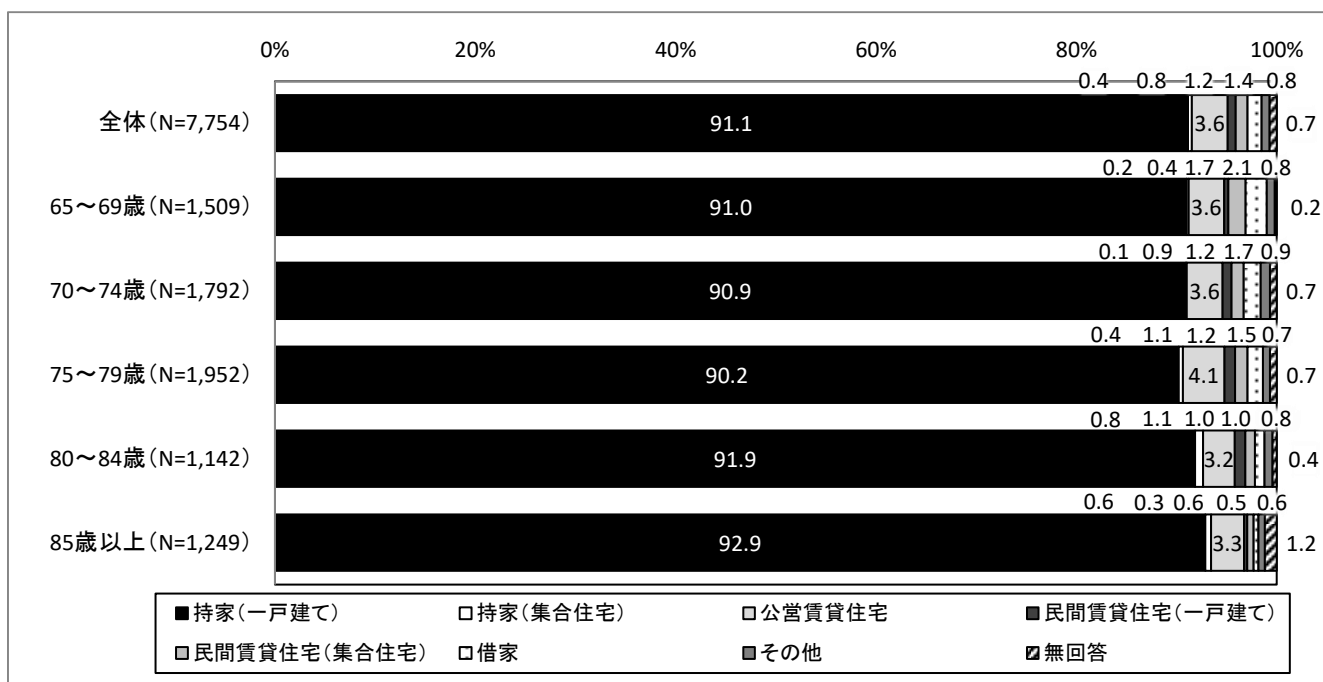
年代別では大きな差は見られません。



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

住んでいる住居については、「持家（一戸建て）」が91.1%で最も多く、次いで「公営賃貸住宅」3.6%、「借家」1.4%の順となっています。

年代別では大きな差は見られません。

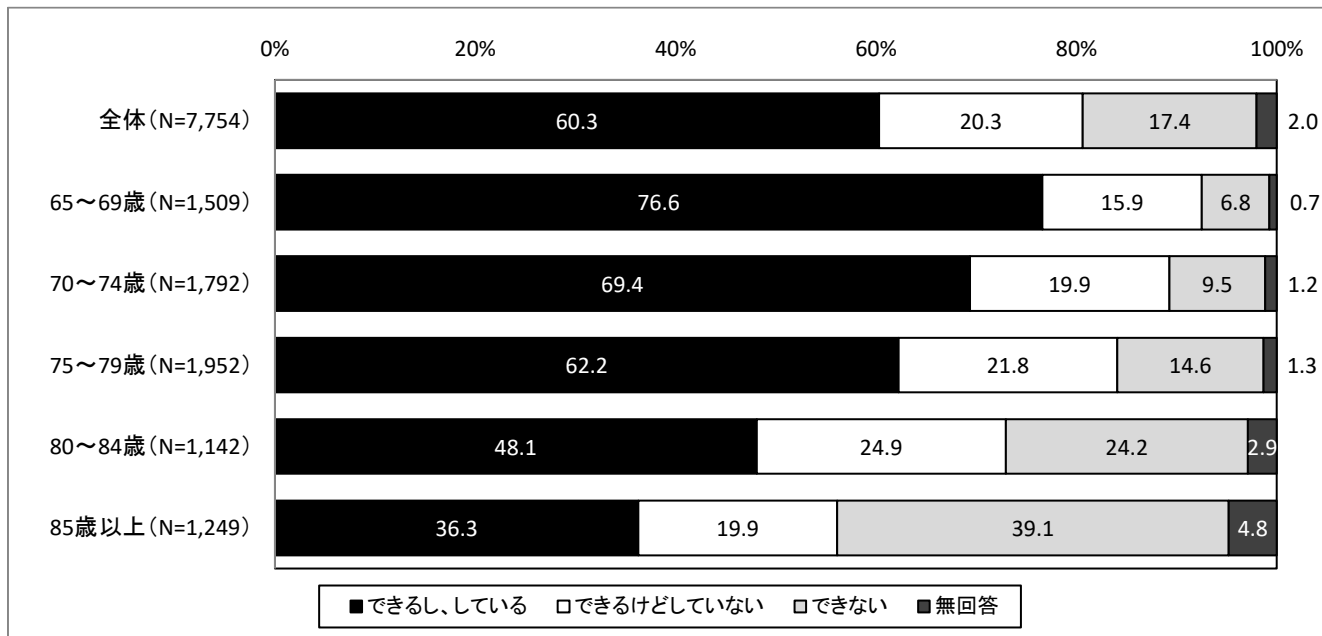


4 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が 60.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」20.3%、「できない」17.4%の順となっています。

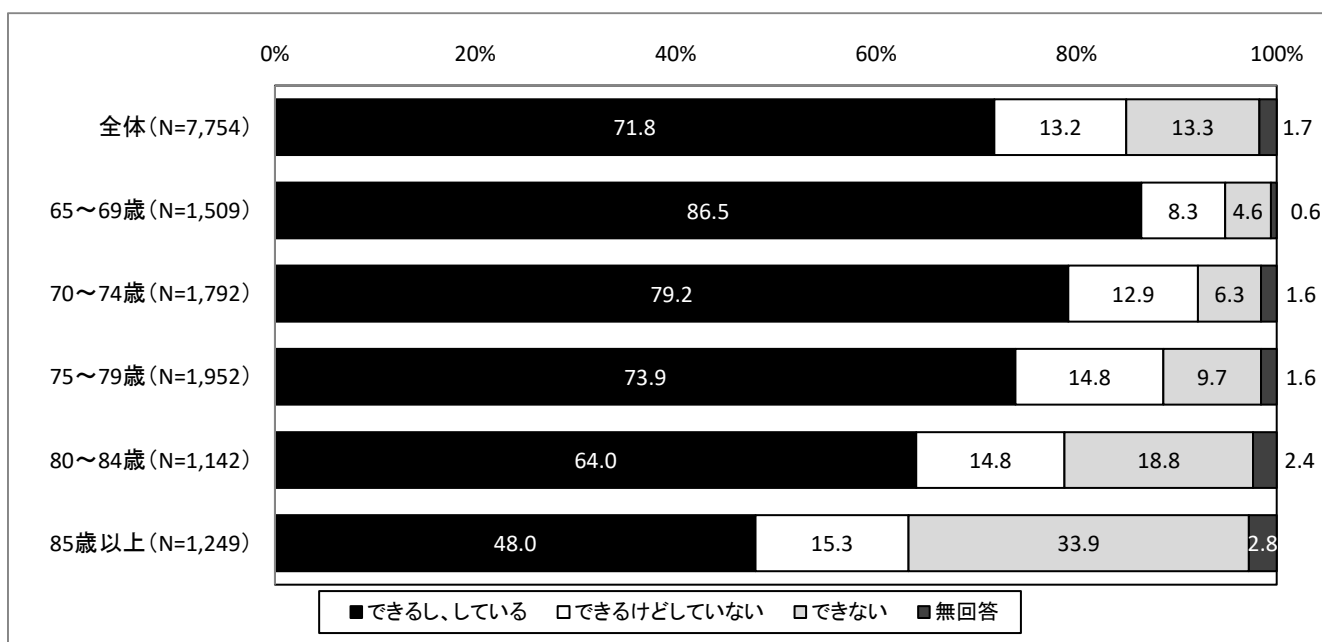
年代別に見ると、年齢が高くなるほど「できない」が増加する傾向にあります。



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が 71.8%で最も多く、次いで「できない」13.3%、「できるけどしていない」13.2%の順となっています。

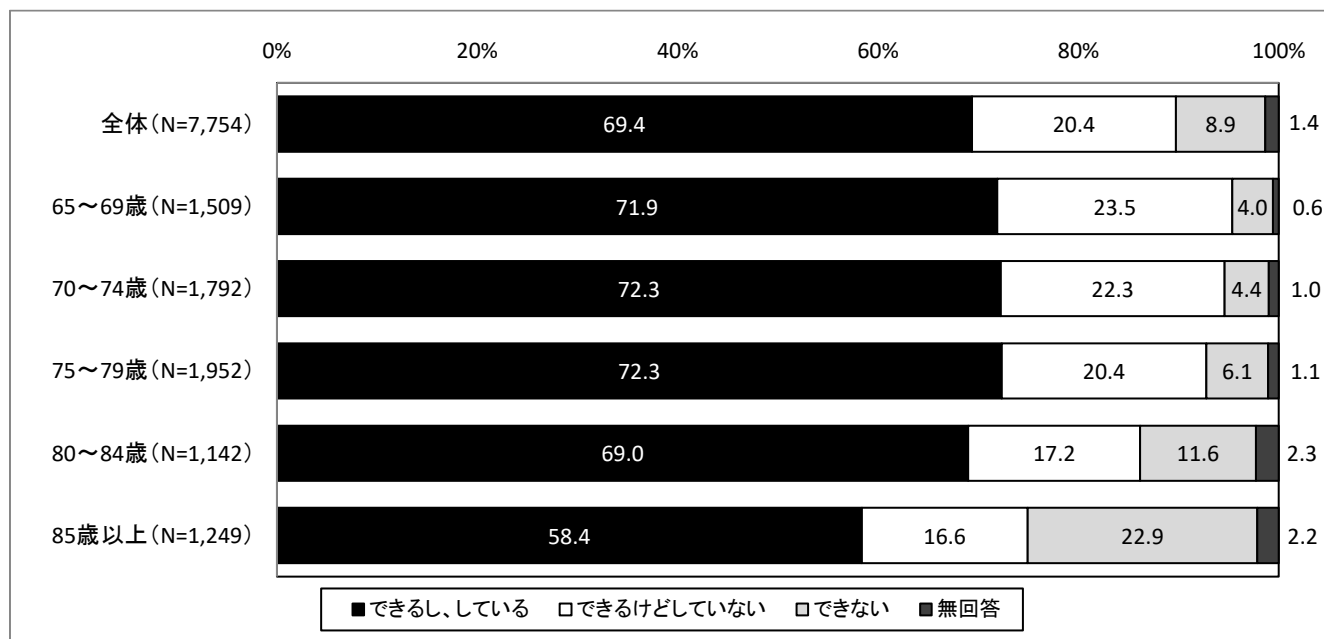
年代別に見ると、年齢が高くなるほど「できるし、している」が減少する傾向にあります。



(3) 15分位続けて歩いていますか

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が69.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」20.4%、「できない」8.9%の順となっています。

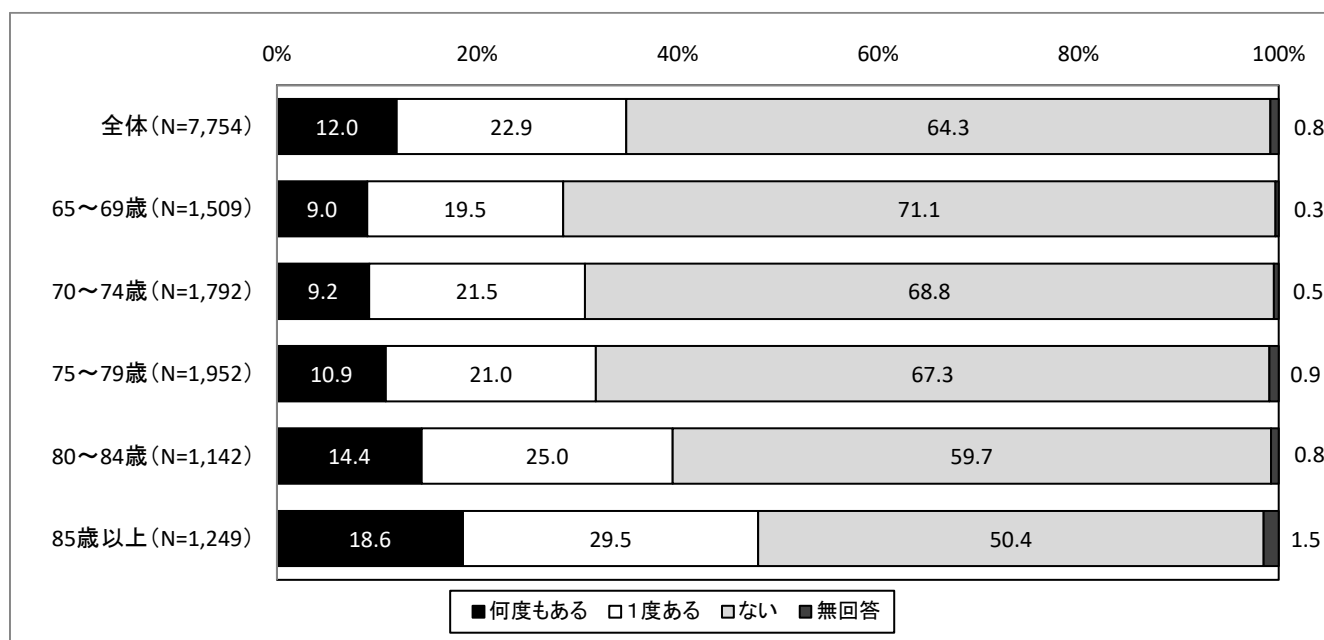
年代別に見ると、年齢が高くなるほど「できない」が増加する傾向にあります。



(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が64.3%で最も多く、次いで「1度ある」22.9%、「何度もある」12.0%の順となっています。

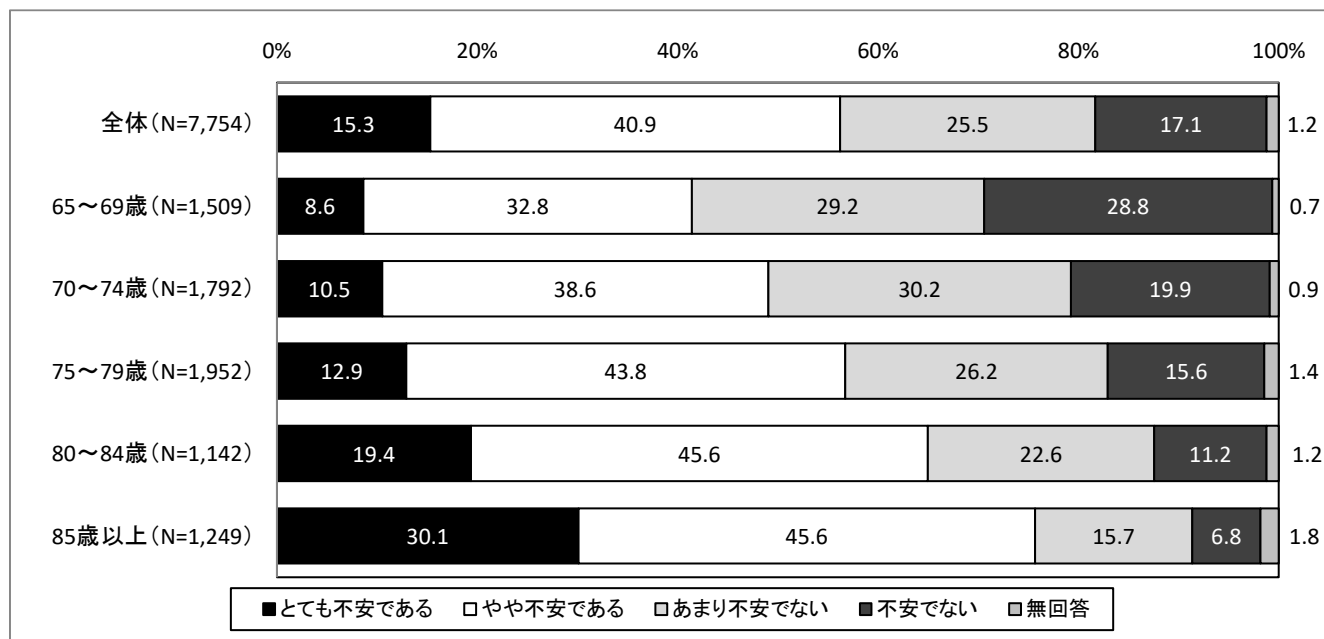
年代別に見ると、85歳以上では「何度もある」と「1度ある」を合わせた『ある』が全体と比べて13.2ポイント高くなっています。



(5) 転倒に対する不安は大きいですか

転倒に対する不安が大きいかについては、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』が56.2%で「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた『不安でない』の42.6%を上回っています。

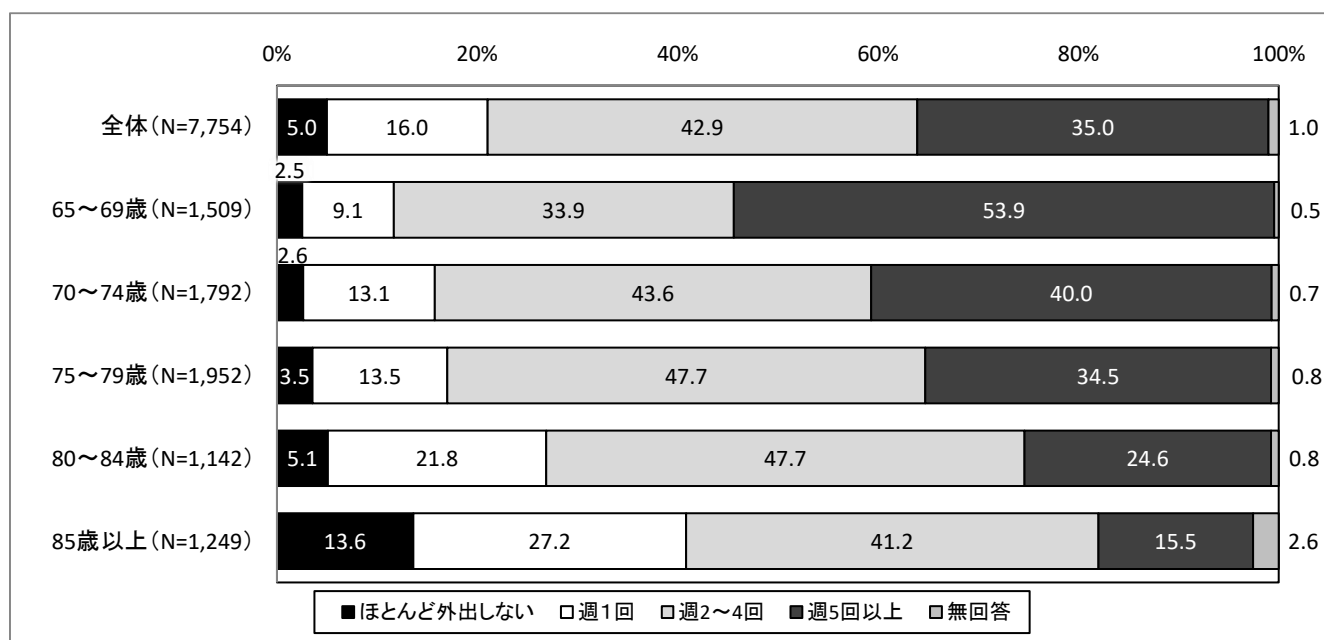
年代別に見ると、年齢が高くなるほど『不安である』が増加する傾向にあります。



(6) 週に1回以上は外出していますか

週に1回以上は外出しているかについては、「週2～4回」が42.9%で最も多く、次いで「週5回以上」35.0%、「週1回」16.0%の順となっています。

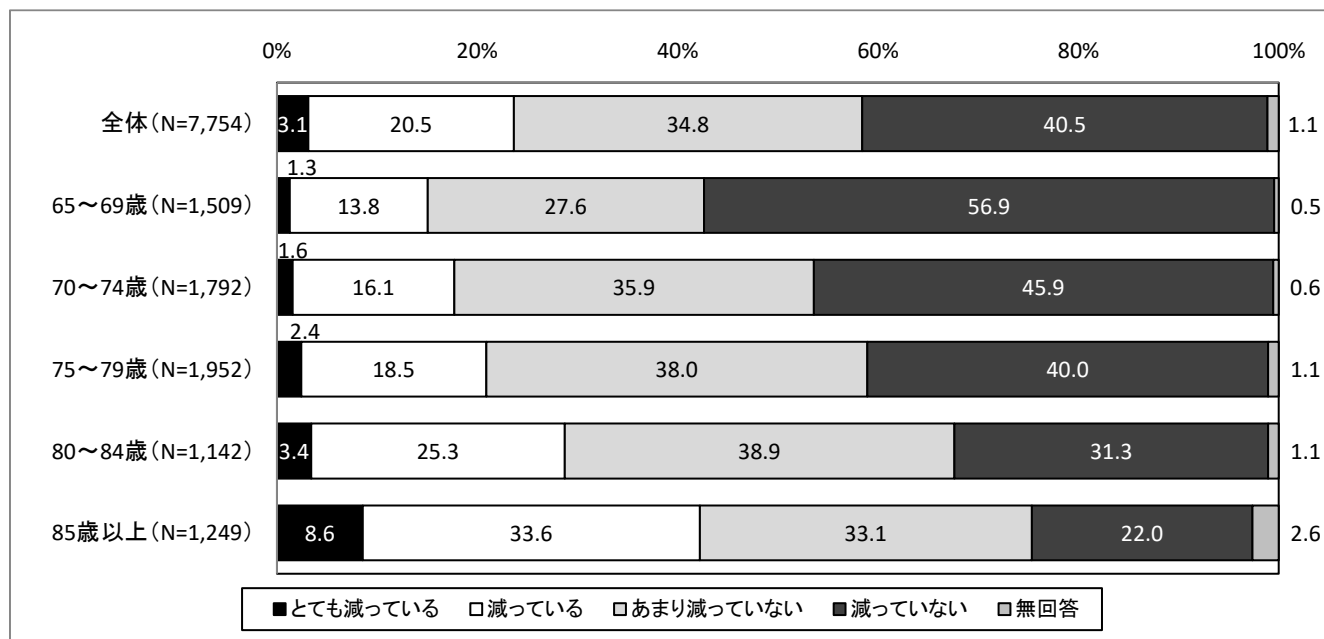
年代別に見ると、75～79歳、80～84歳では「週2～4回」が全体と比べてそれぞれ4.8ポイント高くなっており、85歳以上では「週1回」が高くなっています。また、年齢が高くなるほど「ほとんど外出しない」が増加する傾向にあります。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた『減っていない』が75.3%で「とても減っている」「減っている」を合わせた『減っている』の23.6%を上回っています。

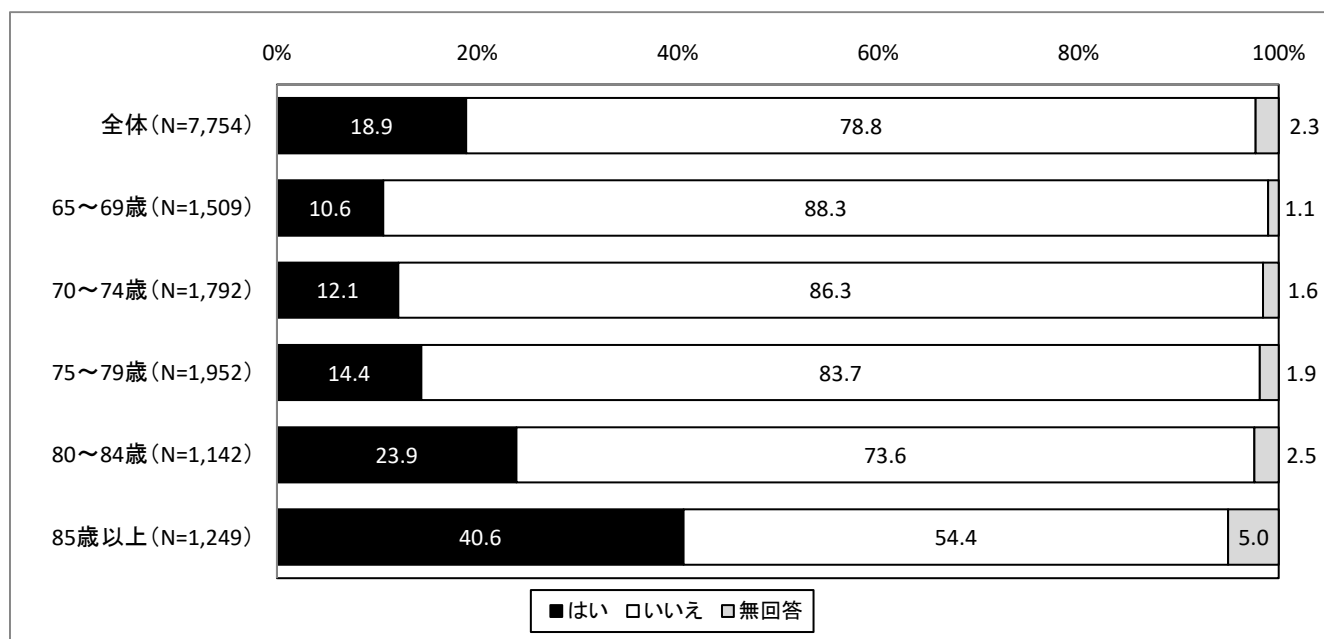
年代別に見ると、年齢が高くなるほど『減っている』が増加する傾向にあります。



(8) 外出を控えていますか

外出を控えているかについては、「はい」が18.9%、「いいえ」が78.8%となっています。

年代別に見ると、年齢が高くなるほど「はい」が増加する傾向にあります。

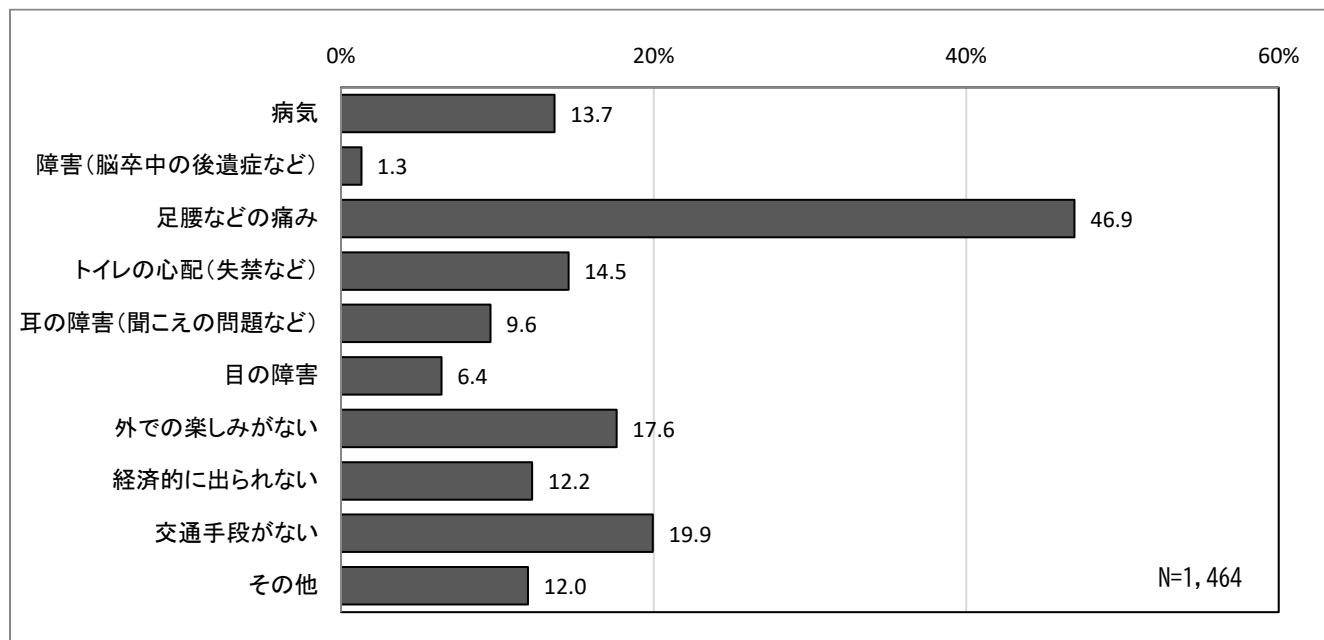


【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

(8) -① 外出を控えている理由は、次のどれですか (複数回答)

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が 46.9%で最も多く、次いで「交通手段がない」19.9%、「外での楽しみがない」17.6%の順となっています。

年代別に見ると、85 歳以上では「耳の障害 (聞こえの問題など)」が他の年代と比べて高くなっています。



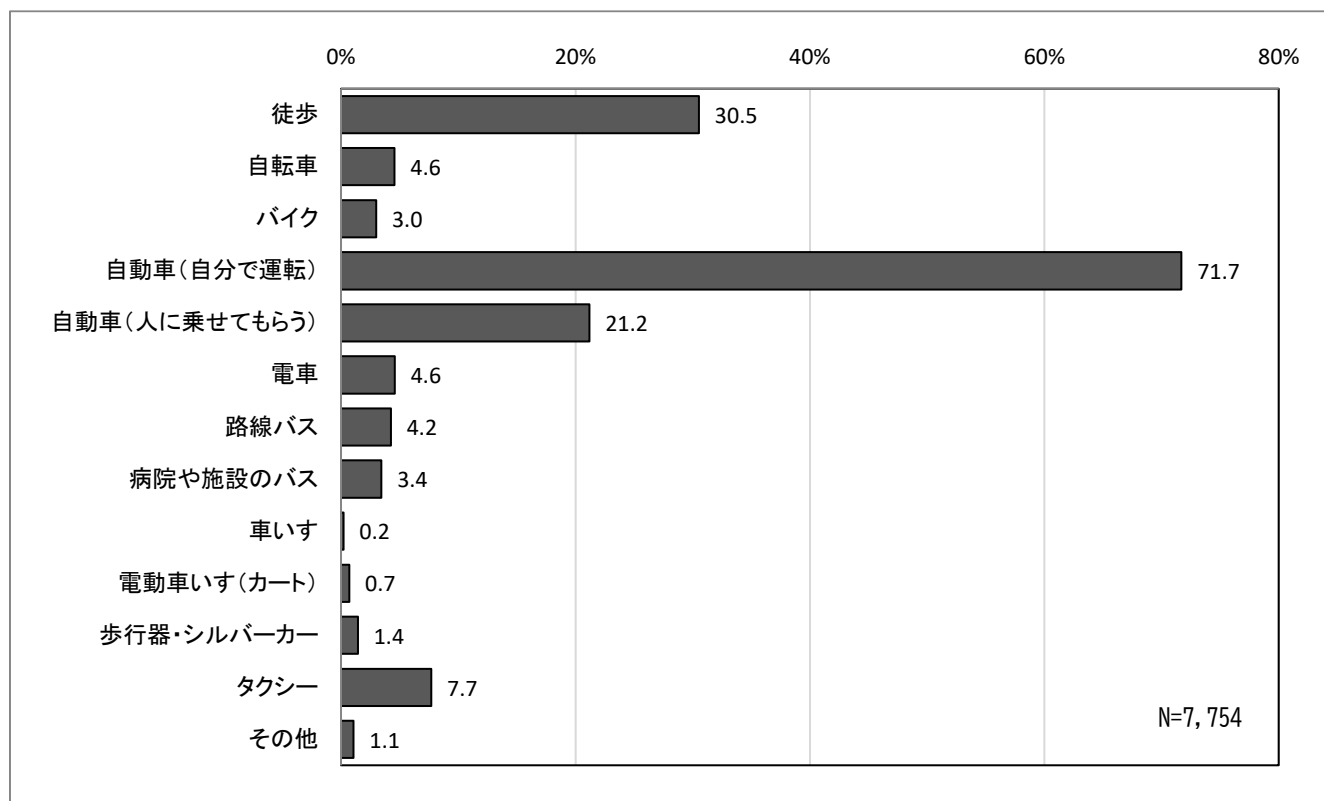
(上段：構成比 下段：人数)

属性	区分	全体	理由									
			病気	障害 (脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁など)	耳の障害 (聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他
総数	-	100.0	13.7	1.3	46.9	14.5	9.6	6.4	17.6	12.2	19.9	12.0
		1,464	200	19	687	213	140	94	258	179	292	175
年齢	65~69歳	100.0	15.6	0.6	24.4	7.5	0.6	3.8	28.8	25.6	5.0	20.0
		160	25	1	39	12	1	6	46	41	8	32
	70~74歳	100.0	16.1	2.3	34.6	12.9	4.1	5.1	22.6	16.6	9.2	19.4
		217	35	5	75	28	9	11	49	36	20	42
	75~79歳	100.0	15.3	1.4	41.3	13.9	6.0	5.7	18.5	13.5	13.5	16.4
		281	43	4	116	39	17	16	52	38	38	46
80~84歳	100.0	14.3	2.2	51.3	15.8	11.0	7.7	14.3	12.1	20.5	7.7	
	273	39	6	140	43	30	21	39	33	56	21	
85歳以上	100.0	10.5	0.6	59.6	17.8	15.8	7.9	13.6	5.5	31.8	6.7	
	507	53	3	302	90	80	40	69	28	161	34	

(9) 外出する際の移動手段は何ですか（複数回答）

外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が71.7%で最も多く、次いで「徒歩」30.5%、「自動車（人に乗せてもらう）」21.2%の順となっています。

年代別に見ると、年齢が高くなるほど「タクシー」「自動車（人に乗せてもらう）」が増加する傾向にあります。また、年齢が高くなるほど「自動車（自分で運転）」が減少する傾向にあります。



(上段：構成比 下段：人数)

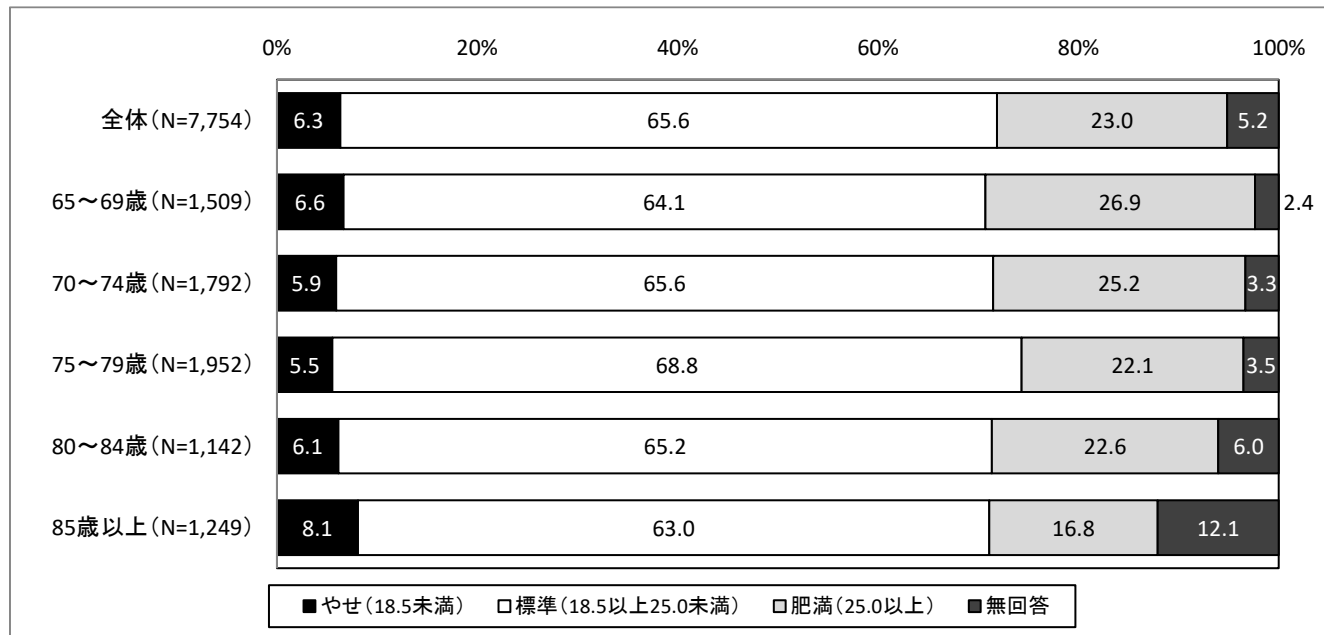
属性	区分	全体	移動手段													
			徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	
総数	-	100.0	30.5	4.6	3.0	71.7	21.2	4.6	4.2	3.4	0.2	0.7	1.4	7.7	1.1	
		7,754	2,367	354	232	5,558	1,642	355	329	267	17	54	111	597	83	
年齢	65~69歳	100.0	32.5	6.4	3.6	86.4	13.6	5.2	2.1	0.5	0.3	0.1	0.1	2.8	0.1	
	1,509	490	97	54	1,304	205	79	32	7	4	2	2	42	1		
	70~74歳	100.0	29.9	4.7	3.3	85.0	15.2	5.0	2.4	0.8	0.2	0.1	0.3	3.0	0.4	
	1,792	536	85	60	1,524	272	89	43	14	3	1	6	53	8		
	75~79歳	100.0	32.1	4.6	2.4	79.3	18.0	5.5	3.1	1.0	0.0	0.1	0.2	4.9	0.6	
	1,952	626	90	47	1,547	352	108	60	19	0	2	4	96	12		
80~84歳	100.0	31.1	3.8	3.8	61.7	25.6	3.9	6.1	5.0	0.3	0.5	1.4	11.0	1.1		
1,142	355	43	43	705	292	45	70	57	3	6	16	126	12			
85歳以上	100.0	27.0	2.5	2.0	32.7	40.6	2.3	9.3	13.1	0.5	3.4	6.6	21.8	3.9		
1,249	337	31	25	408	507	29	116	164	6	42	83	272	49			

5 食べることについて

(1) 身長・体重（肥満度：BMI＝体重 kg÷（身長 m×身長 m））

BMI については「標準（18.5 以上 25.0 未満）」が 65.6%で最も多く、次いで「肥満（25.0 以上）」23.0%、「やせ（18.5 未満）」6.3%の順となっています。

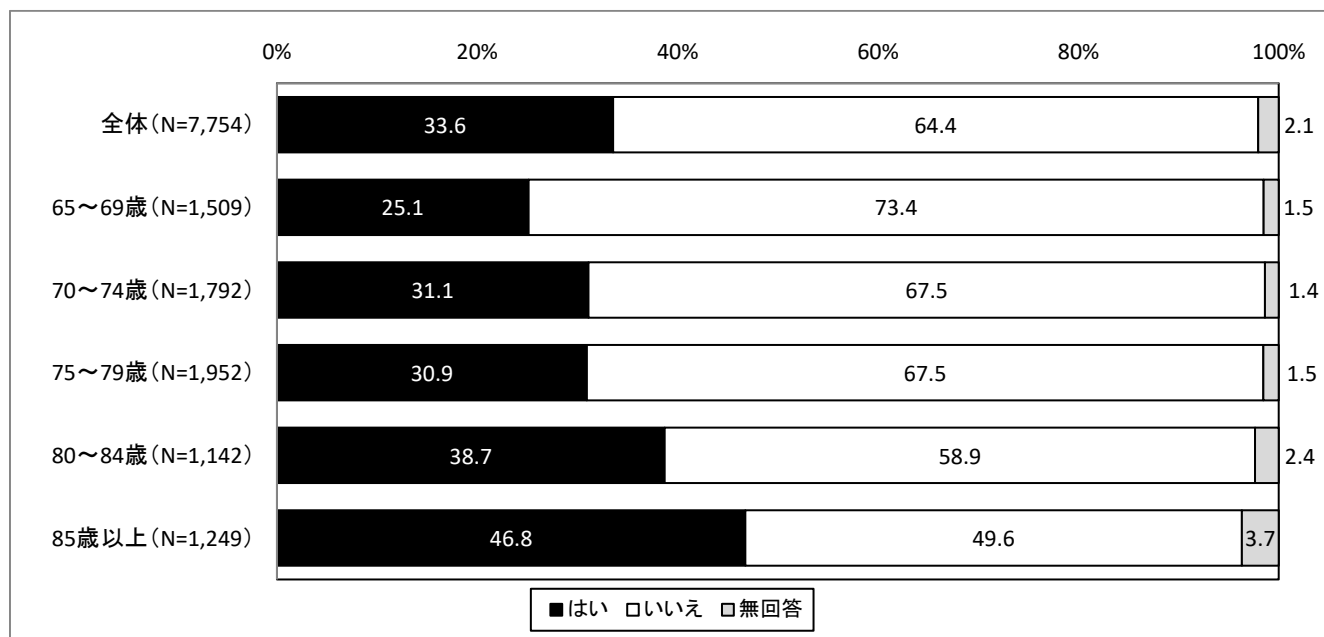
年代別に見ると、85 歳以上では「肥満（25.0 以上）」が 16.8%で全体と比べて 6.2 ポイント低くなっています。



(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

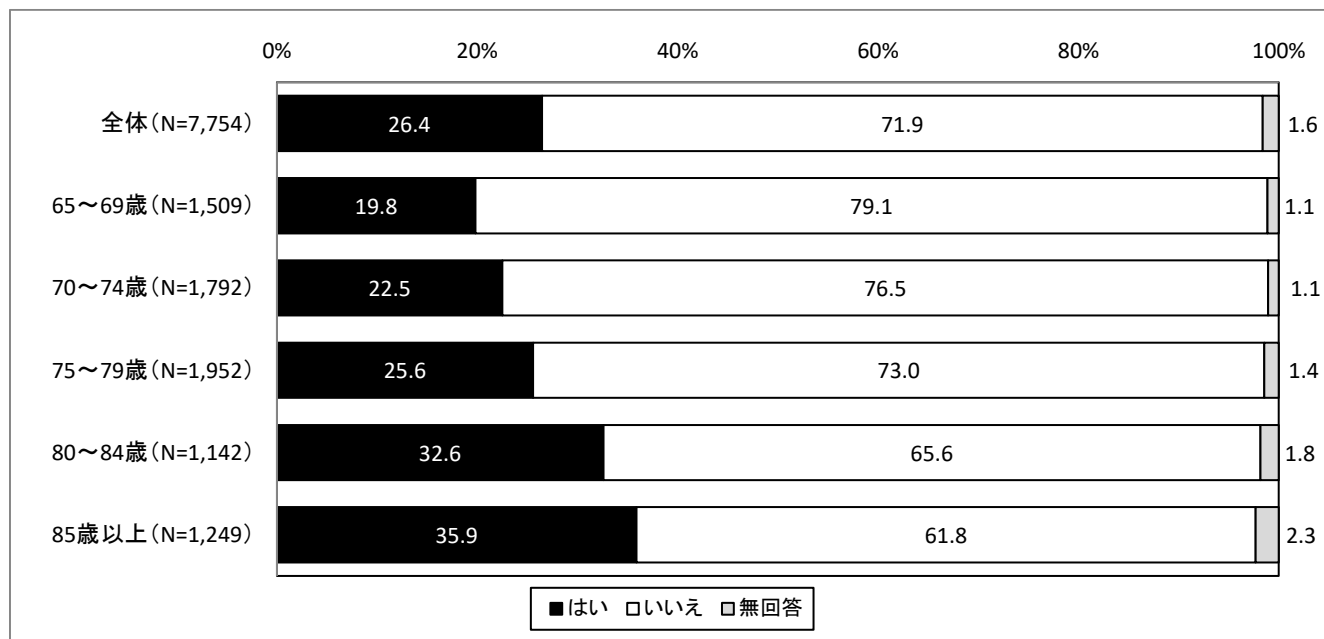
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が 33.6%、「いいえ」が 64.4%となっています。

年代別に見ると、年齢が高くなるほど「はい」が増加する傾向にあります。



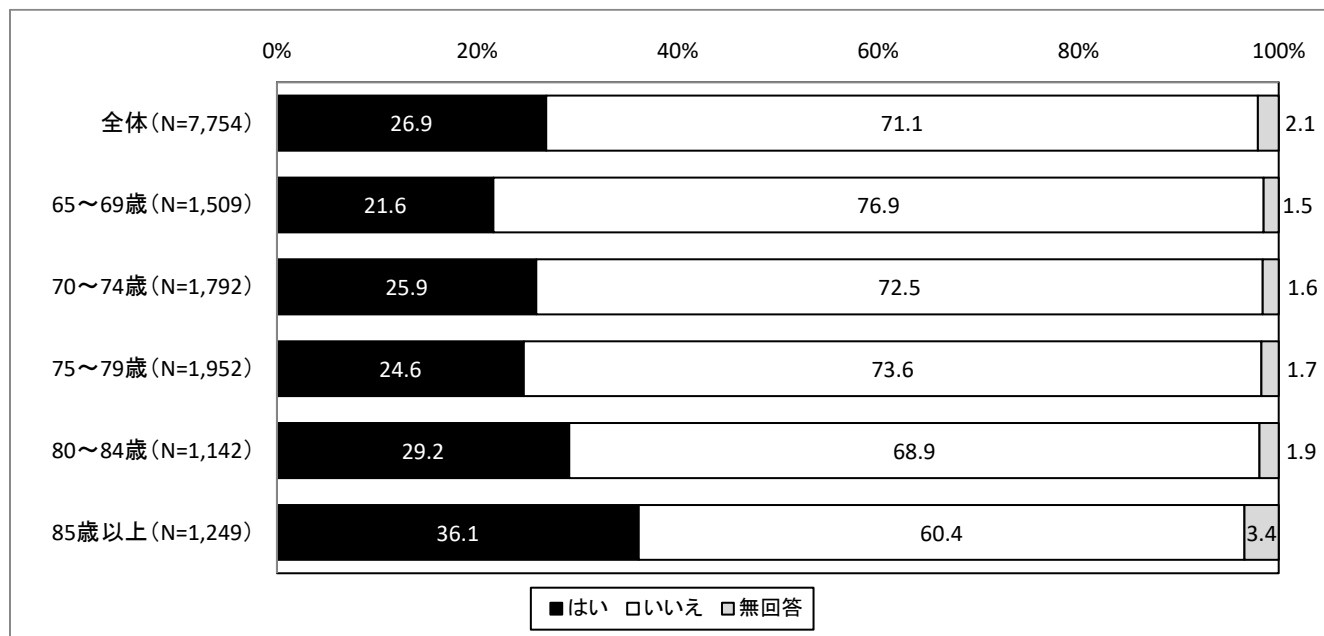
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が26.4%、「いいえ」が71.9%となっています。年代別に見ると、年齢が高くなるほど「はい」が増加する傾向にあります。



(4) 口の渇きが気になりますか

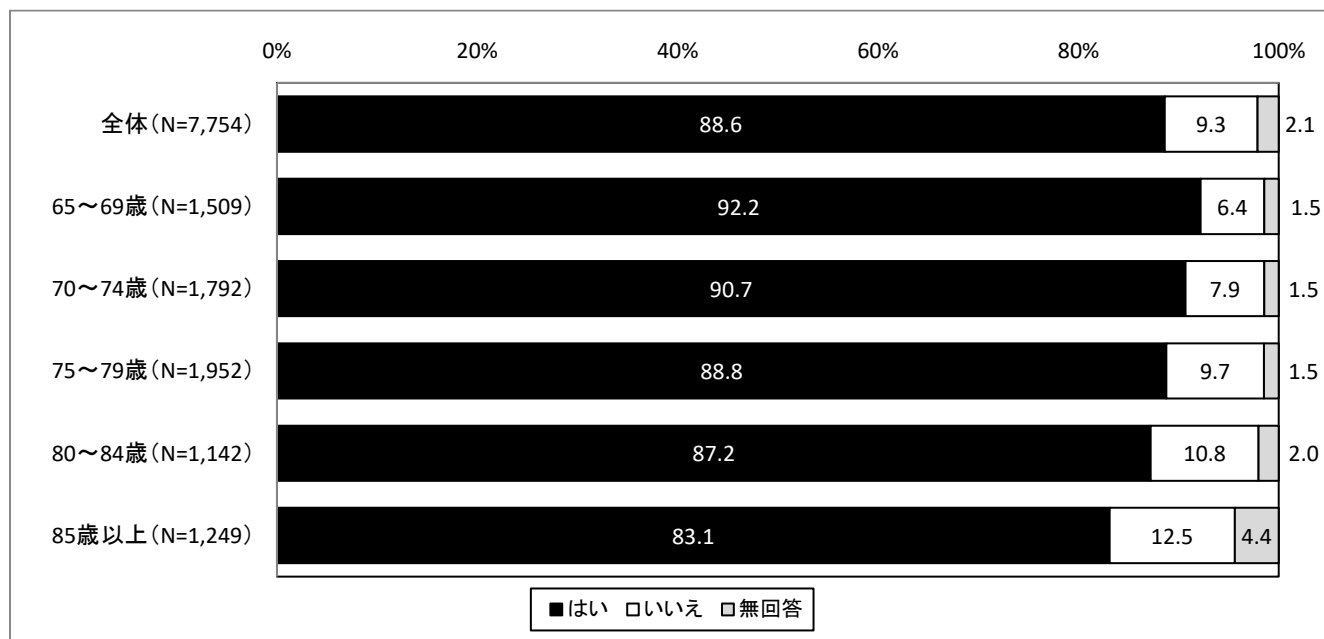
口の渇きが気になるかについては、「はい」が26.9%、「いいえ」が71.1%となっています。年代別に見ると、85歳以上では「いいえ」が全体と比べ10.7ポイント低くなっています。



(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかについては、「はい」が88.6%、「いいえ」が9.3%となっています。

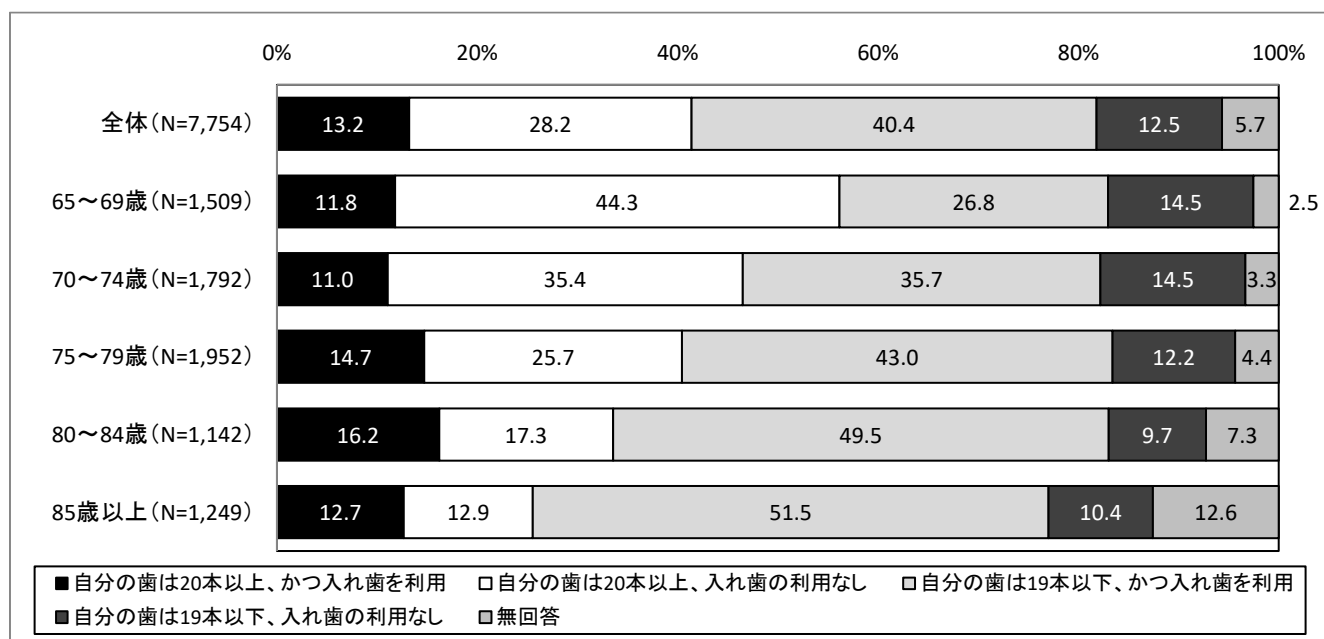
年代別に見ると、85歳以上では「はい」が全体と比べて5.5ポイント低くなっています。



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が40.4%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」28.2%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」13.2%の順となっています。

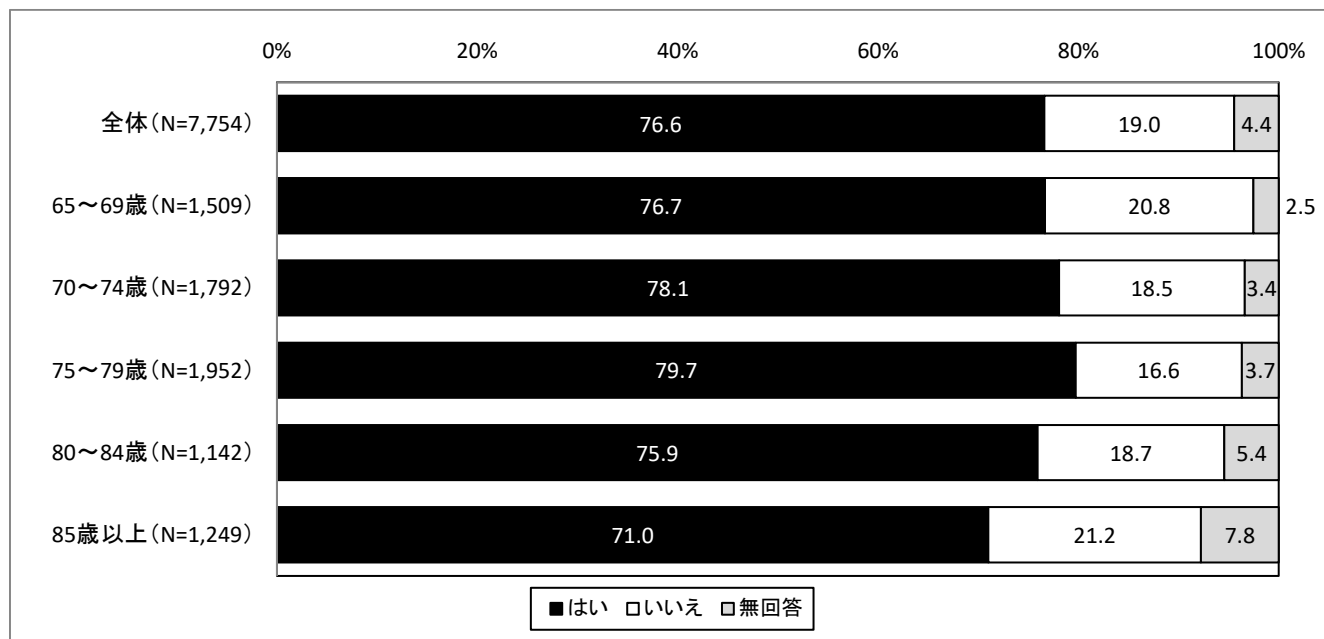
年代別に見ると、年齢が高くなるほど「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が増加する傾向にあります。



(6) -① 噛み合わせは良いですか

噛み合わせが良いかについては、「はい」が76.6%、「いいえ」が19.0%となっています。

年代別に見ると、85歳以上では「はい」が71.0%で全体と比べて5.6ポイント低くなっています。

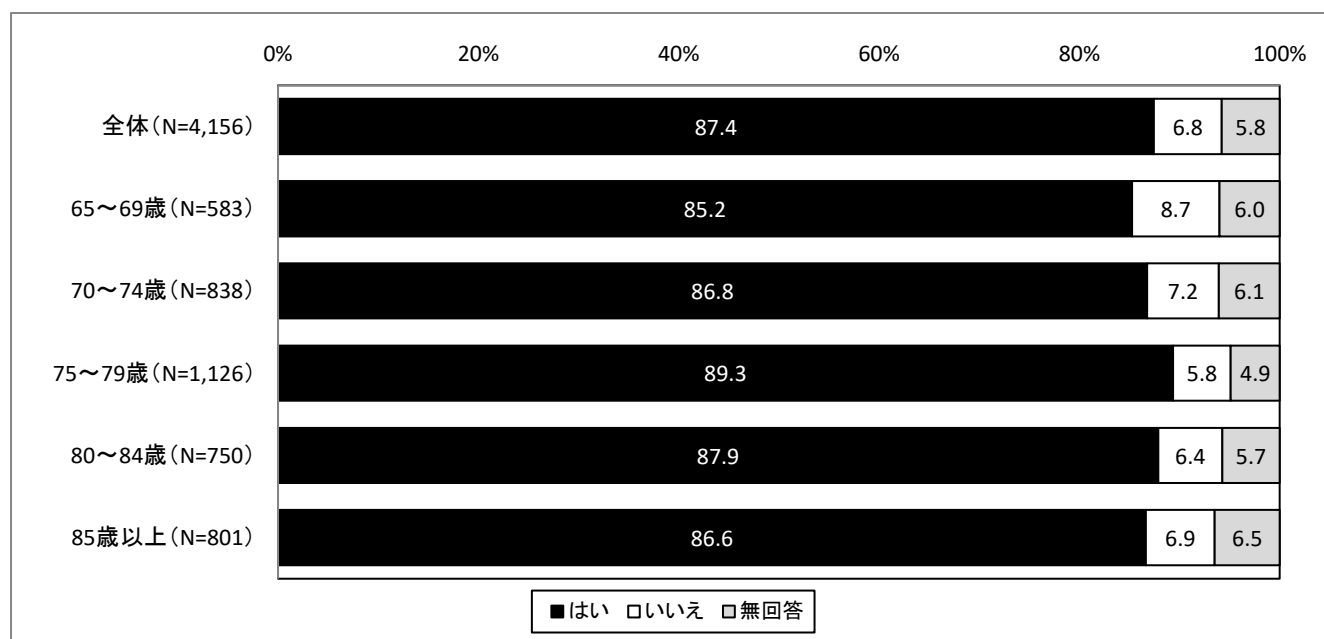


【(6)で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

(6) -② 毎日入れ歯の手入れをしていますか

毎日入れ歯の手入れをしているかについては、「はい」が87.4%、「いいえ」が6.8%となっています。

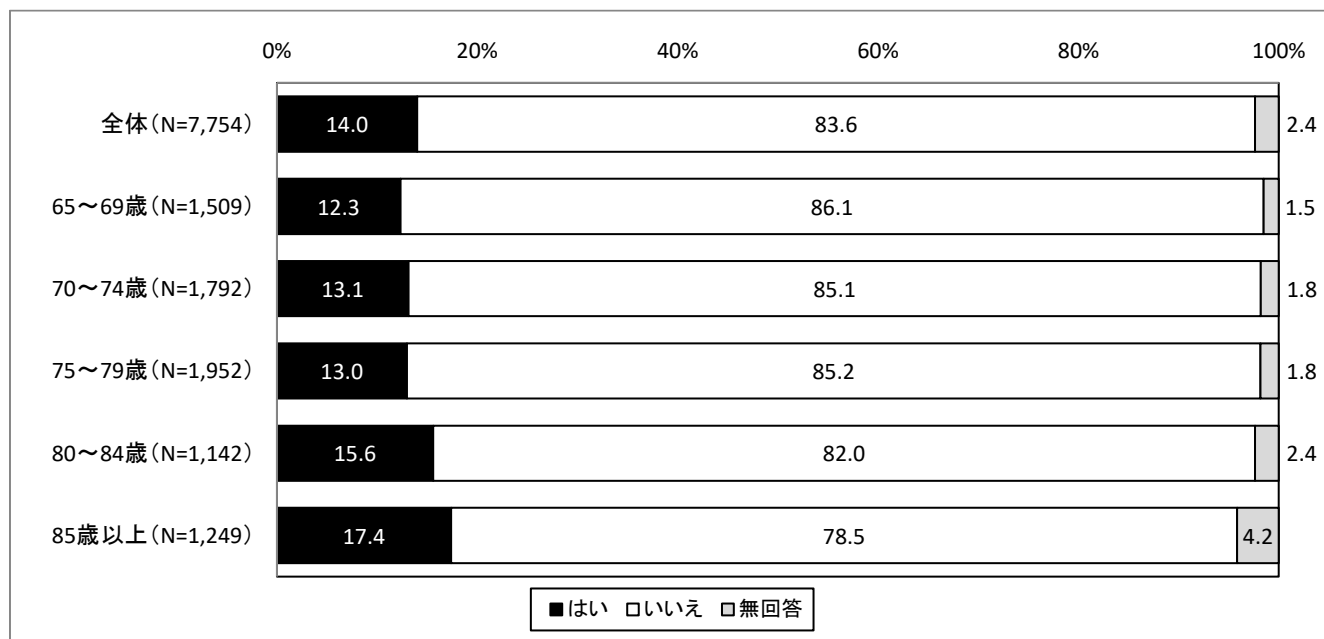
年代別では大きな差は見られません。



(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「はい」が14.0%、「いいえ」が83.6%となっています。

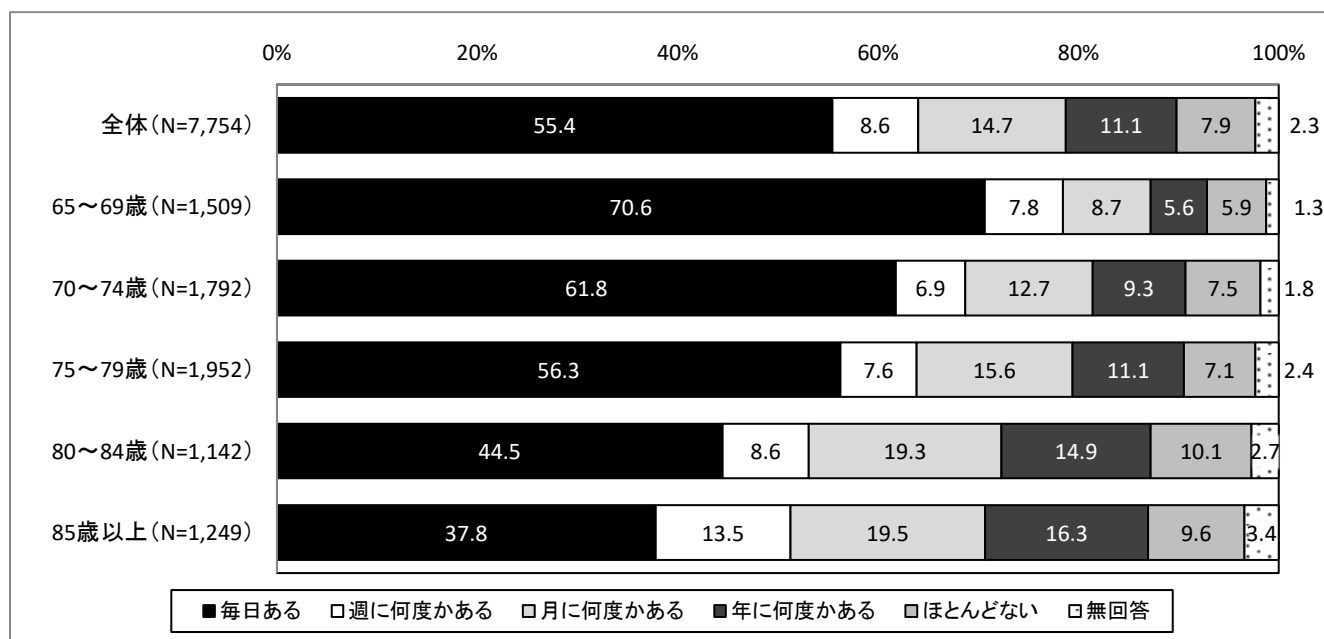
年代別では大きな差は見られません。



(8) どなたかと食事をとる機会がありますか

どなたかと食事をとる機会があるかについては、「毎日ある」が55.4%で最も多く、次いで「月に何度かある」14.7%、「年に何度かある」11.1%の順となっています。

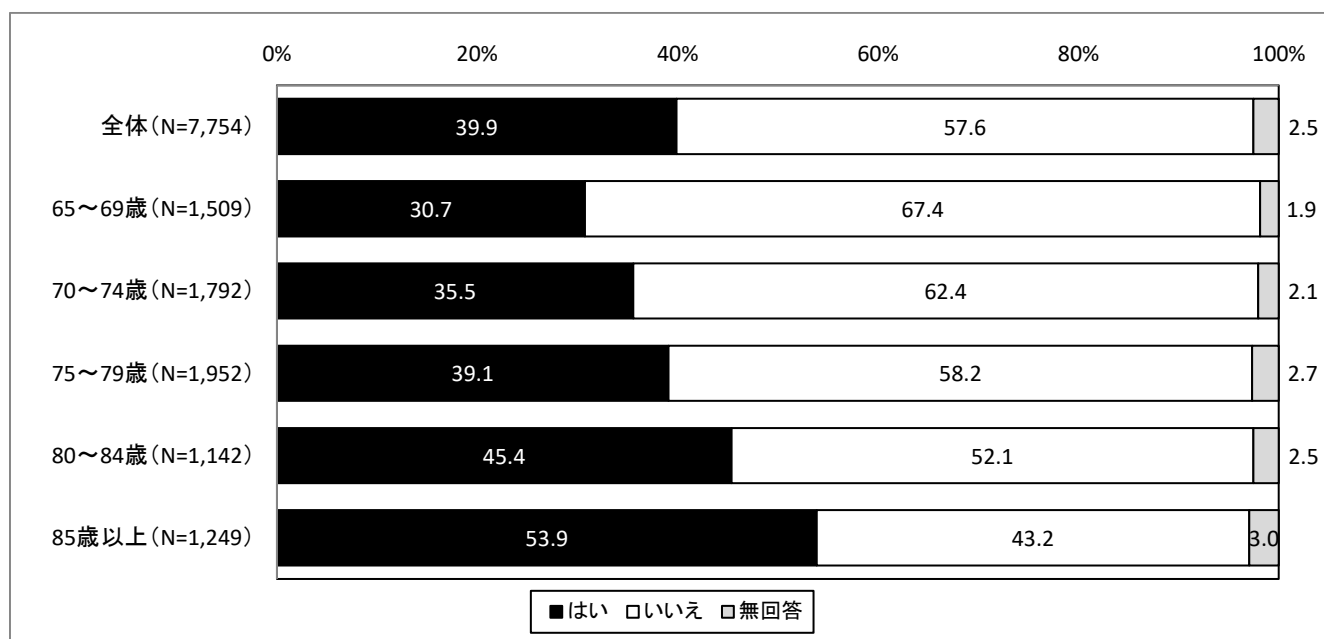
年代別に見ると、85歳以上では「毎日ある」が37.8%で全体と比べて17.6ポイント低くなっています。



6 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか

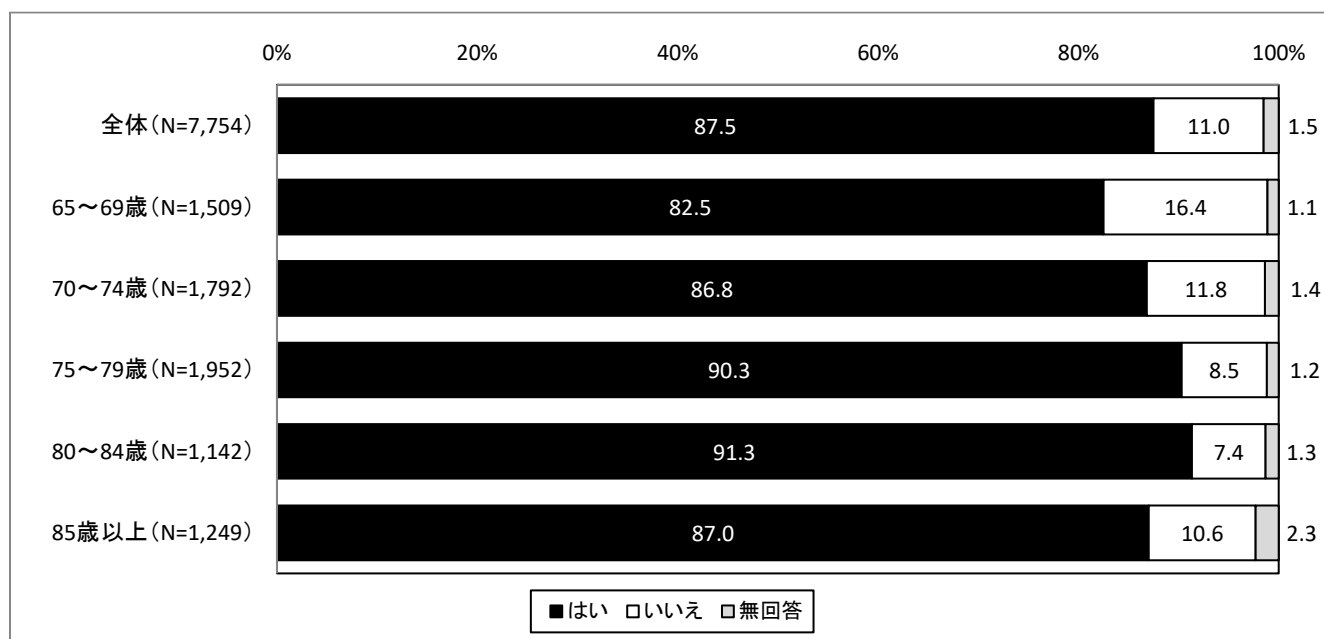
物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が39.9%、「いいえ」が57.6%となっています。
年代別に見ると、年齢が高くなるほど「はい」が増加する傾向にあります。



(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、「はい」が87.5%、「いいえ」が11.0%となっています。

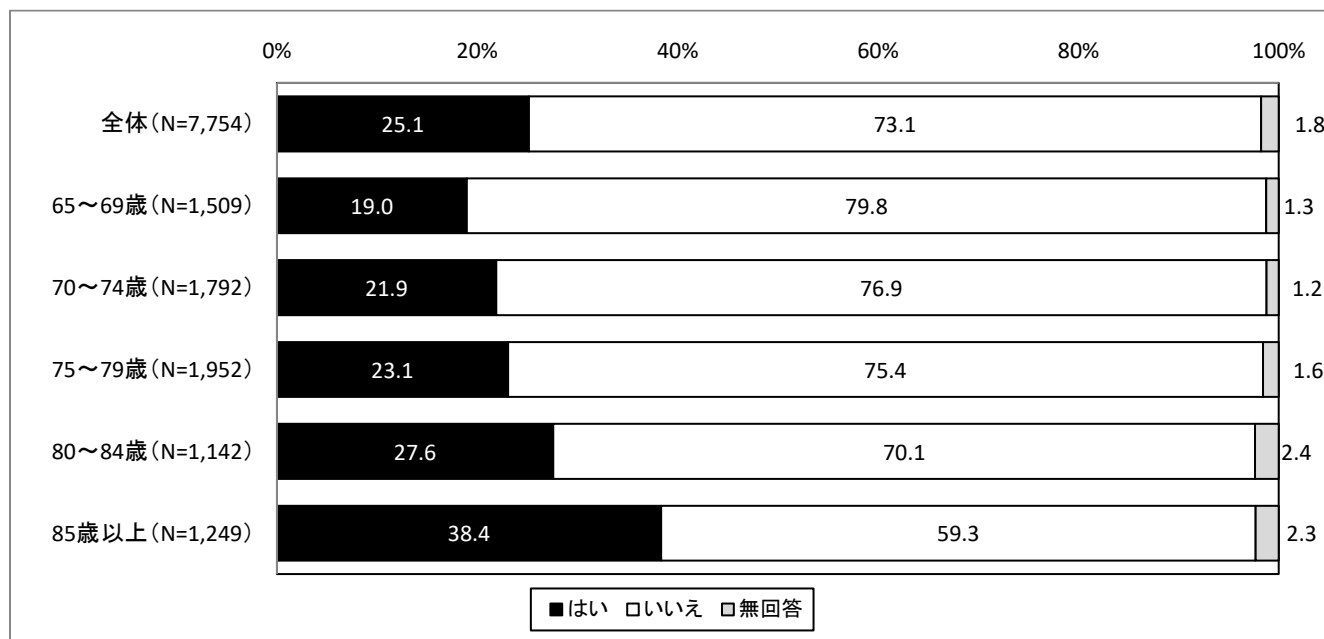
年代別に見ると、65～69歳では「いいえ」が16.4%で全体と比べて5.4ポイント高くなっています。



(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

今日が何月何日かわからないときがあるかについては、「はい」が25.1%、「いいえ」が73.1%となっています。

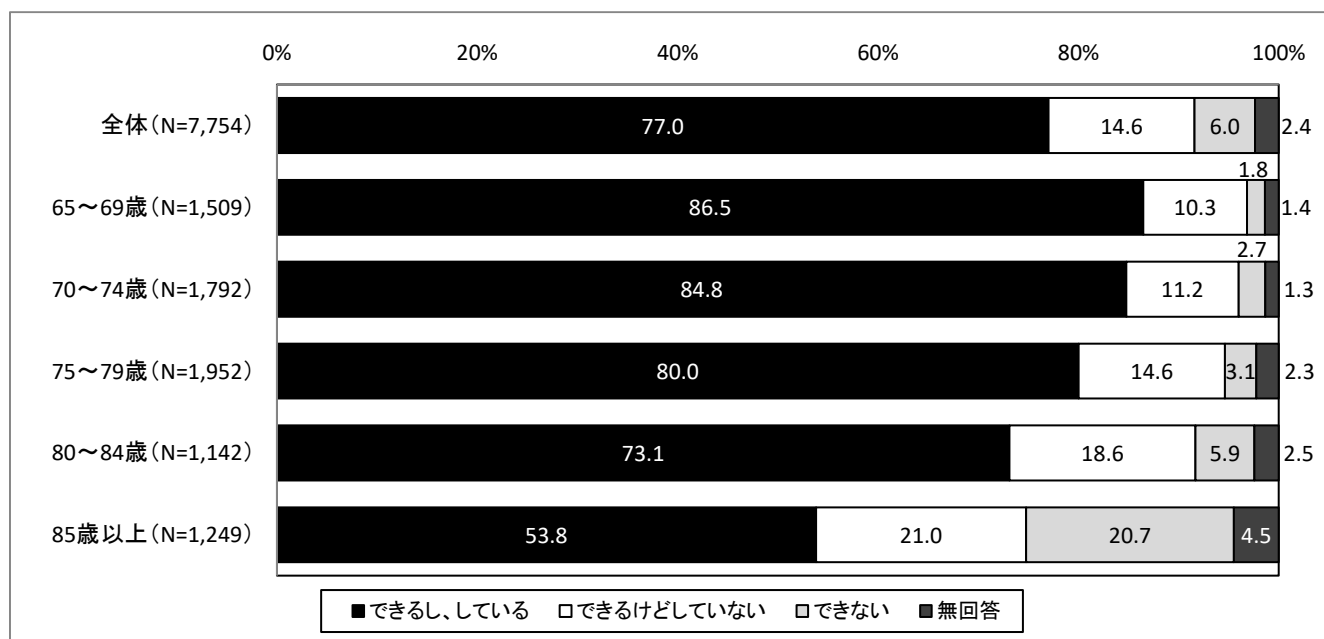
年代別に見ると、年齢が高くなるほど「はい」が増加する傾向にあります。



(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

バスや電車、自家用車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が77.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」14.6%、「できない」6.0%の順となっています。

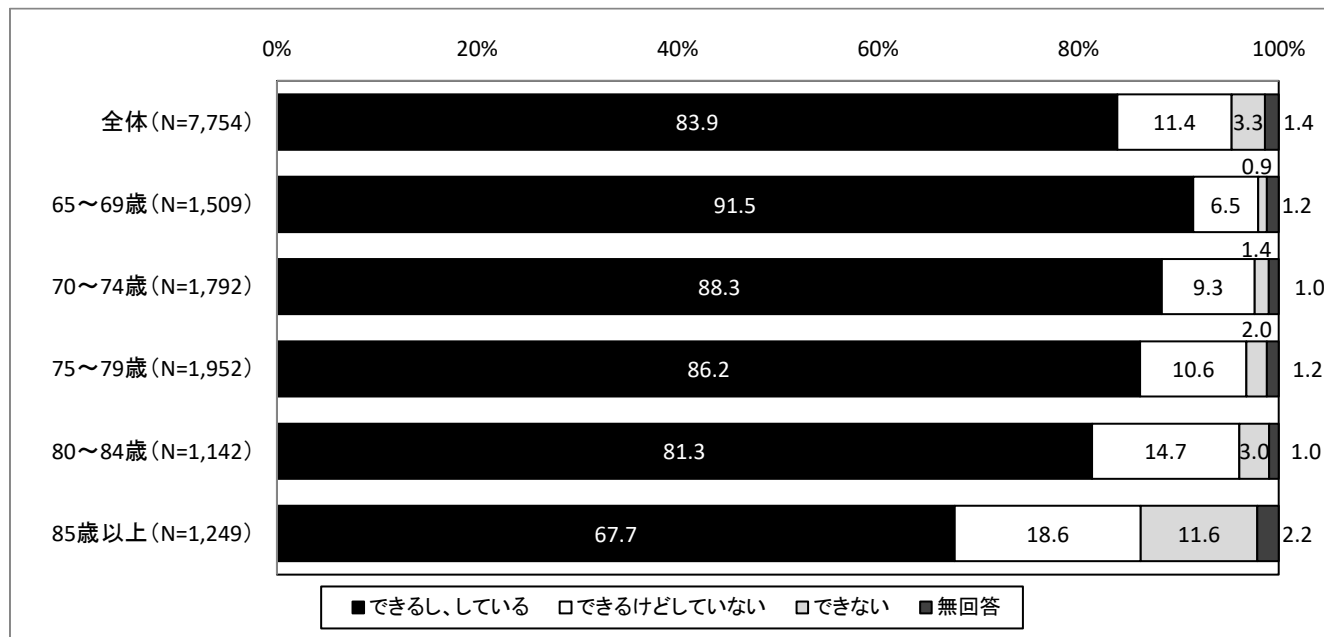
年代別に見ると、85歳以上では「できない」が20.7%で全体と比べて14.7ポイント高くなっています。



(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が83.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」11.4%、「できない」3.3%の順となっています。

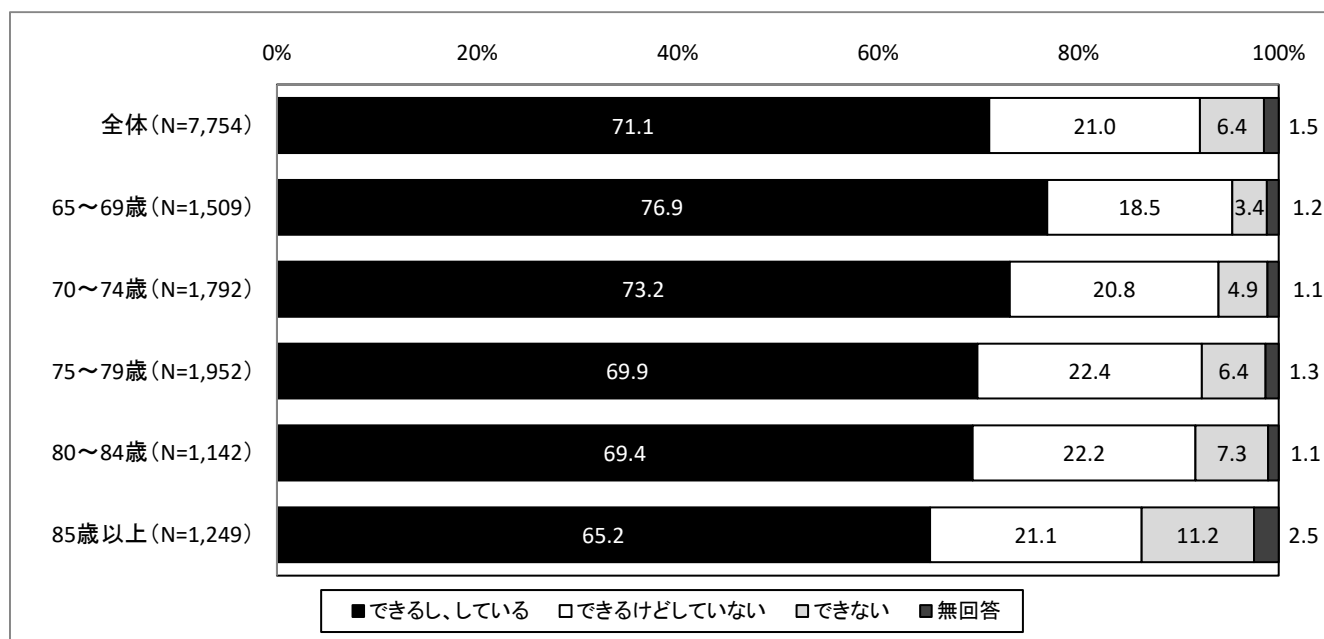
年代別に見ると、85歳以上では「できない」が11.6%で全体と比べて8.3ポイント高くなっています。



(6) 自分で食事の用意をしていますか

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が71.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」21.0%、「できない」6.4%の順となっています。

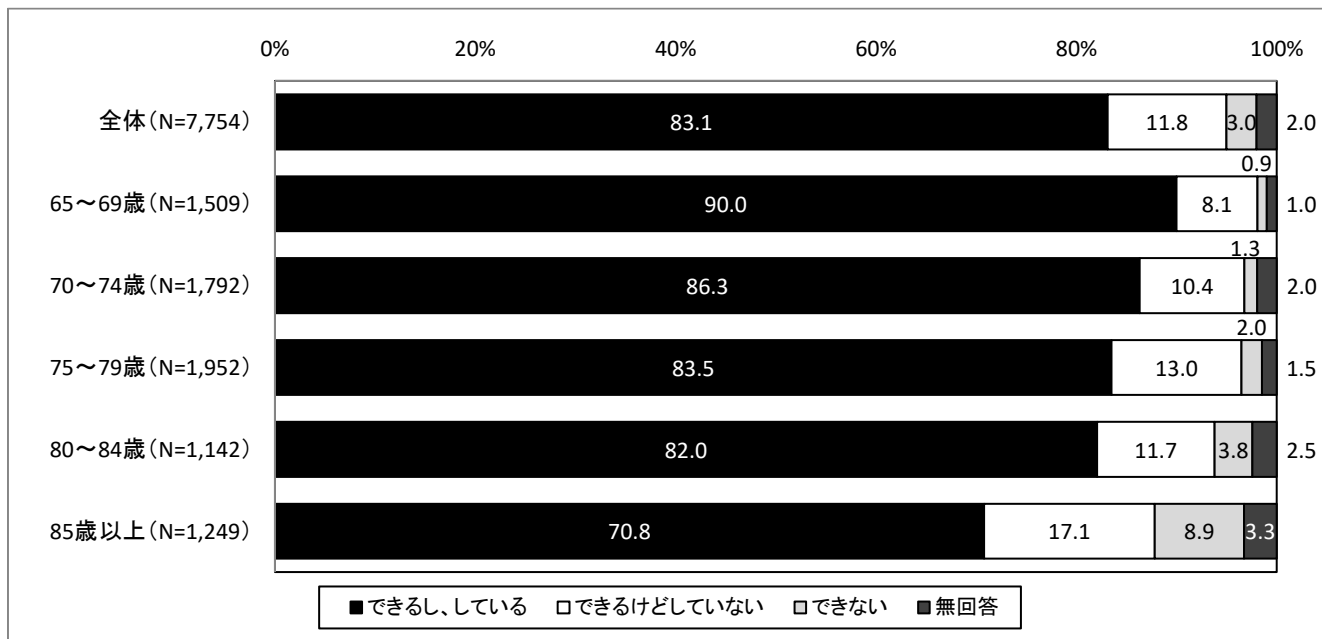
年代別に見ると、年齢が高くなるほど「できるし、している」が減少する傾向にあります。



(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が83.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」11.8%、「できない」3.0%の順となっています。

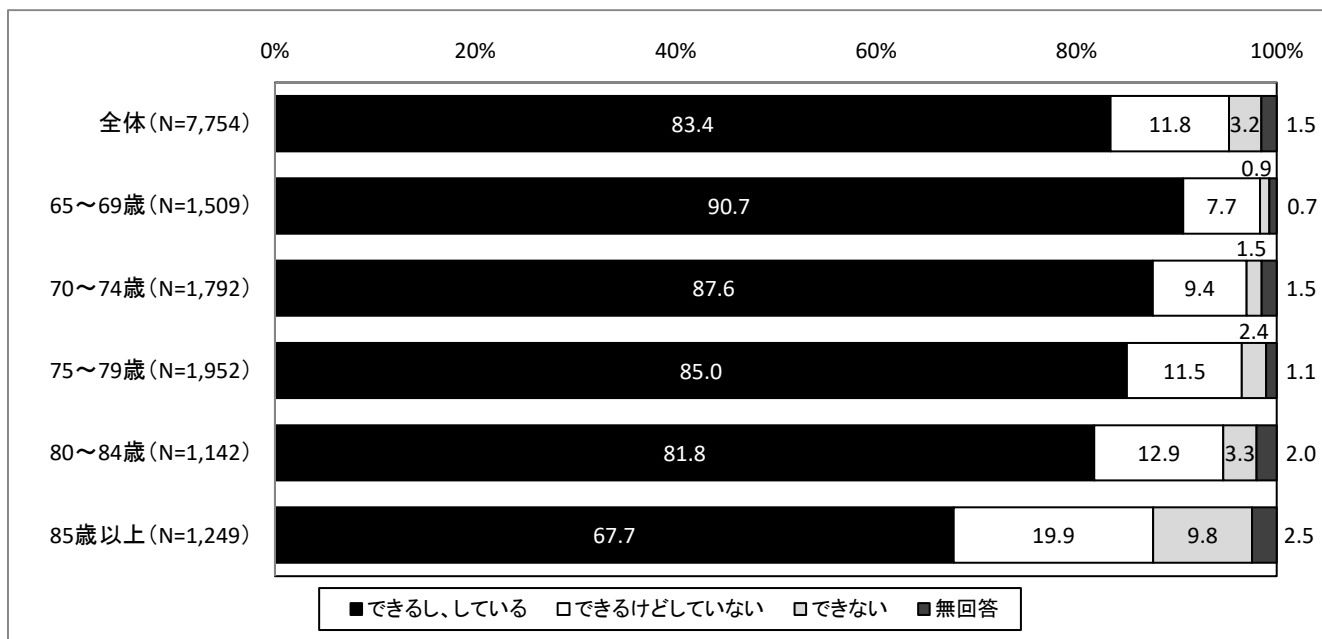
年代別に見ると、年齢が高くなるほど「できるし、している」が減少する傾向にあります。



(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が83.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」11.8%、「できない」3.2%の順となっています。

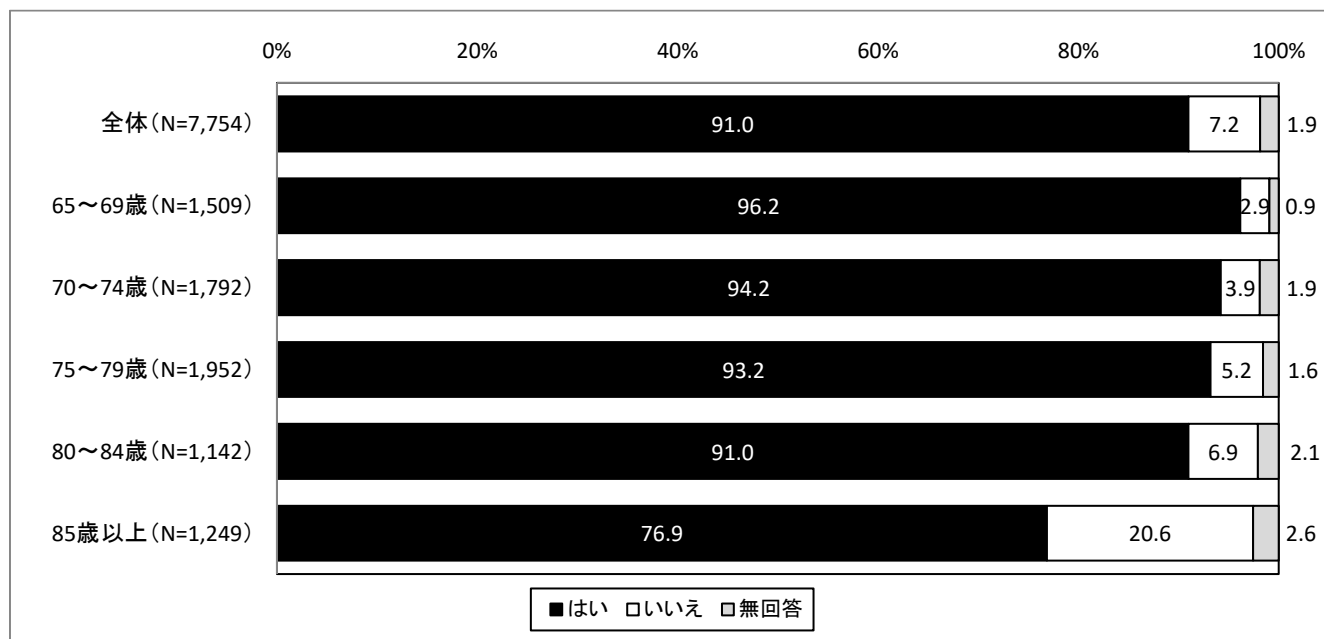
年代別に見ると、年齢が高くなるほど「できるし、している」が減少する傾向にあります。



(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるかについては、「はい」が91.0%、「いいえ」が7.2%となっています。

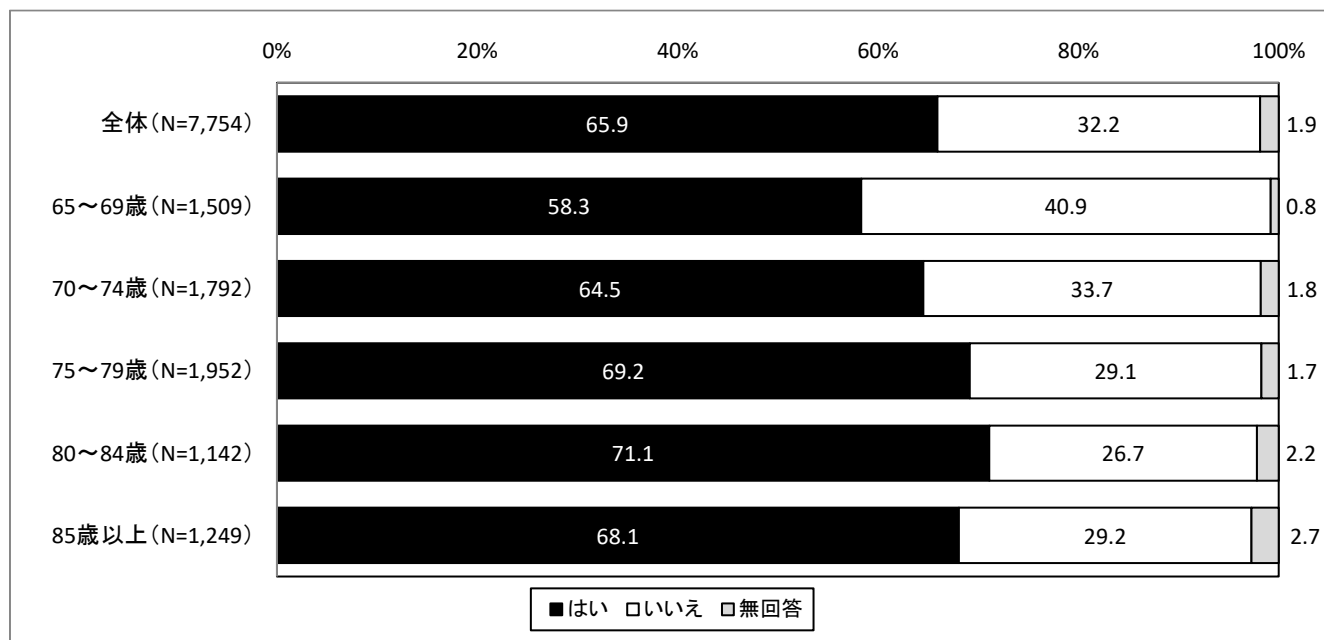
年代別に見ると、年齢が高くなるほど「いいえ」が増加し、「はい」が減少する傾向にあります。



(10) 新聞を読んでいますか

新聞を読んでいるかについては、「はい」が65.9%、「いいえ」が32.2%となっています。

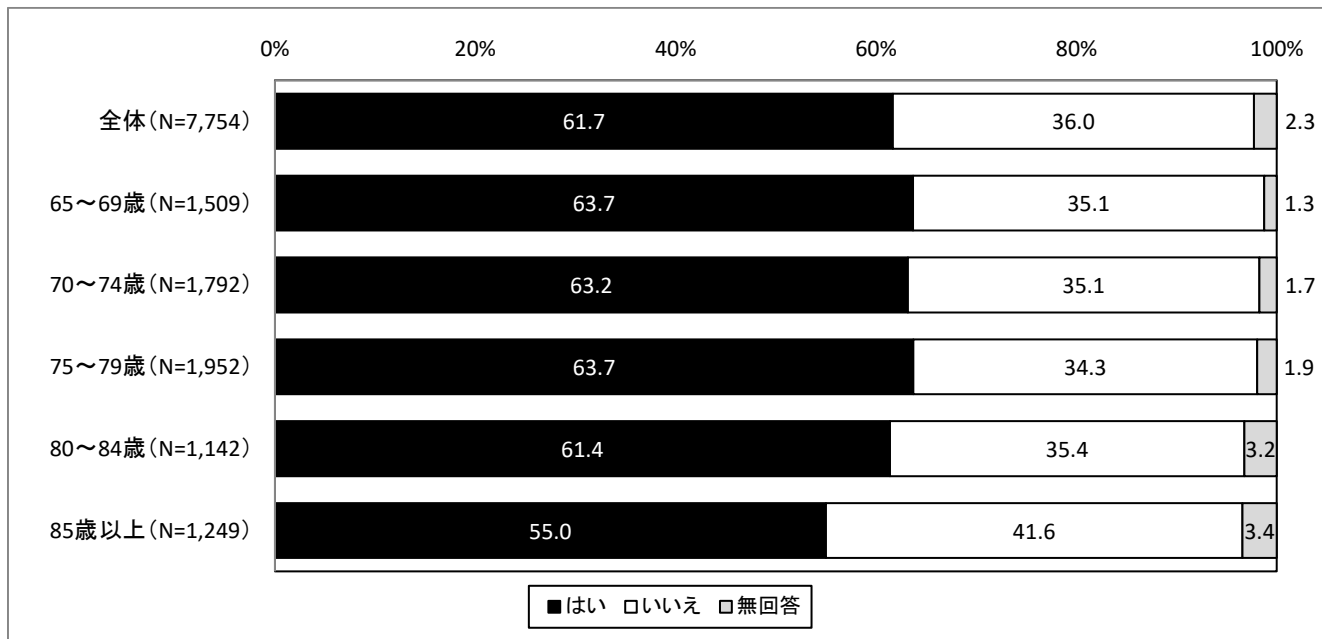
年代別に見ると、65～69歳では「はい」が58.3%で全体と比べて7.6ポイント低くなっています。



(11) 本や雑誌を読んでいますか

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が61.7%、「いいえ」が36.0%となっています。

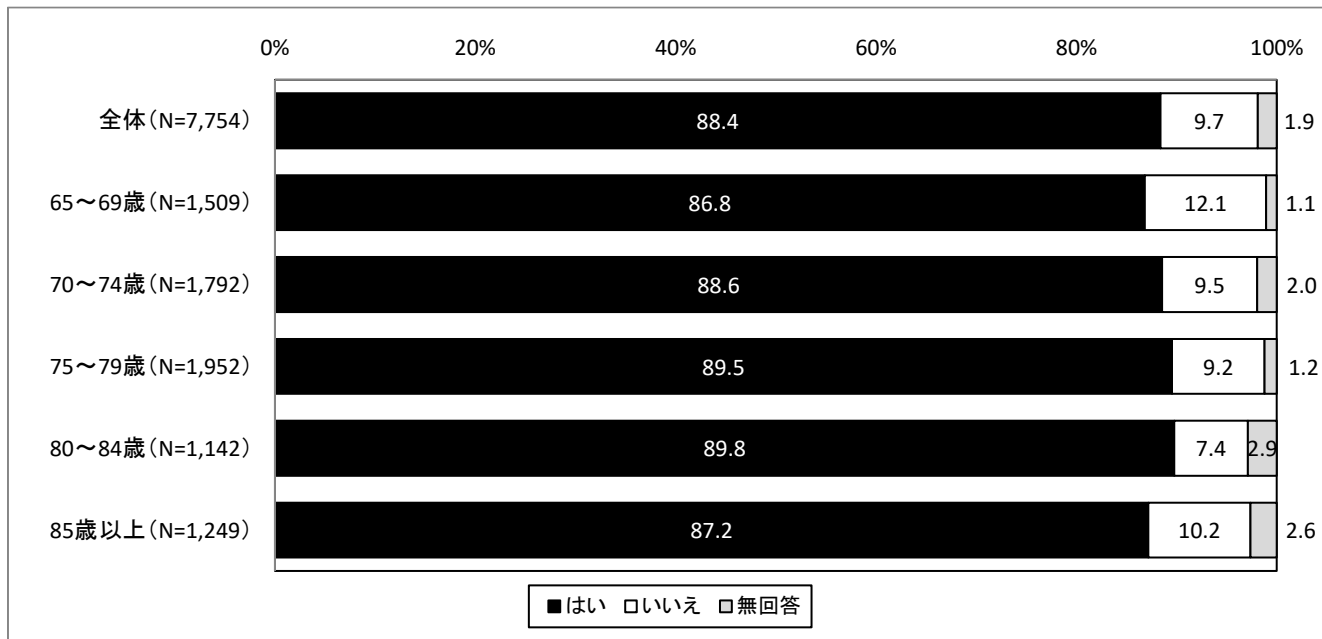
年代別に見ると、85歳以上では「いいえ」が41.6%で全体と比べて5.6ポイント高くなっています。



(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

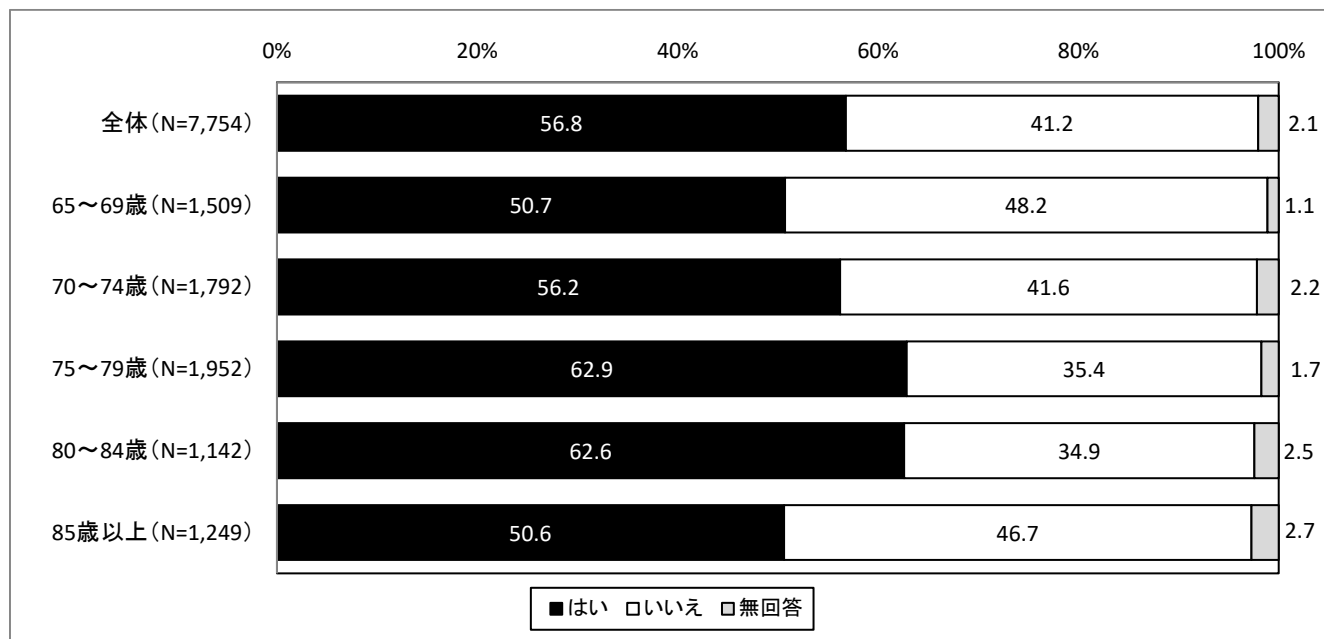
健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が88.4%、「いいえ」が9.7%となっています。

年代別では大きな差は見られません。



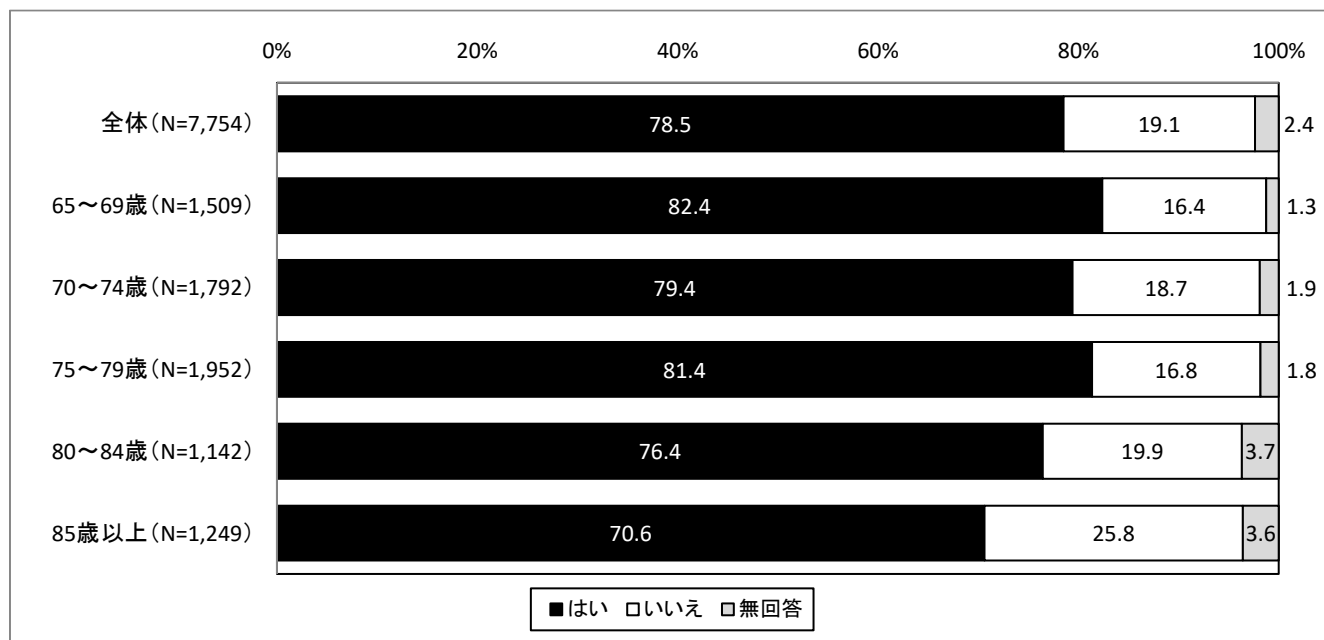
(13) 友人の家を訪ねていますか

友人の家を訪ねているかについては、「はい」が56.8%、「いいえ」が41.2%となっています。
 年代別に見ると、85歳以上では「はい」が50.6%で全体と比べて6.2ポイント低くなっています。



(14) 家族や友人の相談にのっていますか

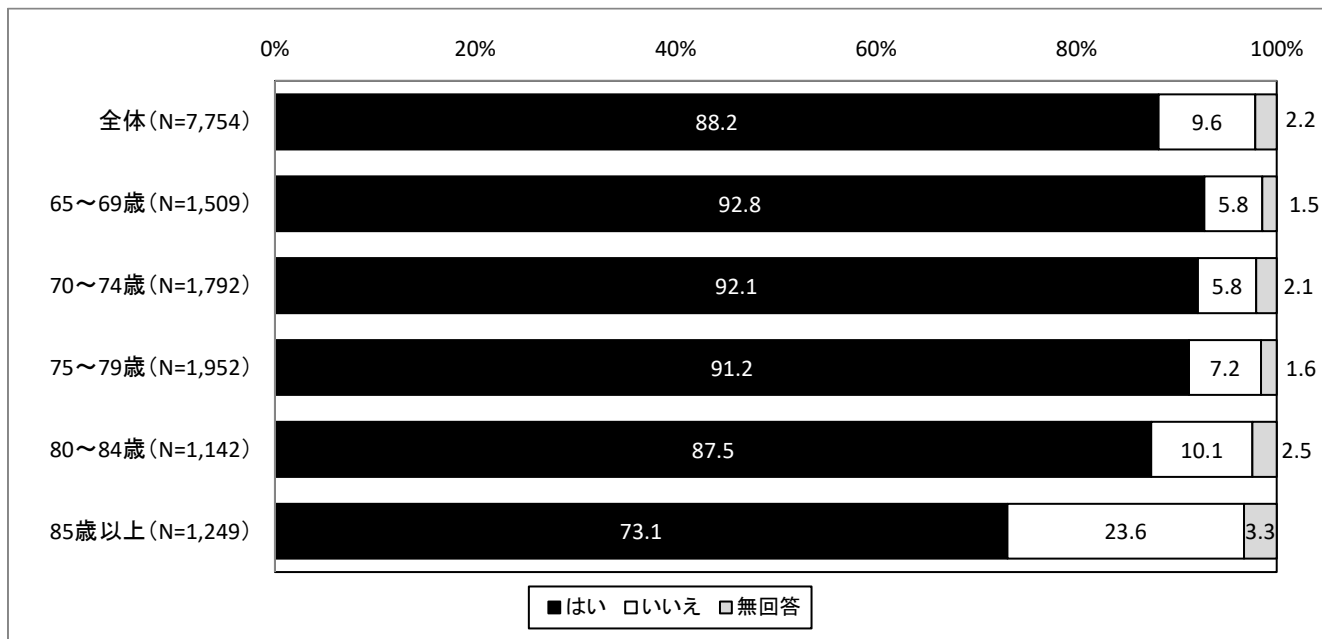
家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が78.5%、「いいえ」が19.1%となっています。
 年代別に見ると、85歳以上では「はい」が70.6%で全体と比べて7.9ポイント低く、「いいえ」が25.8%で全体と比べて6.7ポイント高くなっています。



(15) 病人を見舞うことができますか

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が88.2%、「いいえ」が9.6%となっています。

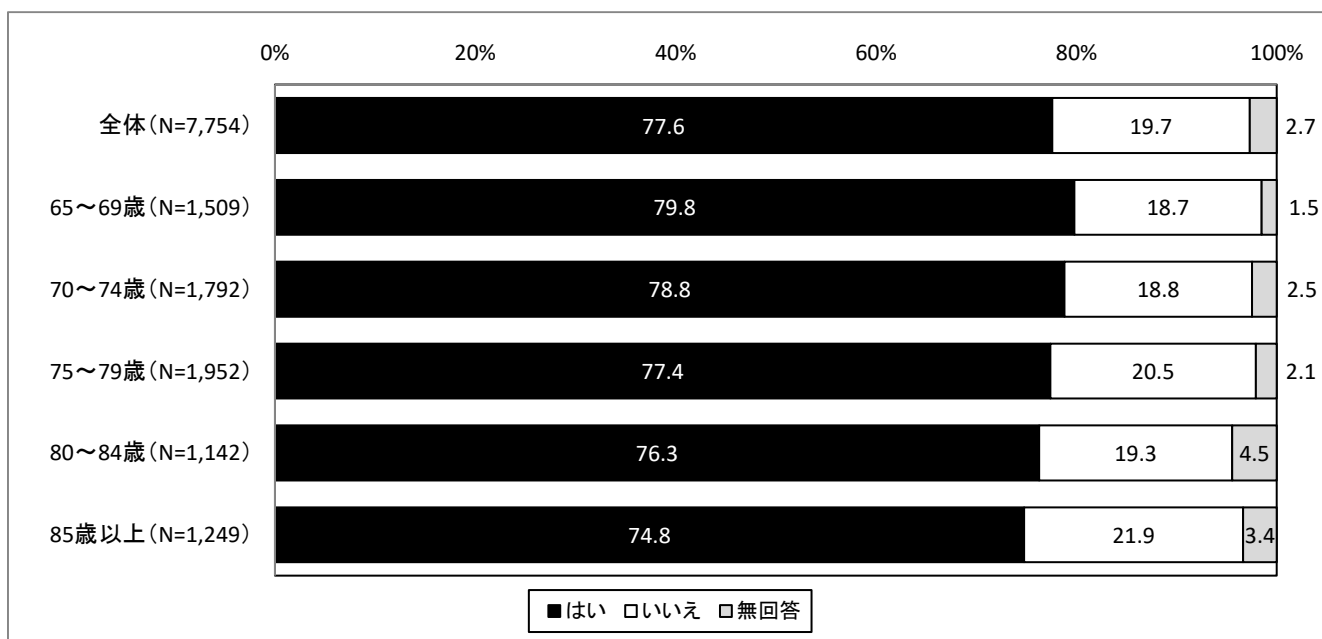
年代別に見ると、85歳以上では「はい」が73.1%で全体と比べて15.1ポイント低く、「いいえ」が23.6%で全体と比べて14.0ポイント高くなっています。



(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が77.6%、「いいえ」が19.7%となっています。

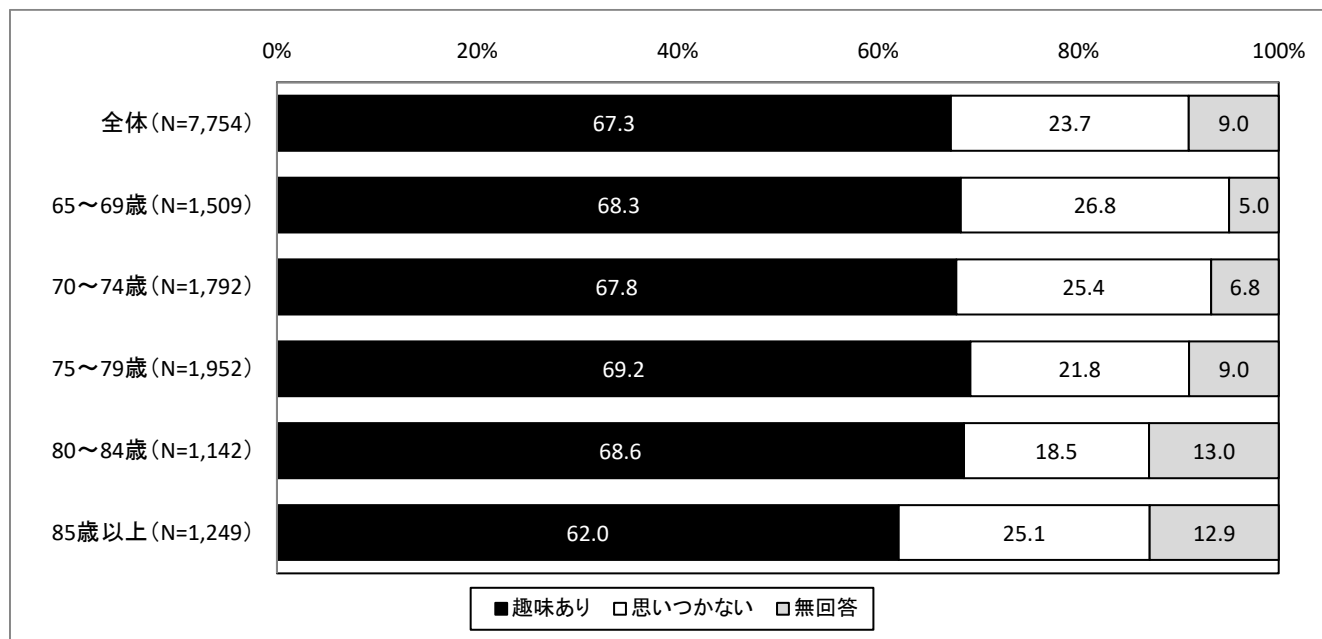
年代別では大きな差は見られません。年代別では大きな差は見られません。



(17) 趣味はありますか

趣味があるかについては、「趣味あり」が67.3%、「思いつかない」が23.7%となっています。

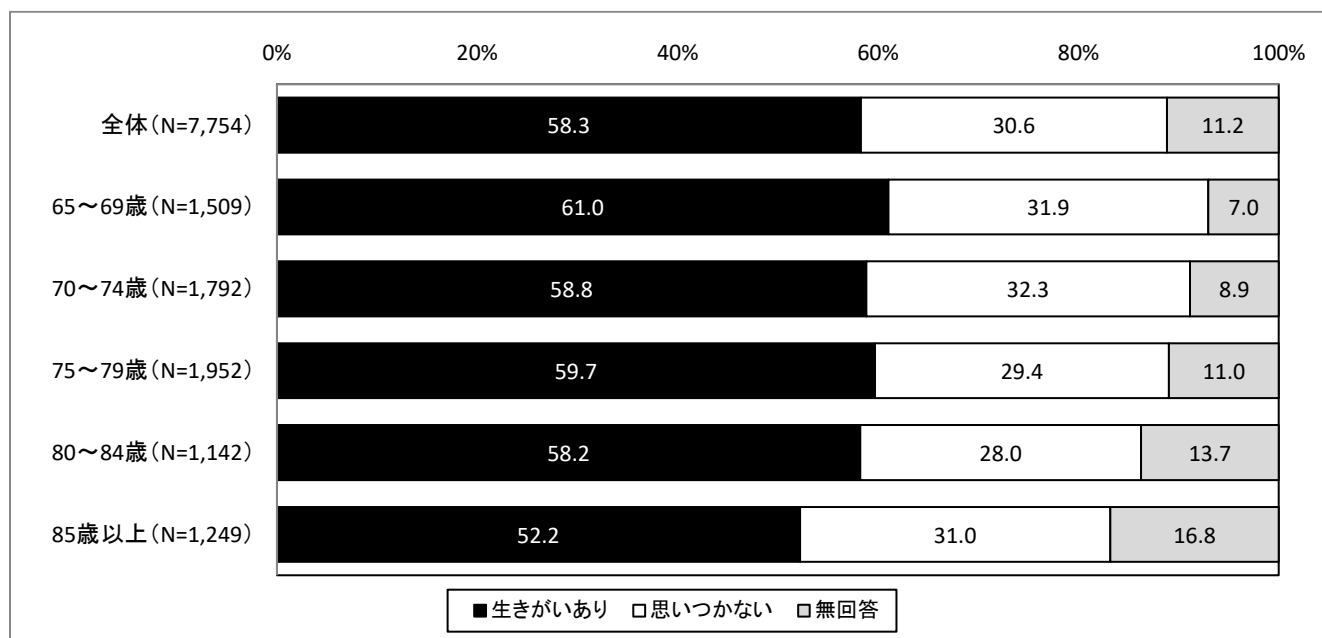
年代別に見ると、85歳以上では「趣味あり」が62.0%で全体と比べて5.3ポイント低くなっています。



(18) 生きがいがありますか

生きがいがあるかについては、「生きがいあり」が58.3%、「思いつかない」が30.6%となっています。

年代別に見ると、85歳以上では「生きがいあり」が52.2%で全体と比べて6.1ポイント低くなっています。



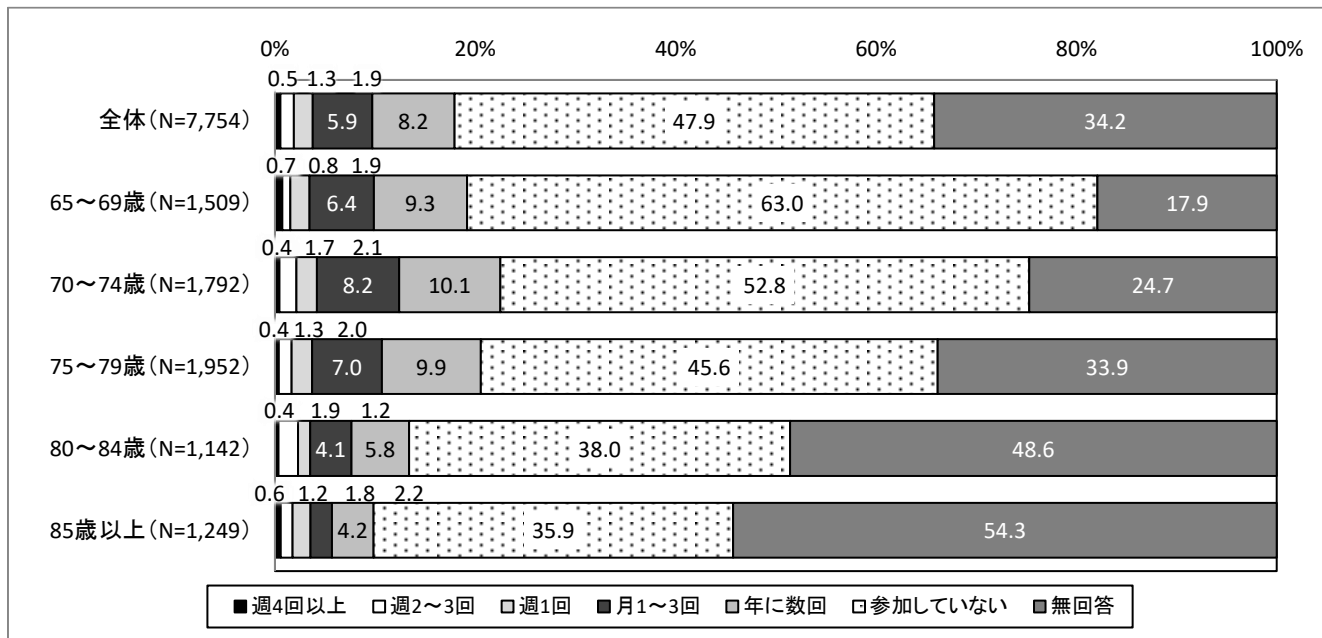
7 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

① ボランティアのグループ

ボランティアのグループにどのくらいの頻度で参加しているかについては、「参加していない」が47.9%で最も多く、次いで「年に数回」8.2%、「月1～3回」5.9%の順となっています。

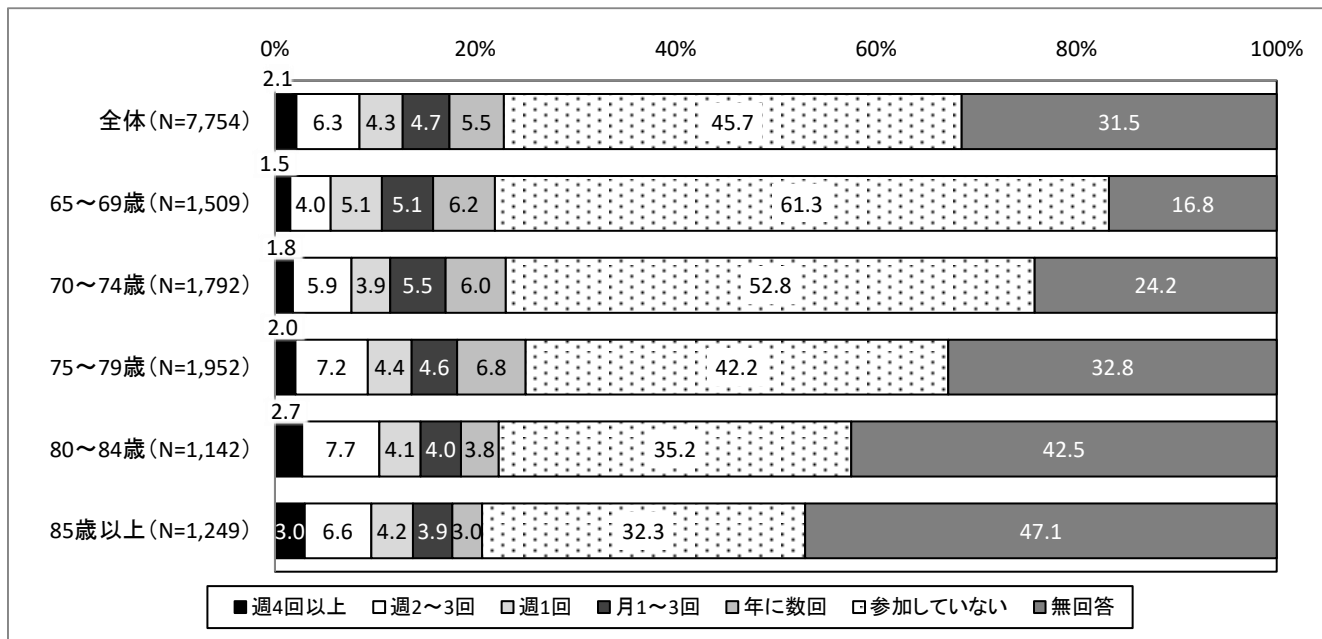
年代別に見ると、70～74歳で「年に数回」以上の頻度が他の年代と比べて高くなっています。



② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブにどのくらいの頻度で参加しているかについては、「参加していない」が45.7%で最も多く、次いで「週2～3回」6.3%、「年に数回」5.5%の順となっています。

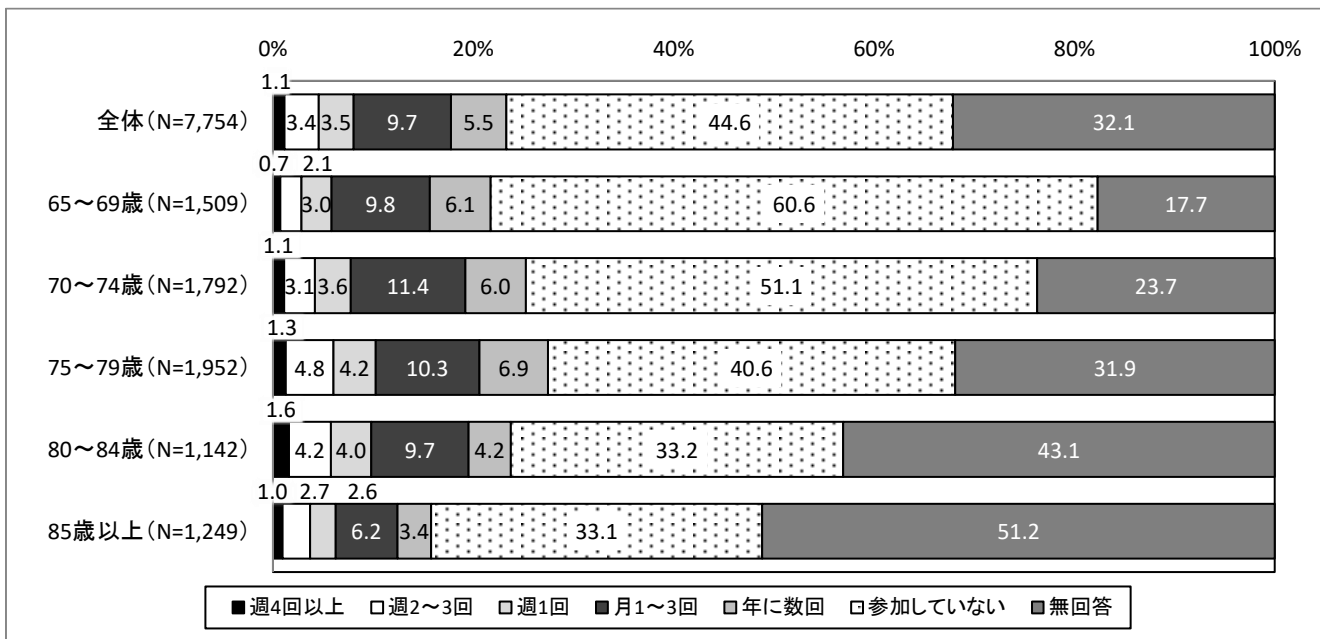
年代別に見ると、75～79歳で「年に数回」以上の頻度が他の年代と比べて高くなっています。



③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加しているかについては、「参加していない」が44.6%で最も多く、次いで「月1~3回」9.7%、「年に数回」5.5%の順となっています。

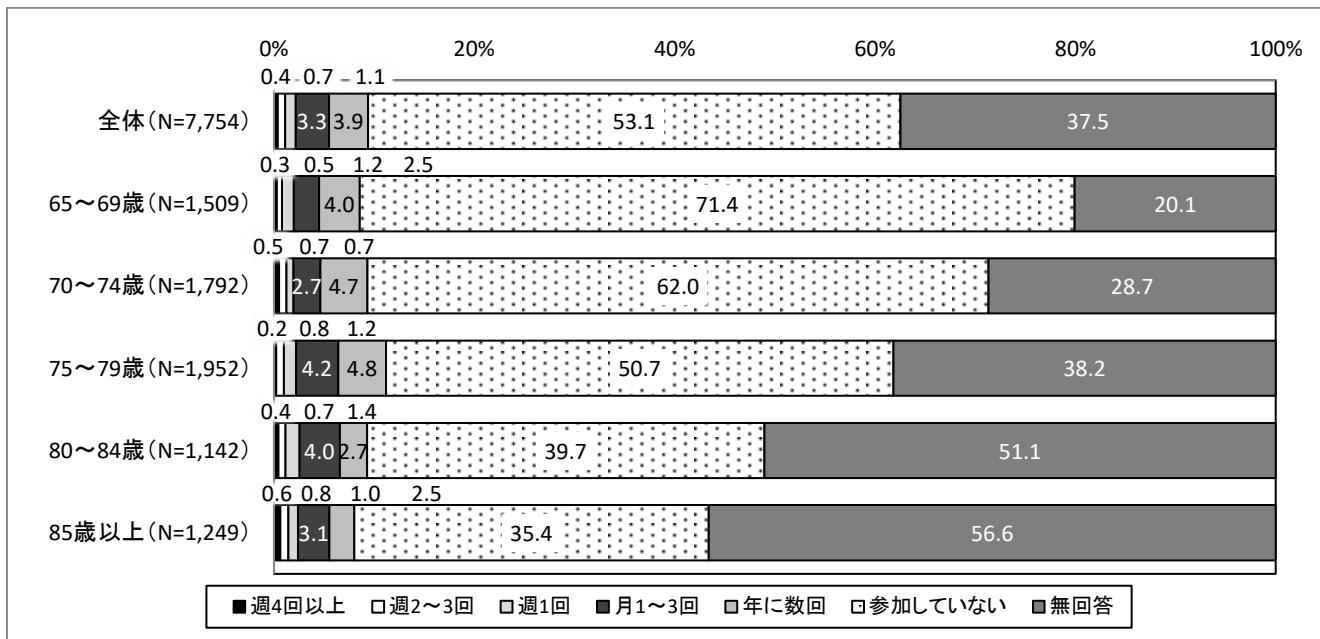
年代別に見ると、75~79歳で「年に数回」以上の頻度が他の年代と比べて高くなっています。



④ 学習・教養サークル

学習・教養サークルにどのくらいの頻度で参加しているかについては、「参加していない」が53.1%で最も多く、次いで「年に数回」3.9%、「月1~3回」3.3%の順となっています。

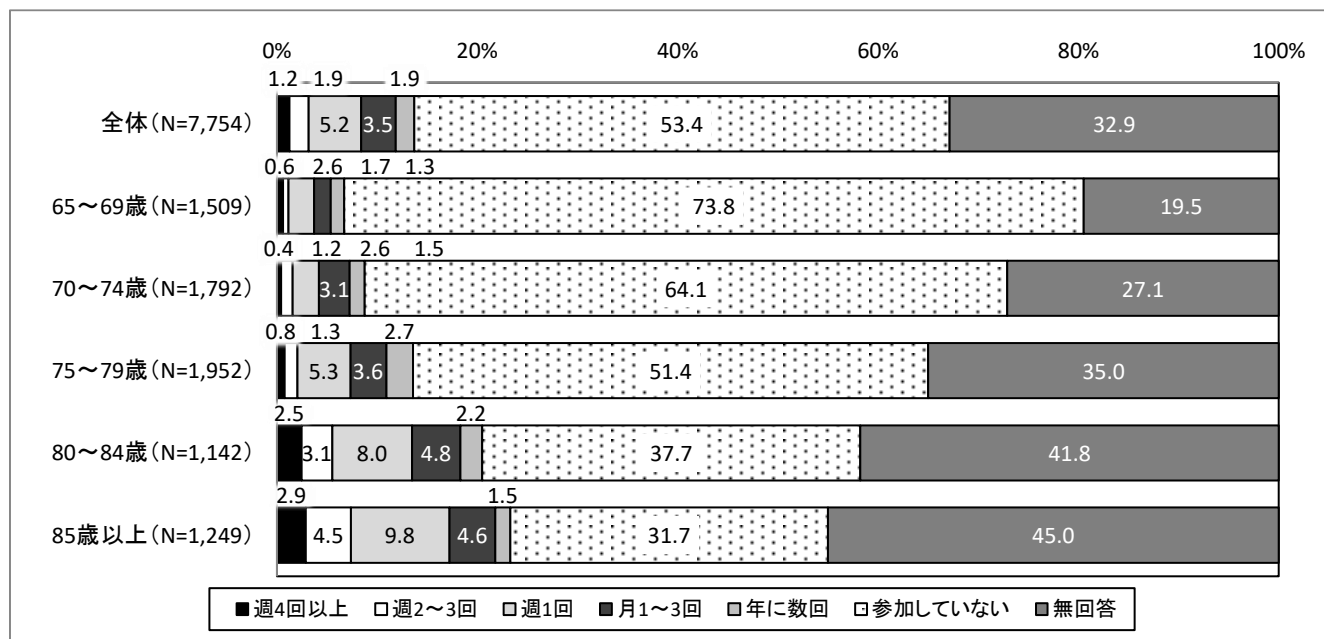
年代別に見ると、65~69歳では「参加していない」が71.4%で全体と比べて18.3ポイント高くなっています。



⑤ (元気が出る体操教室) 介護予防のための通いの場

(元気が出る体操教室) 介護予防のための通いの場にどのくらいの頻度で参加しているかについては、「参加していない」が53.4%で最も多く、次いで「週1回」5.2%、「月1~3回」3.5%の順となっています。

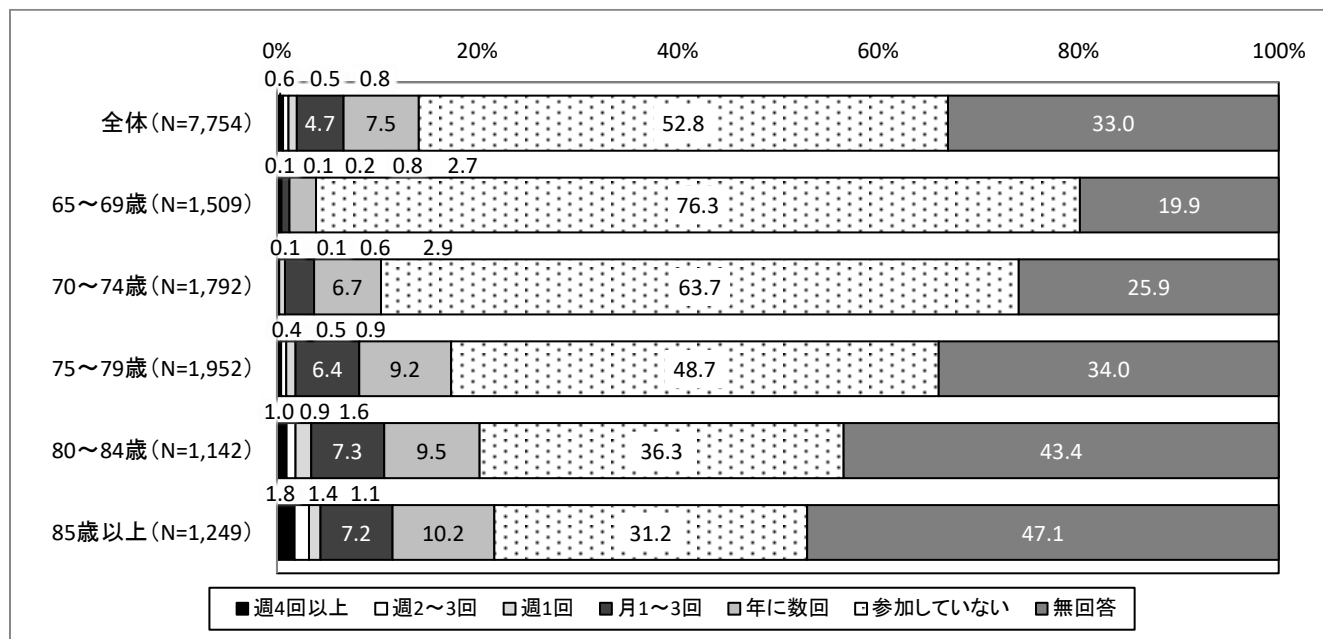
年代別に見ると、65~69歳では「参加していない」が73.8%で全体と比べて20.4ポイント高くなっています。



⑥ シニアクラブ (老人クラブ)

シニアクラブ (老人クラブ) にどのくらいの頻度で参加しているかについては「参加していない」が52.8%で最も多く、次いで「年に数回」7.5%、「月1~3回」4.7%の順となっています。

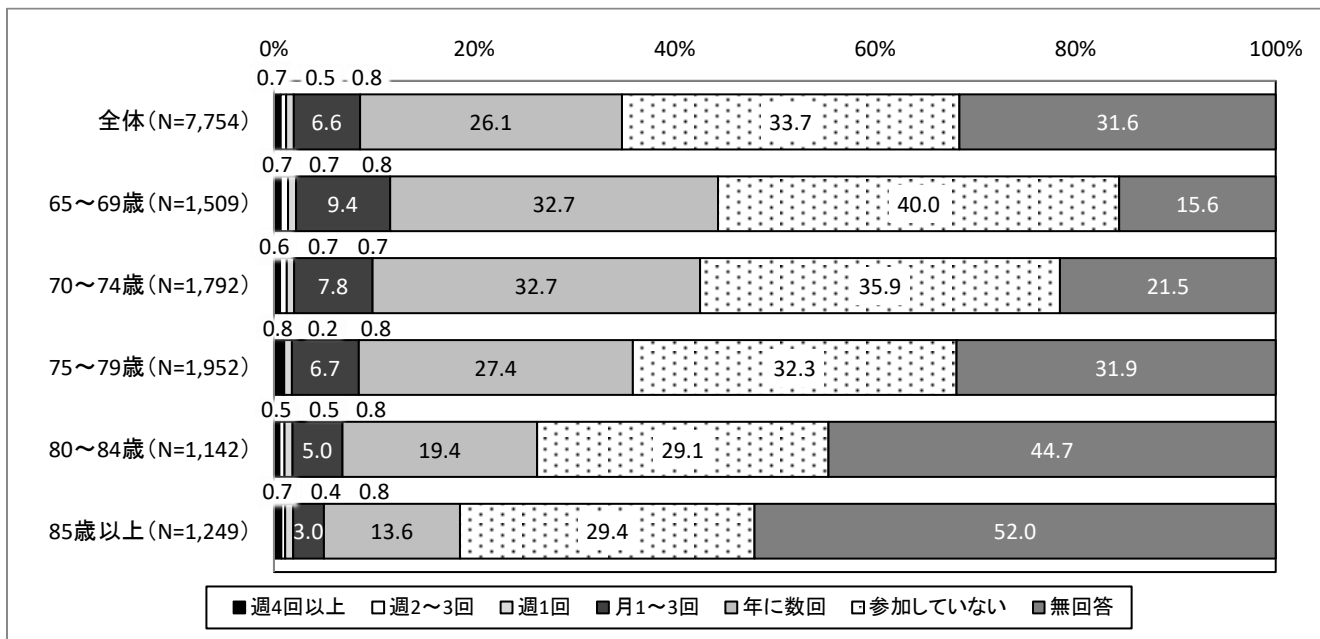
年代別に見ると、年齢が高くなるほど「年に数回」以上の頻度が増加する傾向にあります。



⑦ 町内会・自治会

町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加しているかについては、「参加していない」が33.7%で最も多く、次いで「年に数回」26.1%、「月1～3回」6.6%の順となっています。

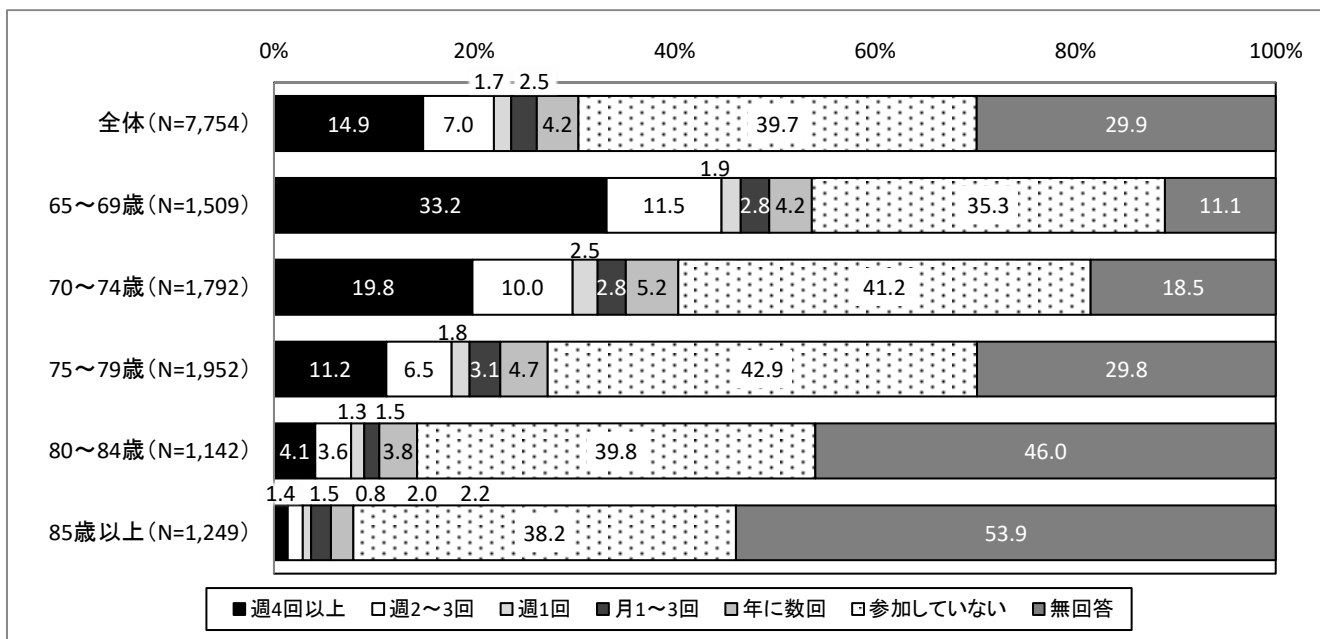
年代別に見ると、年齢が高くなるほど「年に数回」以上の頻度が減少する傾向にあります。



⑧ 収入のある仕事

収入のある仕事にどのくらいの頻度で参加しているかについては、「参加していない」が39.7%で最も多く、次いで「週4回以上」14.9%、「週2～3回」7.0%の順となっています。

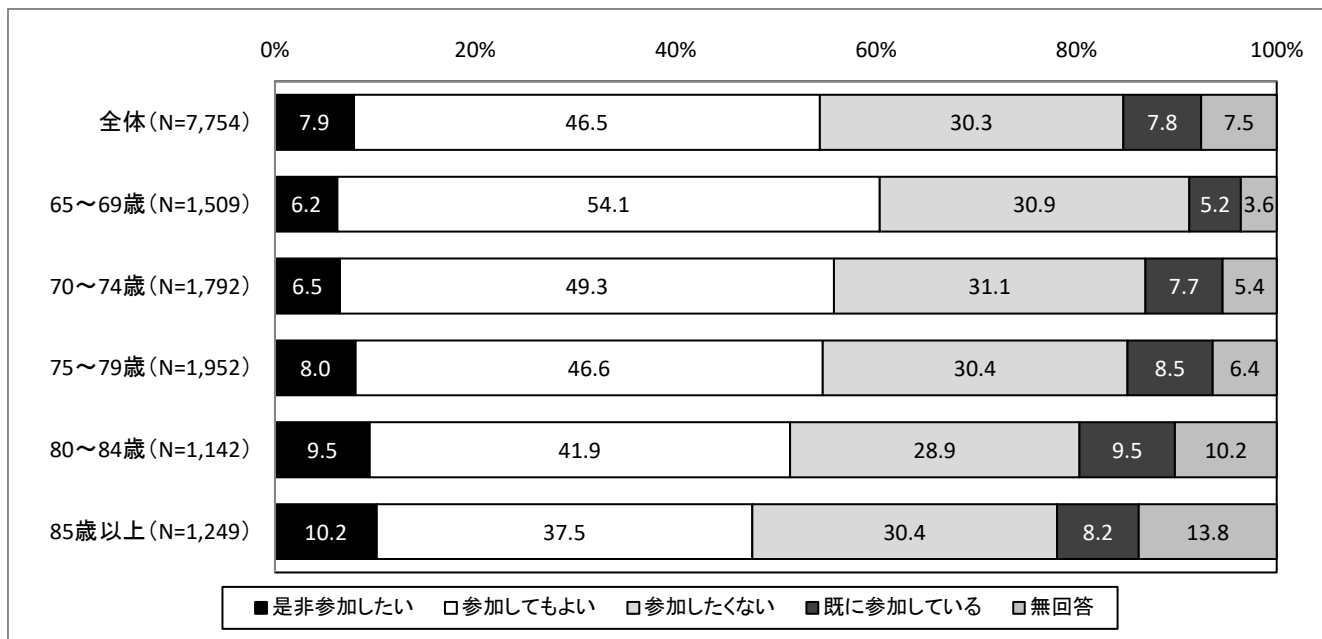
年代別に見ると、65～69歳で「週4回以上」が33.2%で全体と比べて18.3ポイント高くなっています。



(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかについては、「参加してもよい」が46.5%で最も多く、次いで「参加したくない」30.3%、「是非参加したい」7.9%の順となっています。

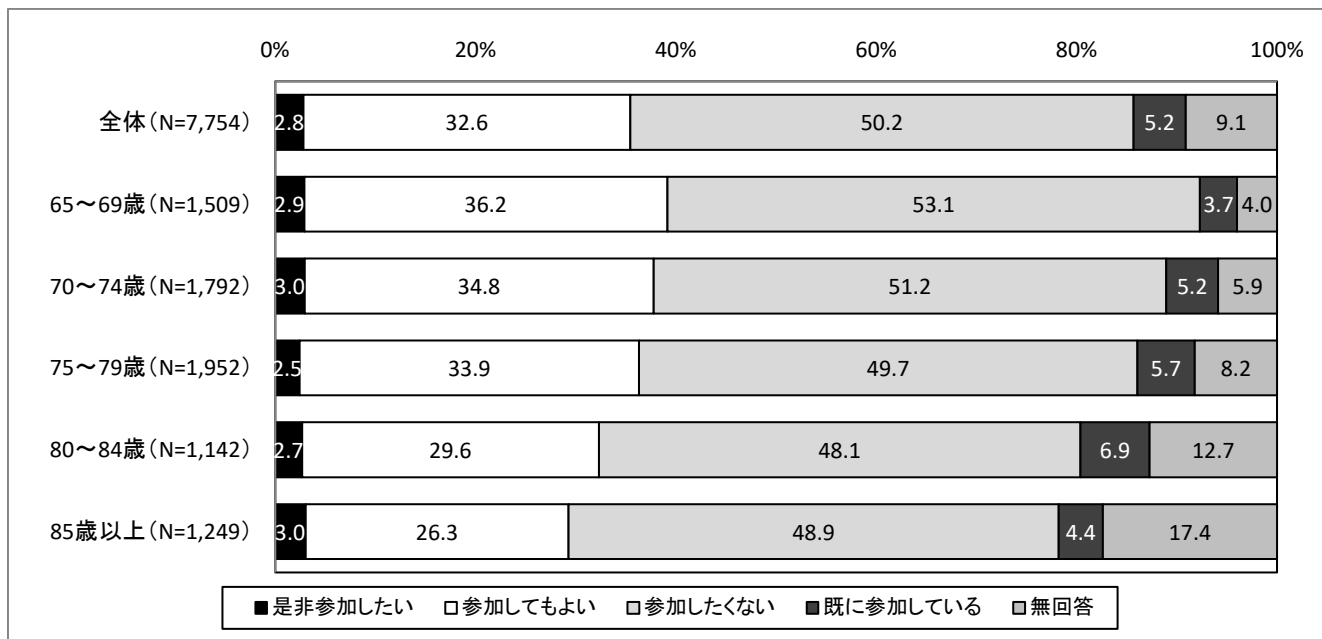
年代別に見ると、85歳以上では「参加してもよい」が37.5%で全体と比べて9.0ポイント低くなっています。



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかについては、「参加したくない」が50.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」32.6%、「既に参加している」5.2%の順となっています。

年代別に見ると、85歳以上では「参加してもよい」が26.3%で全体と比べて6.3ポイント低くなっています。

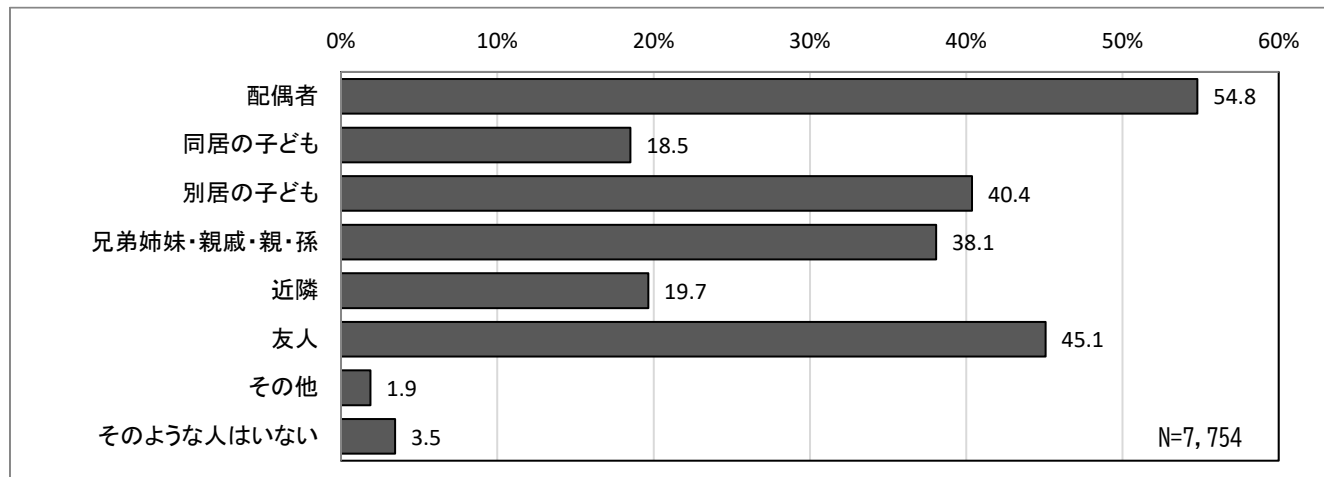


8 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（複数回答）

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が 54.8%で最も多く、次いで「友人」45.1%、「別居の子ども」40.4%の順となっています。

年代別に見ると、年齢が高くなるほど「友人」が減少する傾向にあります。



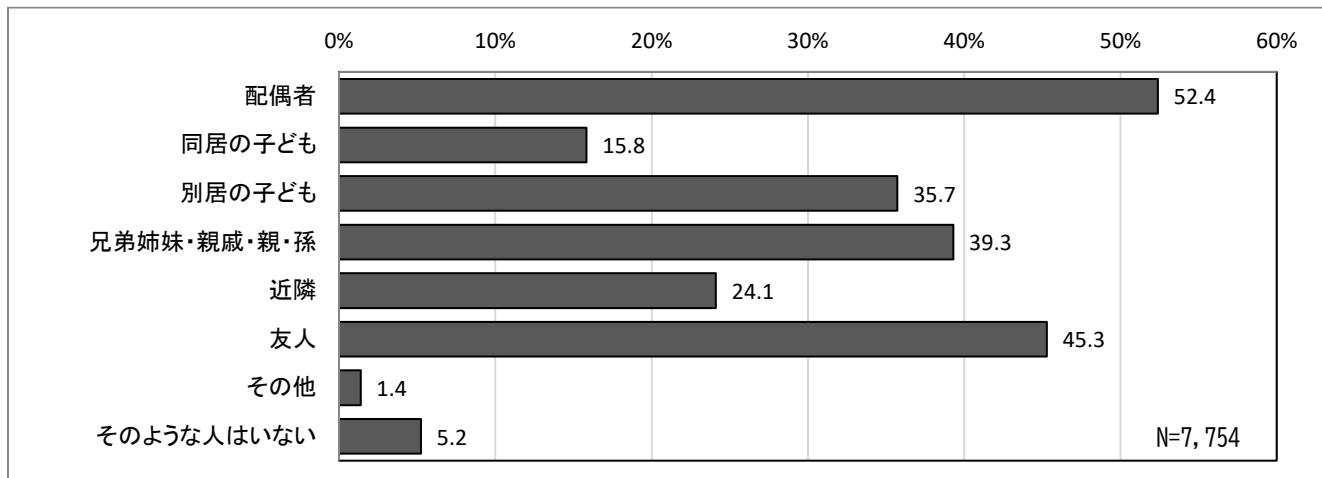
(上段：構成比 下段：人数)

属性	区分	全体	関係者							
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
総数	-	100.0	54.8	18.5	40.4	38.1	19.7	45.1	1.9	3.5
		7,754	4,249	1,436	3,131	2,952	1,524	3,495	146	268
年齢	65～69歳	100.0	64.5	15.4	36.3	39.0	15.0	49.2	3.0	3.8
		1,509	974	233	548	588	226	742	46	58
	70～74歳	100.0	62.1	15.6	36.2	36.7	17.4	47.7	2.0	3.5
		1,792	1,113	280	648	658	312	855	36	63
	75～79歳	100.0	59.7	17.8	40.8	40.0	20.4	48.1	1.1	3.6
		1,952	1,165	348	797	781	398	938	22	70
	80～84歳	100.0	47.9	20.1	43.8	39.0	24.3	42.1	1.7	2.9
		1,142	547	229	500	445	278	481	19	33
	85歳以上	100.0	32.1	26.1	48.0	35.9	23.9	35.1	1.8	3.2
		1,249	401	326	599	448	298	439	22	40

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（複数回答）

反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が52.4%で最も多く、次いで「友人」45.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」39.3%の順となっています。

年代別に見ると、年齢が高くなるほど「配偶者」、「友人」が減少する傾向にあります。



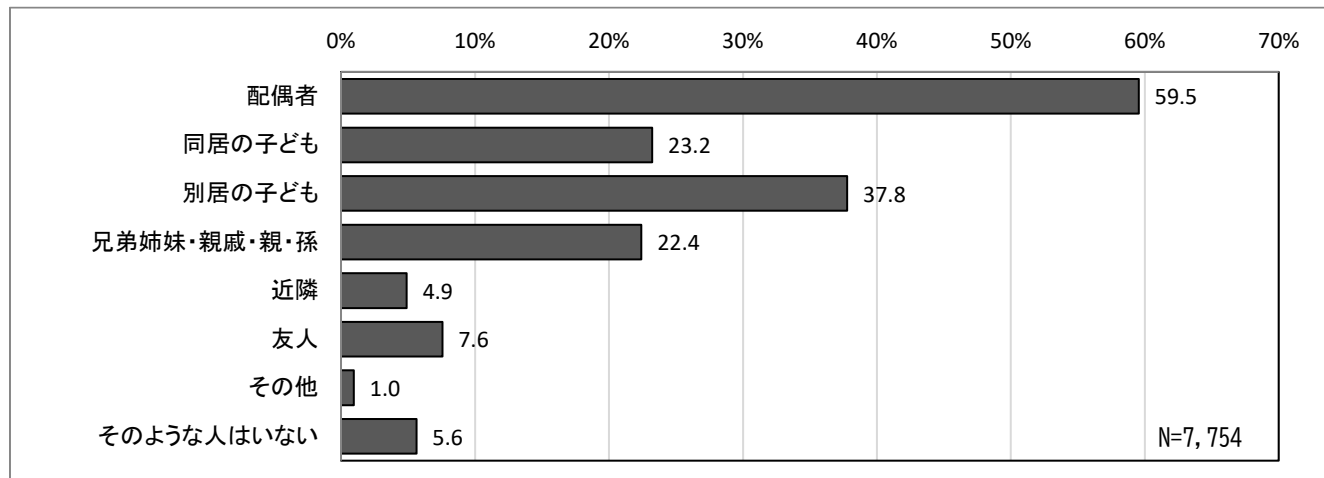
(上段：構成比 下段：人数)

属性	区分	全体	関係の種類							
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
総数	-	100.0	52.4	15.8	35.7	39.3	24.1	45.3	1.4	5.2
		7,754	4,062	1,228	2,770	3,047	1,869	3,511	107	406
年齢	65～69歳	100.0	62.1	15.2	37.2	41.3	18.4	49.0	2.8	4.8
		1,509	937	229	562	623	277	739	42	72
	70～74歳	100.0	59.7	14.1	35.7	39.3	22.3	47.7	1.5	4.6
		1,792	1,069	253	640	704	400	855	26	82
	75～79歳	100.0	56.1	15.1	36.0	41.2	26.9	48.1	1.0	4.5
	1,952	1,095	295	702	804	526	938	19	88	
	80～84歳	100.0	45.4	16.7	34.9	40.5	28.9	44.5	0.7	5.7
	1,142	518	191	399	462	330	508	8	65	
	85歳以上	100.0	31.8	19.5	34.7	33.6	25.3	34.3	1.0	7.3
	1,249	397	243	434	420	316	429	12	91	

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数回答）

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が59.5%で最も多く、次いで「別居の子ども」37.8%、「同居の子ども」23.2%の順となっています。

年代別に見ると、年齢が高くなるほど「別居の子ども」が増加し、「配偶者」が減少する傾向にあります。



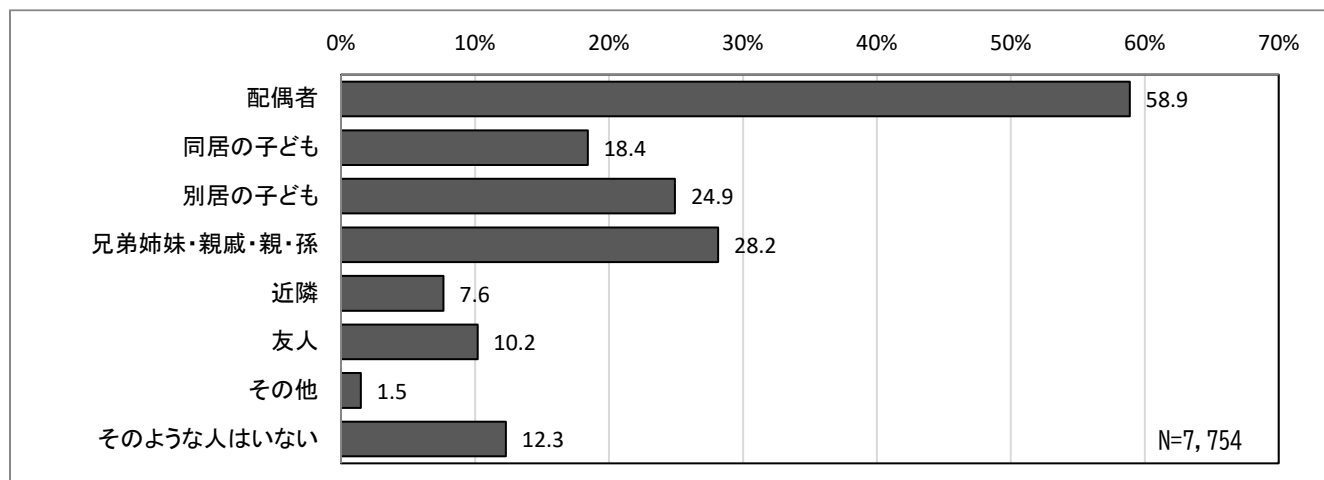
(上段：構成比 下段：人数)

属性	区分	全体								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
総数	-	100.0	59.5	23.2	37.8	22.4	4.9	7.6	1.0	5.6
		7,754	4,617	1,801	2,930	1,738	380	587	74	437
年齢	65~69歳	100.0	71.0	18.7	28.8	20.6	2.9	7.2	0.7	5.5
		1,509	1,072	282	434	311	44	108	10	83
	70~74歳	100.0	67.9	20.6	32.8	21.2	3.6	7.4	1.2	5.7
		1,792	1,216	369	587	380	65	132	21	102
	75~79歳	100.0	64.7	23.0	40.0	22.8	4.9	8.2	0.6	5.2
	1,952	1,263	449	780	446	95	161	12	101	
	80~84歳	100.0	51.7	25.5	42.0	24.3	6.6	8.4	1.3	6.5
	1,142	590	291	480	277	75	96	15	74	
	85歳以上	100.0	33.8	30.4	48.9	24.6	7.8	6.6	1.2	5.8
	1,249	422	380	611	307	97	82	15	73	

(4) 反対に、看病や世話をしあける人（複数回答）

反対に、看病や世話をしあける人については、「配偶者」が58.9%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」28.2%、「別居の子ども」24.9%の順となっています。

年代別に見ると、年齢が高くなるほど「そのような人はいない」が増加し、「配偶者」が減少する傾向にあります。



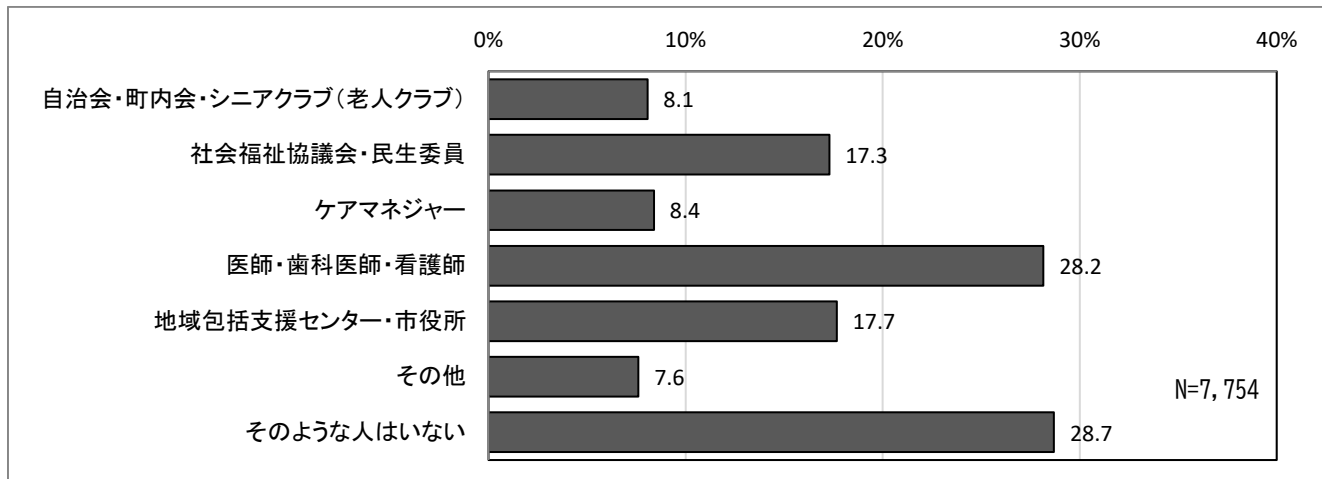
(上段：構成比 下段：人数)

属性	区分	全体	区分							
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
総数	-	100.0	58.9	18.4	24.9	28.2	7.6	10.2	1.5	12.3
		7,754	4,565	1,428	1,933	2,183	593	790	115	954
年齢	65～69歳	100.0	67.5	17.4	27.2	36.1	4.6	8.3	1.5	11.0
		1,509	1,019	262	410	545	69	125	22	166
	70～74歳	100.0	67.0	18.0	27.1	29.5	6.8	10.1	0.9	10.3
		1,792	1,200	322	485	529	122	181	17	185
	75～79歳	100.0	65.1	18.9	26.1	28.1	8.9	12.0	1.3	10.6
		1,952	1,271	368	509	549	173	235	25	206
80～84歳	100.0	51.6	18.0	23.7	24.5	10.0	10.9	1.1	12.6	
	1,142	589	205	271	280	114	124	12	144	
85歳以上	100.0	34.5	20.1	19.0	20.3	8.5	9.0	3.0	19.0	
	1,249	431	251	237	253	106	113	38	237	

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（複数回答）

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手については、「そのような人はいない」が 28.7%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」28.2%、「地域包括支援センター・市役所」17.7%の順となっています。

年代別に見ると、年齢が高くなるほど「社会福祉協議会・民生委員」が増加し、「そのような人はいない」が減少する傾向にあります。



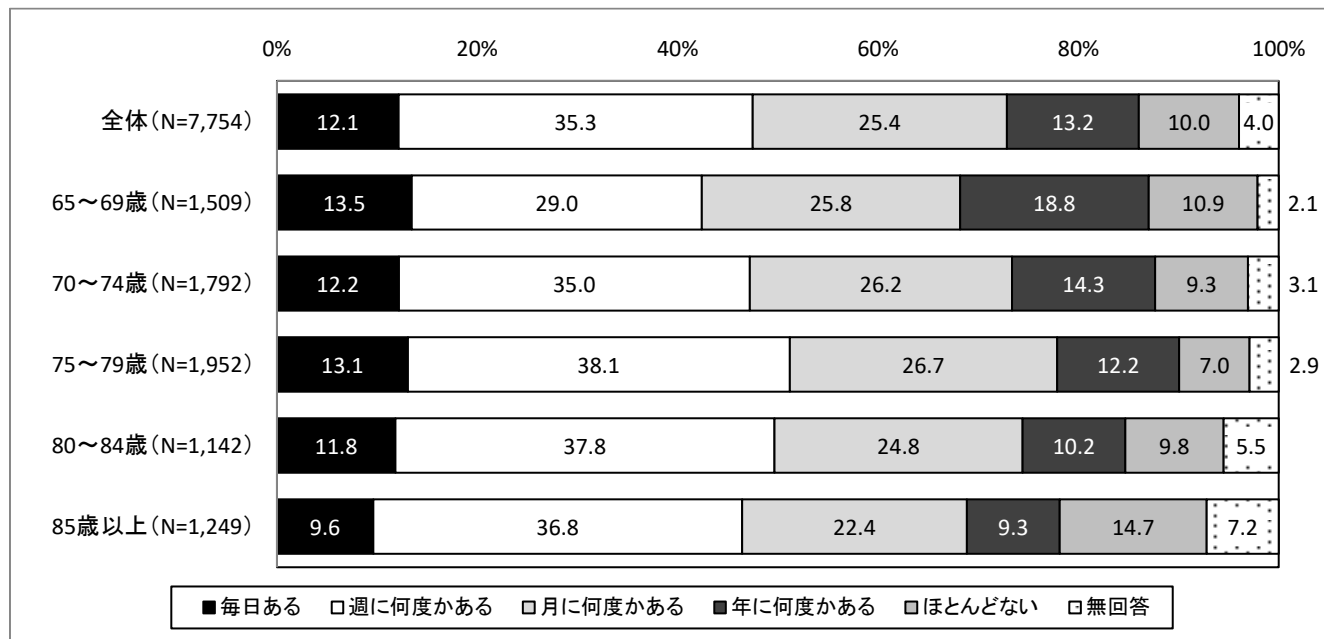
(上段：構成比 下段：人数)

属性	区分	全体	自治会・町内会・シニアクラブ(老人クラブ)	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない
総数	-	100.0	8.1	17.3	8.4	28.2	17.7	7.6	28.7
		7,754	626	1,341	651	2,183	1,370	590	2,225
年齢	65～69歳	100.0	7.4	8.6	6.6	25.0	14.9	10.4	38.0
		1,509	111	130	99	378	225	157	574
	70～74歳	100.0	7.8	13.0	4.3	25.4	17.3	8.6	34.4
		1,792	140	233	77	456	310	154	616
	75～79歳	100.0	8.0	15.9	7.1	29.3	17.0	7.7	28.8
		1,952	156	311	139	572	332	151	562
80～84歳	100.0	9.1	23.0	9.4	30.3	20.2	5.8	20.8	
	1,142	104	263	107	346	231	66	238	
85歳以上	100.0	8.4	30.7	17.7	32.3	20.7	4.3	16.7	
	1,249	105	383	221	404	259	54	209	

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」が 35.3%で最も多く、次いで「月に何度かある」25.4%、「年に何度かある」13.2%の順となっています。

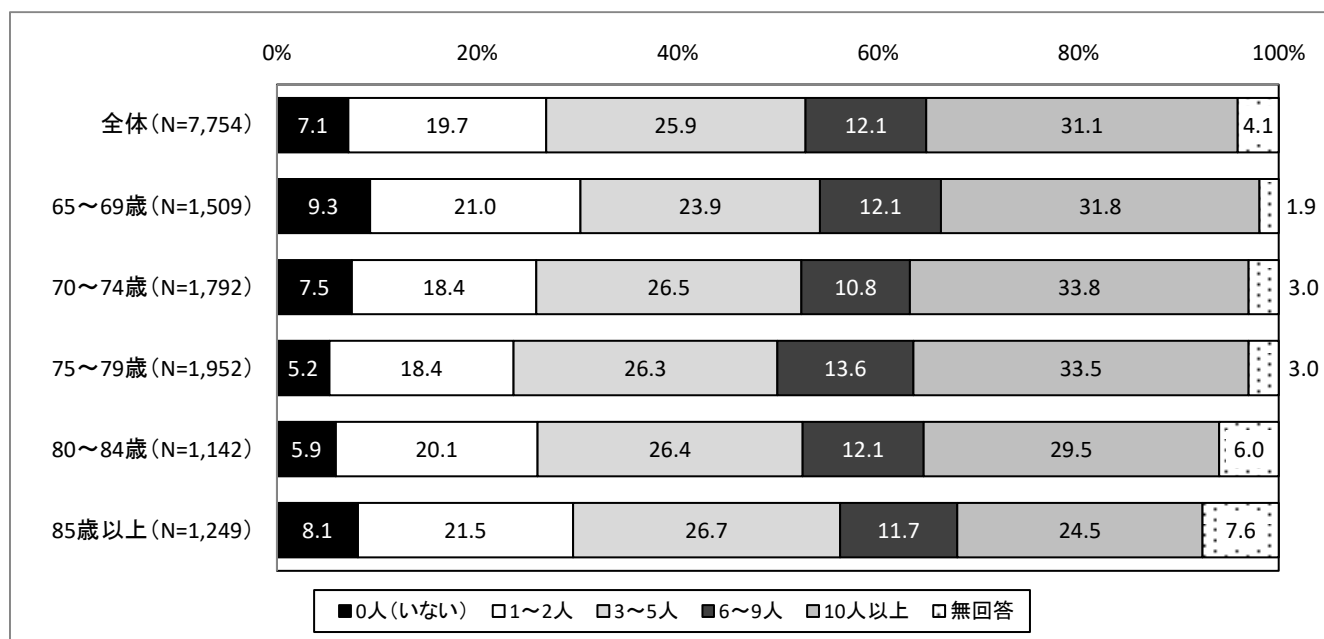
年代別に見ると、85歳以上で「ほとんどない」が他の年代と比べて高くなっています。



(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか

この1か月間、何人の友人・知人と会ったかについては、「10人以上」が 31.1%で最も多く、次いで「3~5人」25.9%、「1~2人」19.7%の順となっています。

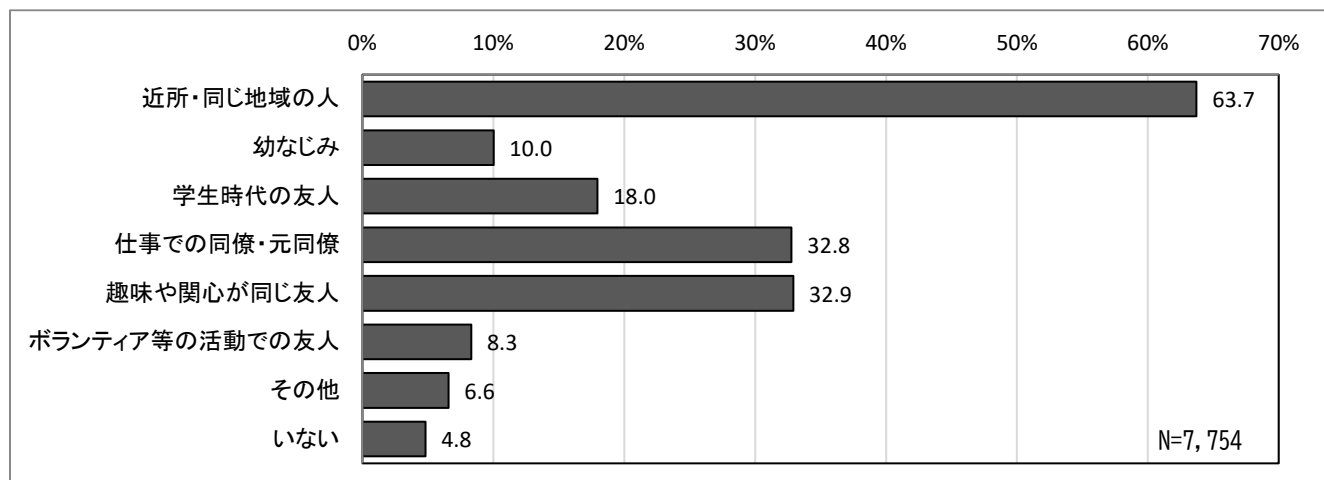
年代別に見ると、85歳以上で「10人以上」が他の年代と比べて低くなっています。



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（複数回答）

よく会う友人・知人はどんな関係の人かについては、「近所・同じ地域の人」が63.7%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」32.9%、「仕事での同僚・元同僚」32.8%の順となっています。

年代別に見ると、年齢が高くなるほど「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」が減少する傾向にあります。



(上段：構成比 下段：人数)

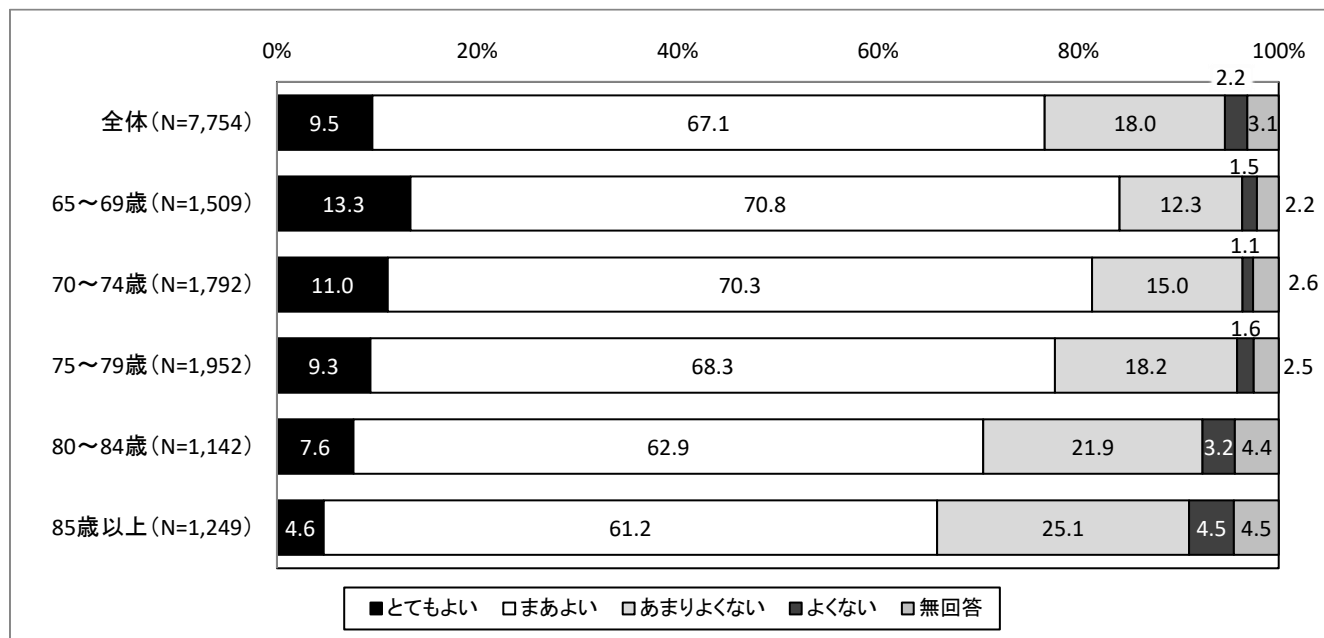
属性	区分	関係の種類								
		全体	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない
総数	-	100.0	63.7	10.0	18.0	32.8	32.9	8.3	6.6	4.8
		7,754	4,940	777	1,392	2,542	2,552	644	510	373
年齢	65～69歳	100.0	53.7	10.8	23.1	50.8	29.3	7.5	7.0	5.2
		1,509	810	163	349	767	442	113	106	79
	70～74歳	100.0	61.2	10.0	18.9	39.3	33.3	9.5	7.4	4.9
		1,792	1,096	179	339	704	597	171	133	87
	75～79歳	100.0	68.3	11.9	18.0	31.8	36.9	8.7	6.4	4.0
		1,952	1,333	232	351	620	720	170	124	78
	80～84歳	100.0	67.7	9.7	16.8	22.6	33.7	7.4	5.1	4.2
		1,142	773	111	192	258	385	84	58	48
	85歳以上	100.0	69.3	6.7	11.8	13.8	29.6	7.9	6.6	6.0
		1,249	865	84	148	172	370	99	83	75

9 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

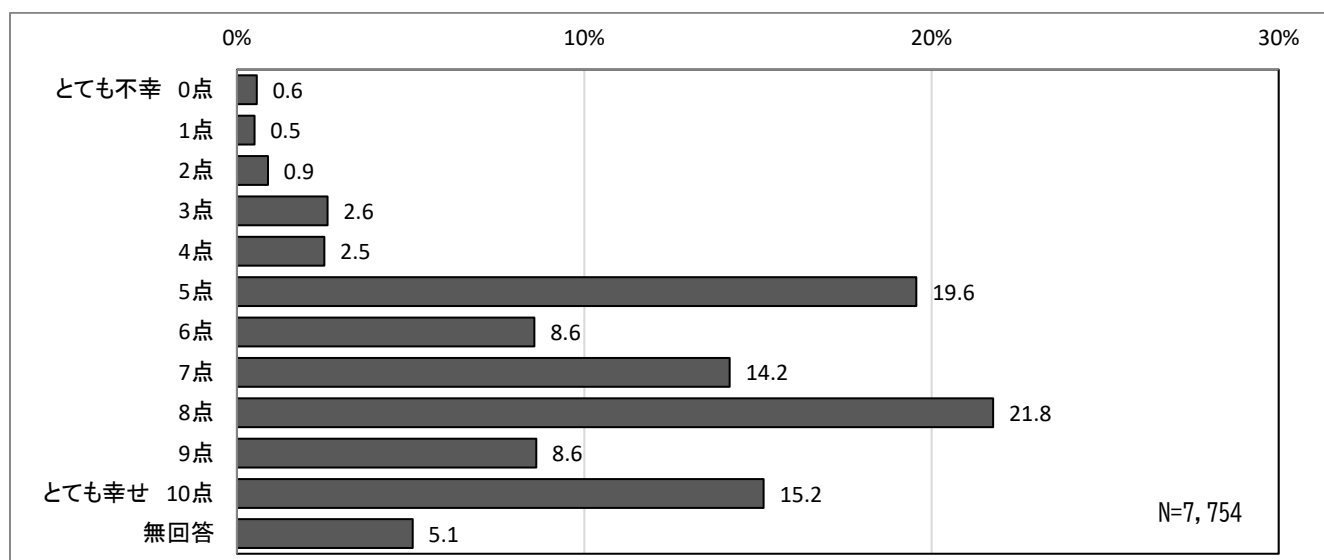
現在のあなたの健康状態については、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』が76.6%で「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』20.2%を上回っています。

年代別に見ると、年齢が高くなるほど『よい』が減少する傾向にあります。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

現在のあなたの幸せ度については、「8点」が21.8%で最も多く、次いで「5点」19.6%、「とても幸せ 10点」15.2%の順となっています。

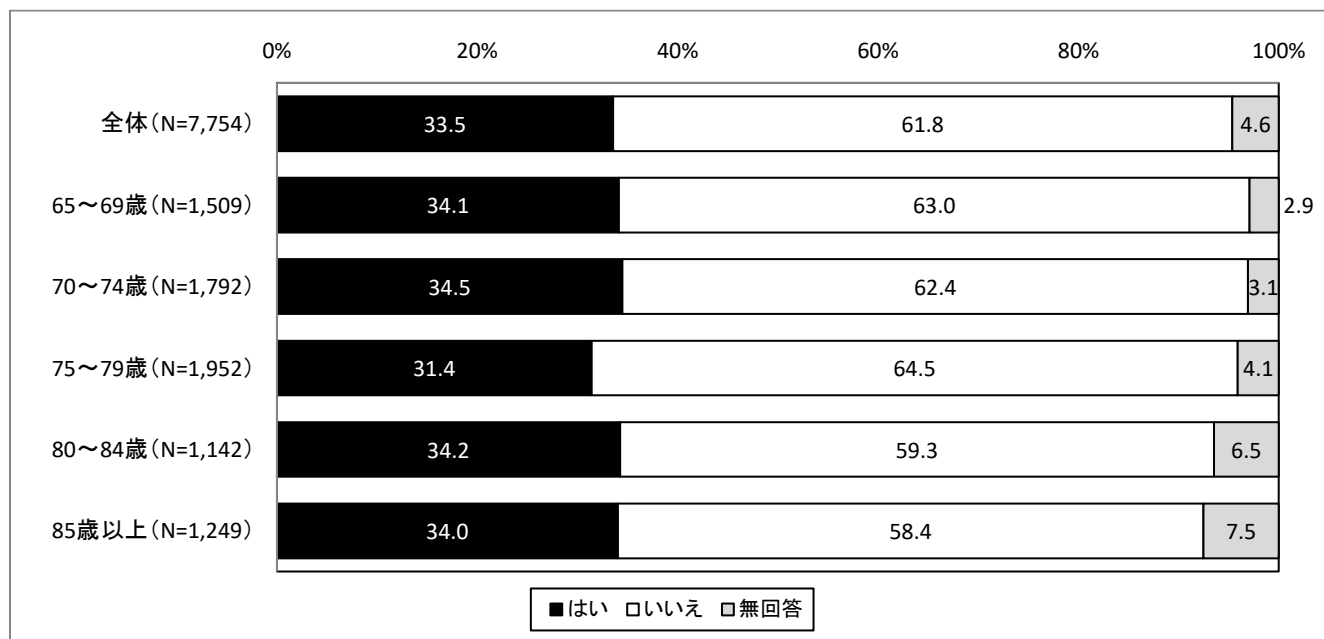


有効回答数	7,754 件
合計点数	52,108 点
平均点	6.7 点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が33.5%、「いいえ」が61.8%となっています。

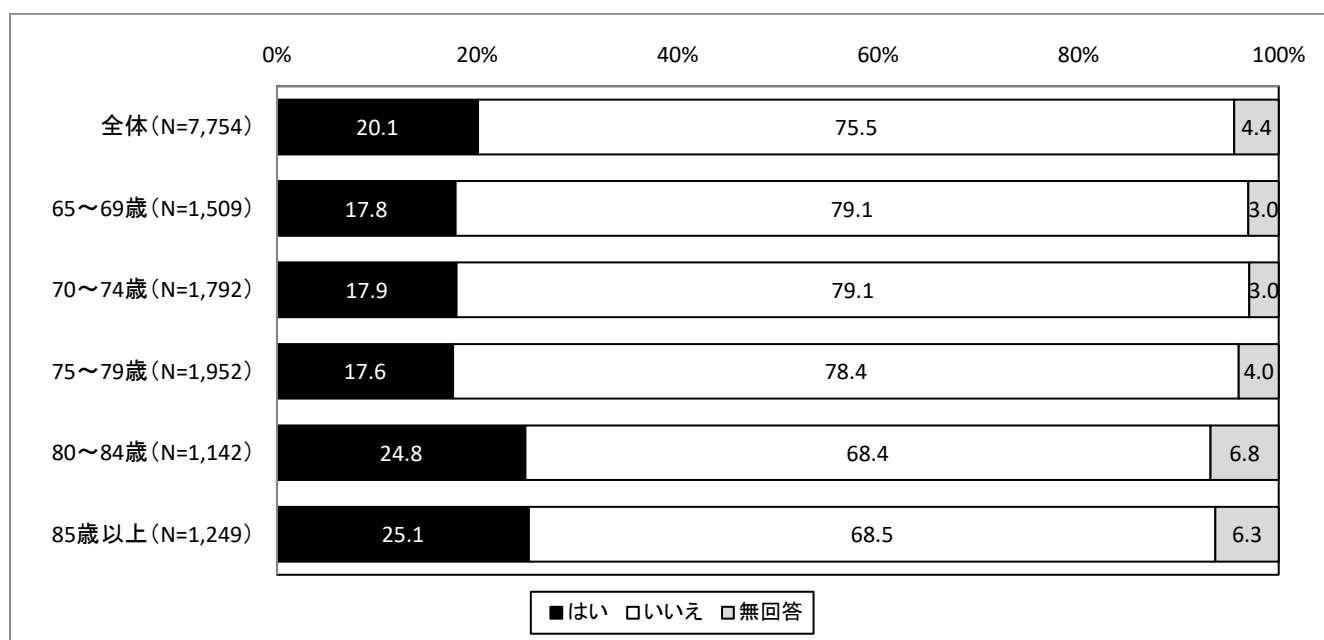
年代別大きな差は見られません。年代別では大きな差は見られません。



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が20.1%、「いいえ」が75.5%となっています。

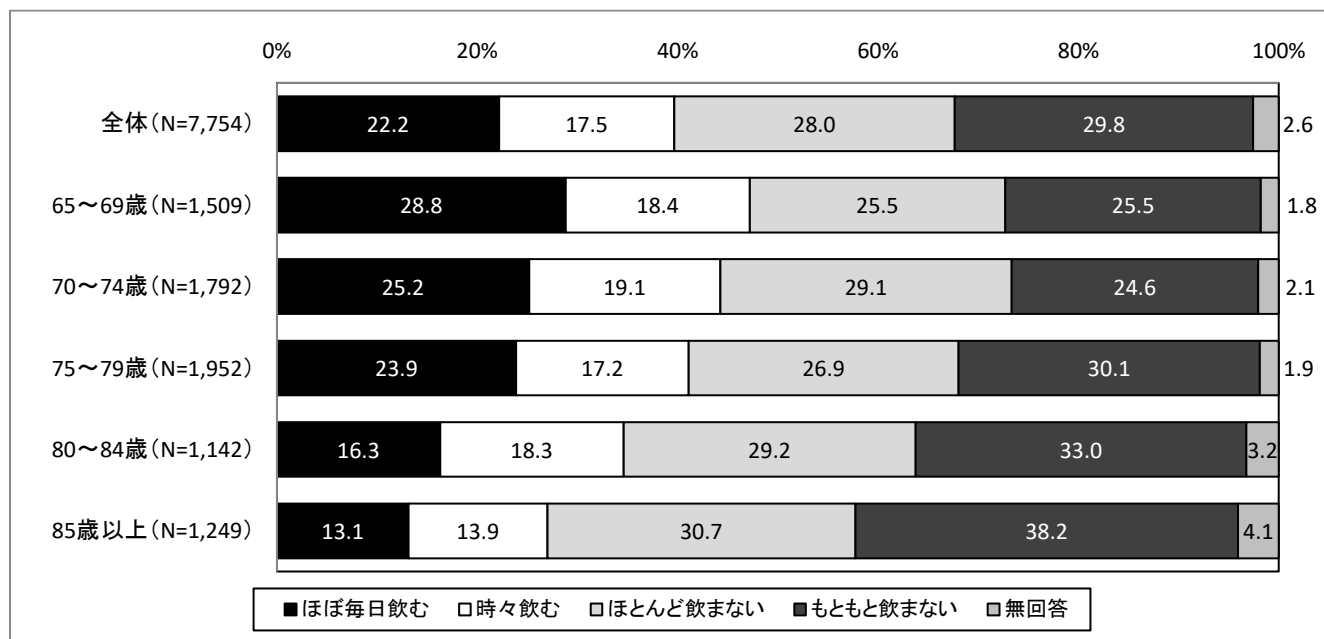
年代別に見ると、85歳以上では「はい」が25.1%で全体と比べて5.0ポイント高く、「いいえ」が68.5%で全体と比べて7.0ポイント低くなっています。



(5) お酒は飲みますか

お酒を飲むかについては、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた『飲む』が 39.7%で「ほとんど飲まない」と「もともと飲まない」を合わせた『飲まない』57.8%を下回っています。

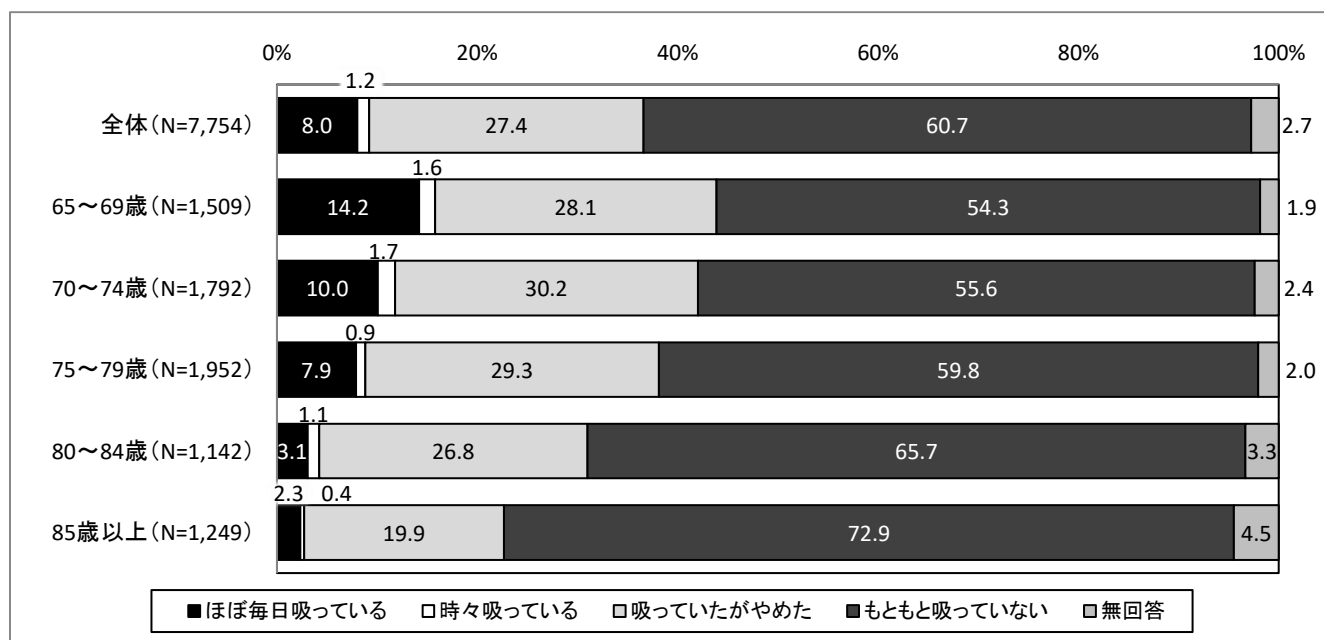
年代別に見ると、年齢が高くなるほど『飲む』が減少する傾向にあります。



(6) タバコは吸っていますか

タバコを吸っているかについては、「もともと吸っていない」が 60.7%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」27.4%、「ほぼ毎日吸っている」8.0%の順となっています。

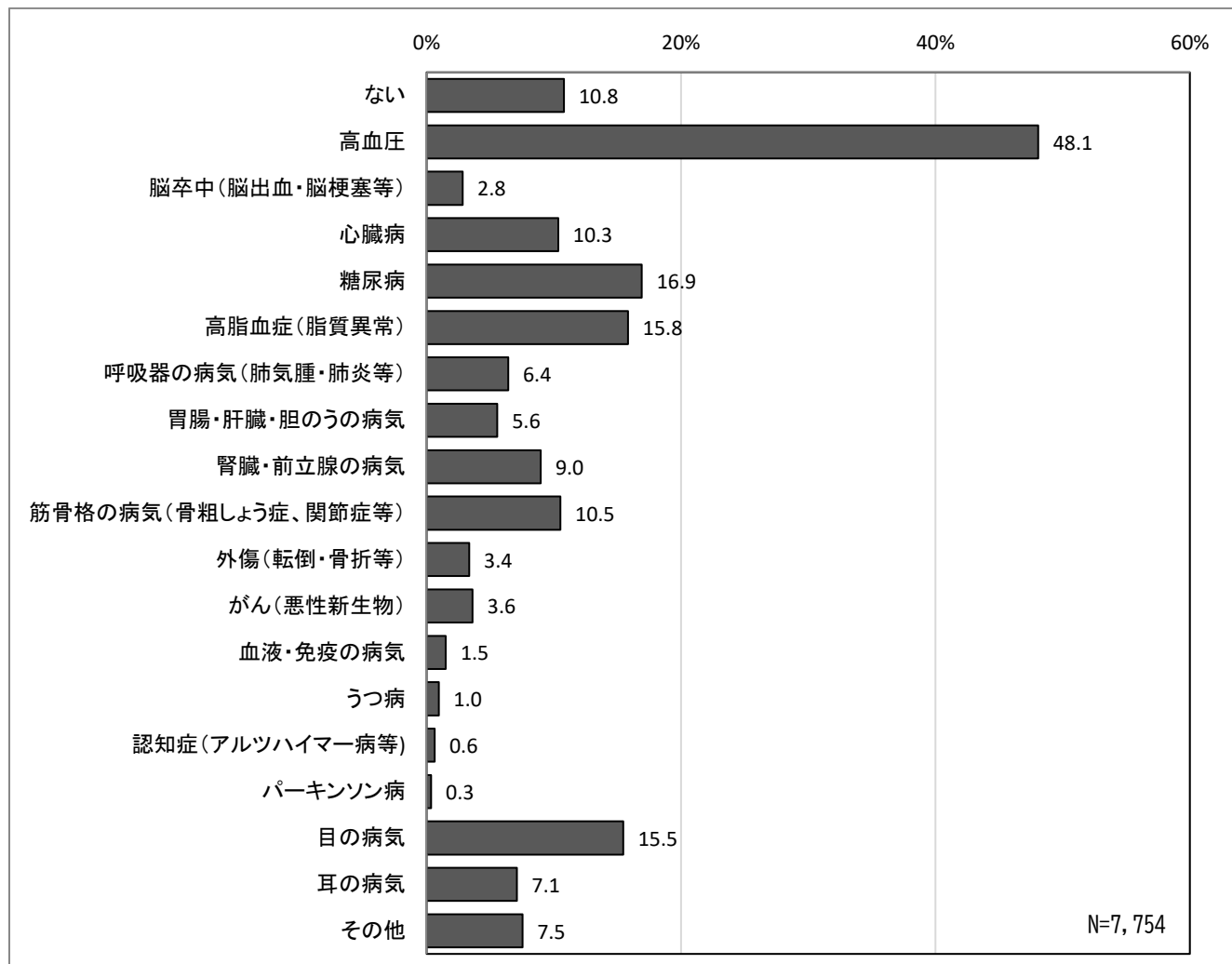
年代別に見ると、65～69歳で「ほぼ毎日吸っている」が他の年代と比べて高くなっています。



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（複数回答）

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が48.1%で最も多く、次いで「糖尿病」16.9%、「高脂血症（脂質異常）」15.8%の順となっています。

年代別に見ると、65～69歳では「ない」が17.5%で他の年代と比べて高くなっています。年齢が高くなるほど「高血圧」「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「目の病気」「耳の病気」が増加する傾向にあります。



(上段：構成比 下段：人数)

属性	区分	全体	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
総数	-	100.0	10.8	48.1	2.8	10.3	16.9	15.8	6.4	5.6	9.0	10.5
		7,754	837	3,727	220	802	1,311	1,227	497	431	695	815
年齢	65～69歳	100.0	17.5	40.4	2.1	5.0	15.1	18.6	4.2	5.1	6.9	8.2
		1,509	264	610	32	76	228	280	63	77	104	123
	70～74歳	100.0	12.4	46.9	3.0	9.0	17.8	19.4	5.4	5.4	7.9	8.1
		1,792	222	841	53	162	319	348	97	96	141	146
	75～79歳	100.0	8.9	48.3	2.7	10.2	19.1	16.9	7.7	4.4	10.0	10.0
		1,952	173	943	53	199	373	329	151	86	195	195
	80～84歳	100.0	7.1	51.1	3.4	13.5	17.8	14.3	8.0	7.1	9.9	13.6
		1,142	81	584	39	154	203	163	91	81	113	155
	85歳以上	100.0	7.4	55.2	3.0	16.1	13.2	7.8	7.0	6.8	10.6	15.1
		1,249	92	689	38	201	165	98	87	85	133	189

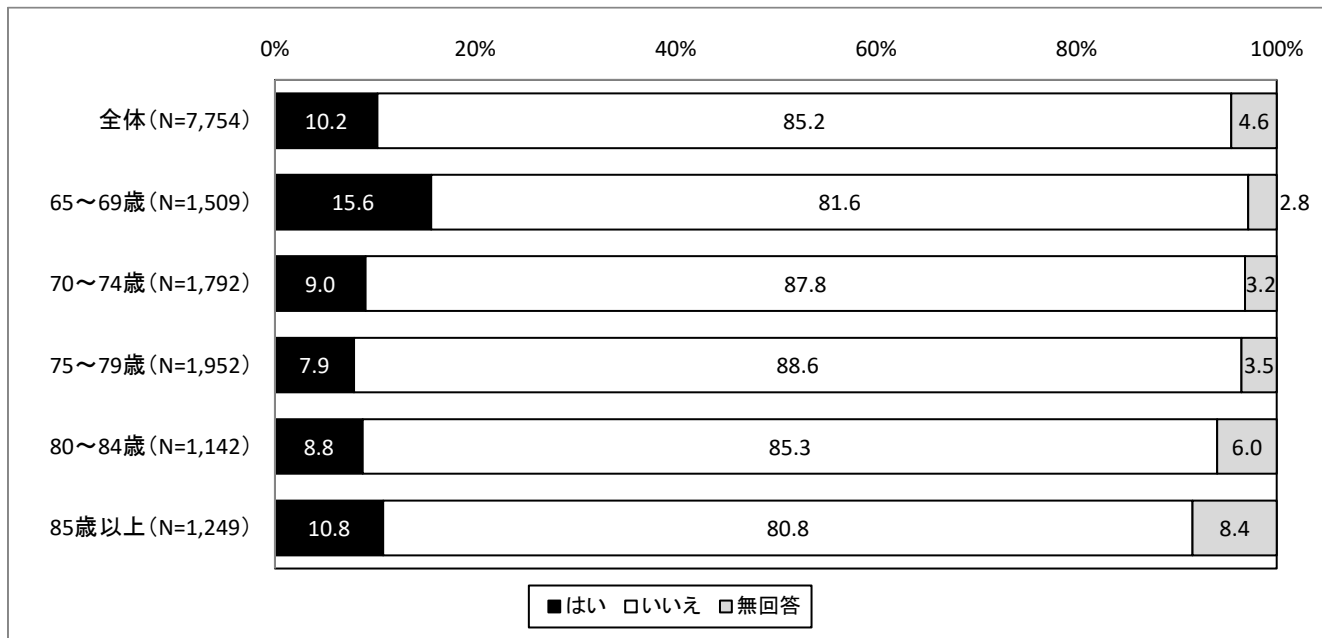
属性	区分	全体	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他
総数	-	100.0	3.4	3.6	1.5	1.0	0.6	0.3	15.5	7.1	7.5
		7,754	260	280	117	75	49	27	1,198	551	584
年齢	65～69歳	100.0	1.9	3.8	1.8	1.2	0.1	0.5	9.9	3.9	9.7
		1,509	28	57	27	18	1	7	149	59	146
	70～74歳	100.0	2.3	3.8	1.8	1.1	0.3	0.3	12.3	4.6	7.9
		1,792	41	68	33	20	5	6	220	82	141
	75～79歳	100.0	2.7	3.5	1.2	1.0	0.6	0.2	16.5	6.6	7.0
		1,952	52	68	23	19	12	3	322	128	137
	80～84歳	100.0	4.9	4.8	1.3	1.2	1.1	0.3	18.6	9.2	6.7
		1,142	56	55	15	14	12	3	212	105	76
	85歳以上	100.0	6.3	2.3	1.4	0.3	1.5	0.6	22.2	13.9	6.2
		1,249	79	29	17	4	19	7	277	174	77

10 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「はい」が 10.2%、「いいえ」が 85.2%となっています。

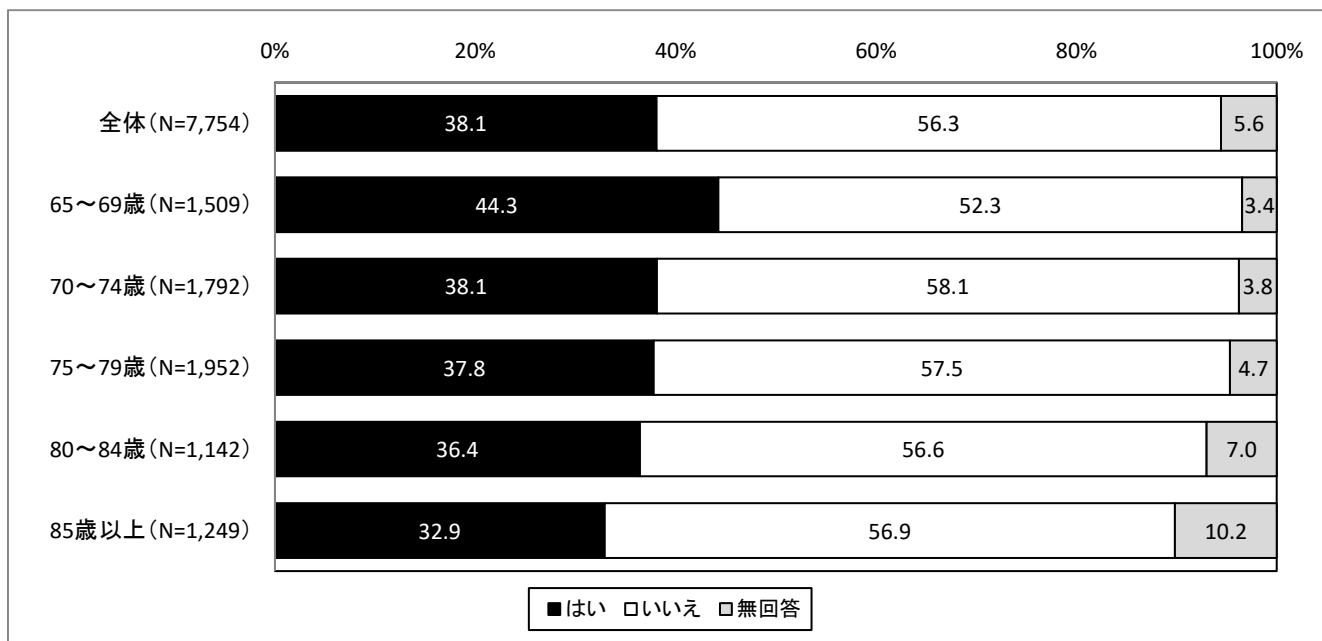
年代別に見ると、65～69歳では「はい」が 15.6%で全体と比べて 5.4 ポイント高くなっています。



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が 38.1%、「いいえ」が 56.3%となっています。

年代別に見ると、65～69歳では「はい」が 44.3%で全体と比べて 6.2 ポイント高くなっています。

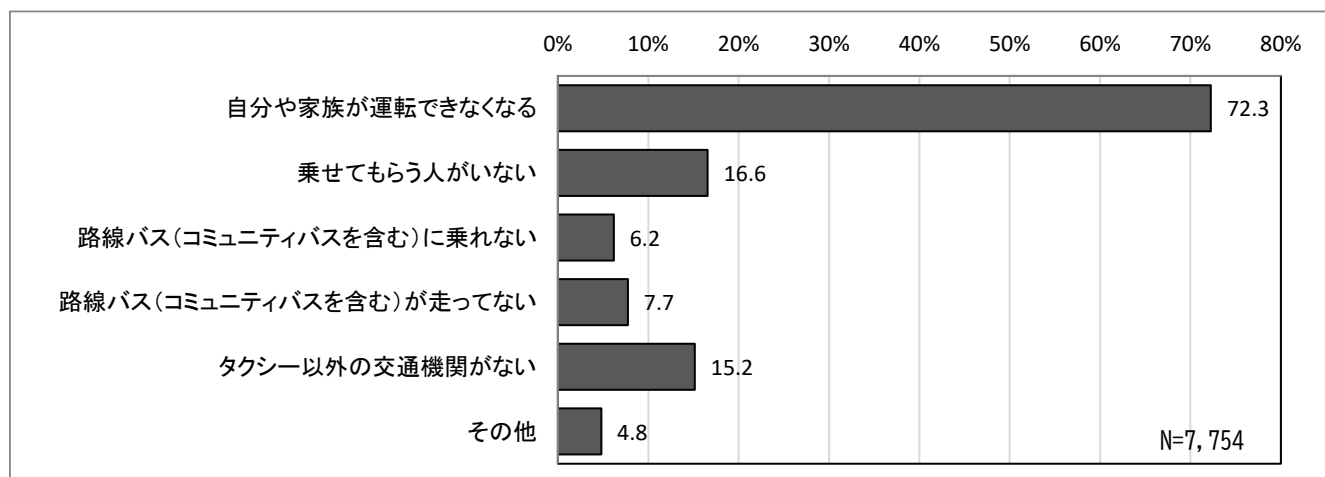


11 移動手段について

(1) 現在または将来的に、移動手段について不安を感じることは何ですか（複数回答）

現在または将来的に、移動手段について不安を感じることについては、「自分や家族が運転できなくなる」が72.3%で最も多く、次いで「乗せてもらう人がいない」16.6%、「タクシー以外の交通機関がない」15.2%の順となっています。

年代別に見ると、85歳以上では「路線バス（コミュニティバスを含む）に乗れない」が他の年代と比べて高くなっています。



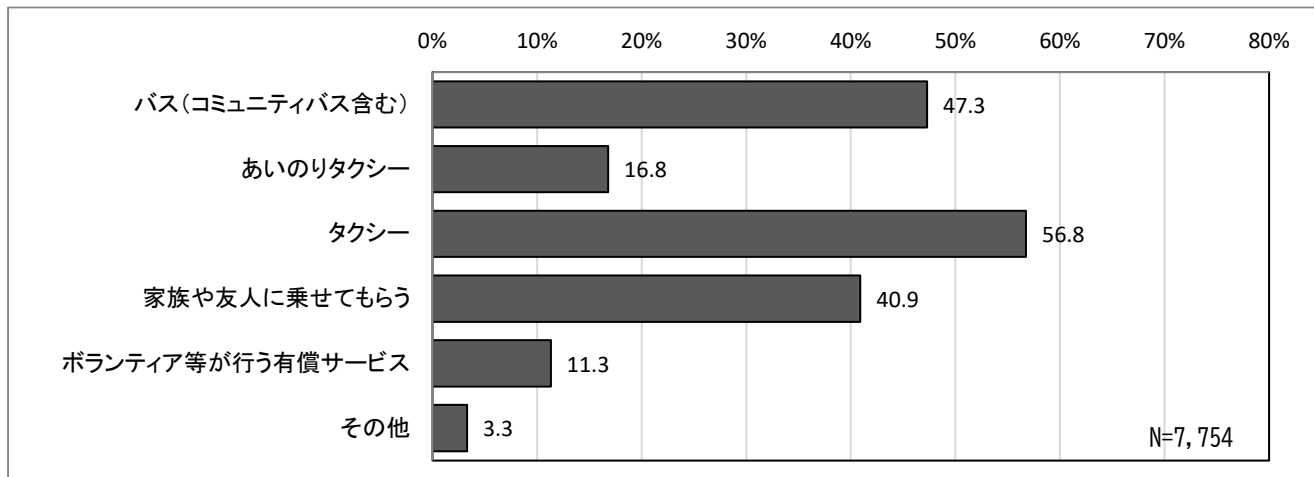
(上段：構成比 下段：人数)

属性	区分	全体	自分や家族が運転できなくなる	乗せてもらう人がいない	路線バス（コミュニティバスを含む）に乗れない	路線バス（コミュニティバスを含む）が走っていない	タクシー以外の交通機関がない	その他
			構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数
総数	-	100.0	72.3	16.6	6.2	7.7	15.2	4.8
		7,754	5,604	1,285	479	600	1,175	372
年齢	65～69歳	100.0	83.7	13.5	4.2	7.6	13.0	3.9
		1,509	1,263	203	64	114	196	59
	70～74歳	100.0	80.9	16.0	4.1	7.6	12.1	4.2
		1,792	1,449	286	73	136	217	76
	75～79歳	100.0	76.9	16.1	4.5	7.7	14.3	4.0
		1,952	1,501	314	88	151	280	79
80～84歳	100.0	65.7	19.5	7.4	8.1	17.6	5.3	
	1,142	750	223	84	93	201	60	
85歳以上	100.0	46.0	19.4	12.7	8.2	21.1	7.5	
	1,249	574	242	159	103	264	94	

(2) 現在または将来的に、自分や家族が運転できなくなったとき、利用したい移動手段は何ですか（複数回答）

現在または将来的に、自分や家族が運転できなくなったとき、利用したい移動手段については、「タクシー」が56.8%で最も多く、次いで「バス（コミュニティバス含む）」47.3%、「家族や友人に乘せてもらう」40.9%の順となっています。

年代別に見ると、85歳以上では「バス（コミュニティバス含む）」が他の年代と比べて低くなっています。



(上段：構成比 下段：人数)

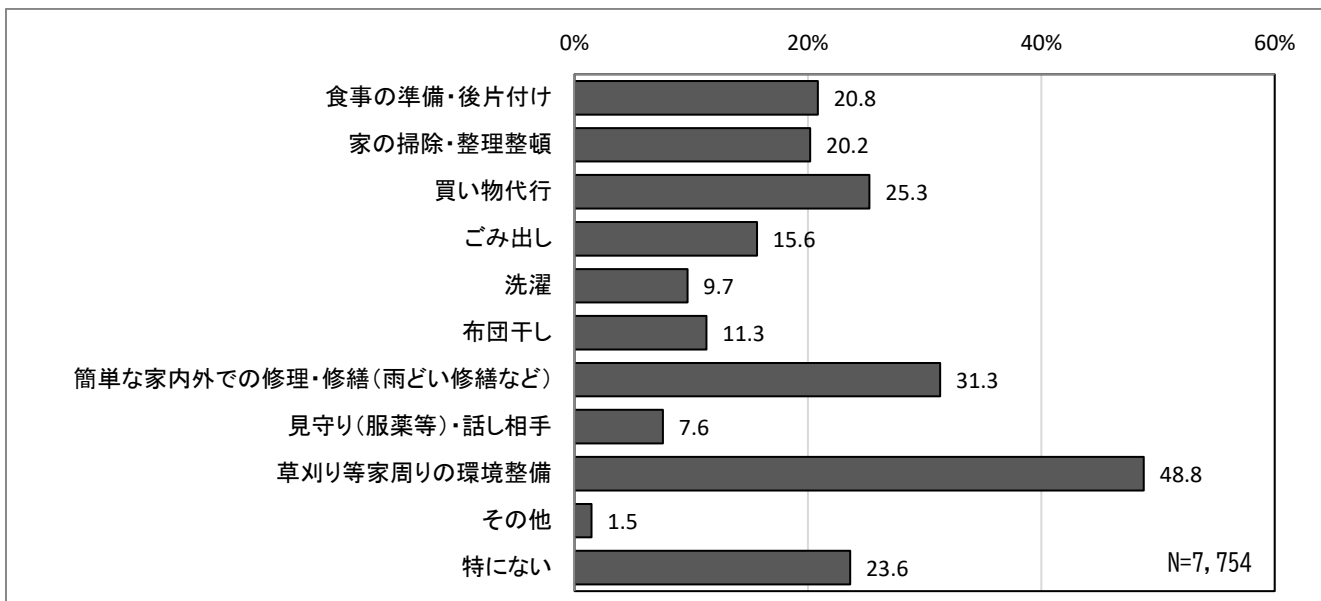
属性	区分	移動手段						
		全体	バス (コミュニティバス 含む)	あいのり タクシー	タク シー	家 族 や 友 人 に 乗 せ て も ら う	ボ ラ ン テ ィ ア 等 が 行 う 有 償 サ ー ビ ス	そ の 他
総数	-	100.0 7,754	47.3 3,667	16.8 1,303	56.8 4,401	40.9 3,173	11.3 877	3.3 256
年齢	65～69歳	100.0 1,509	53.4 806	18.7 282	55.5 838	44.5 672	11.9 180	3.9 59
	70～74歳	100.0 1,792	51.2 918	16.0 286	58.3 1,044	43.9 786	11.7 210	3.4 61
	75～79歳	100.0 1,952	48.4 944	16.2 317	55.6 1,086	40.5 791	10.4 203	3.7 72
	80～84歳	100.0 1,142	43.6 498	17.1 195	56.8 649	37.7 431	11.0 126	2.6 30
	85歳以上	100.0 1,249	36.0 450	16.3 203	58.2 727	36.4 455	11.8 147	2.6 32

12 生活支援について

(1) 現在または将来的に、手伝ってもらいたい「ちょっとした困りごと」は何ですか
(複数回答)

現在または将来的に、手伝ってもらいたい「ちょっとした困りごと」について、「草刈り等家周りの環境整備」が48.8%で最も多く、次いで「簡単な家内外での修理・修繕(雨どい修繕など)」31.3%、「買い物代行」25.3%の順となっています。

年代別に見ると、85歳以上では「買い物代行」「布団干し」「ごみ出し」が他の年代と比べて高くなっています。



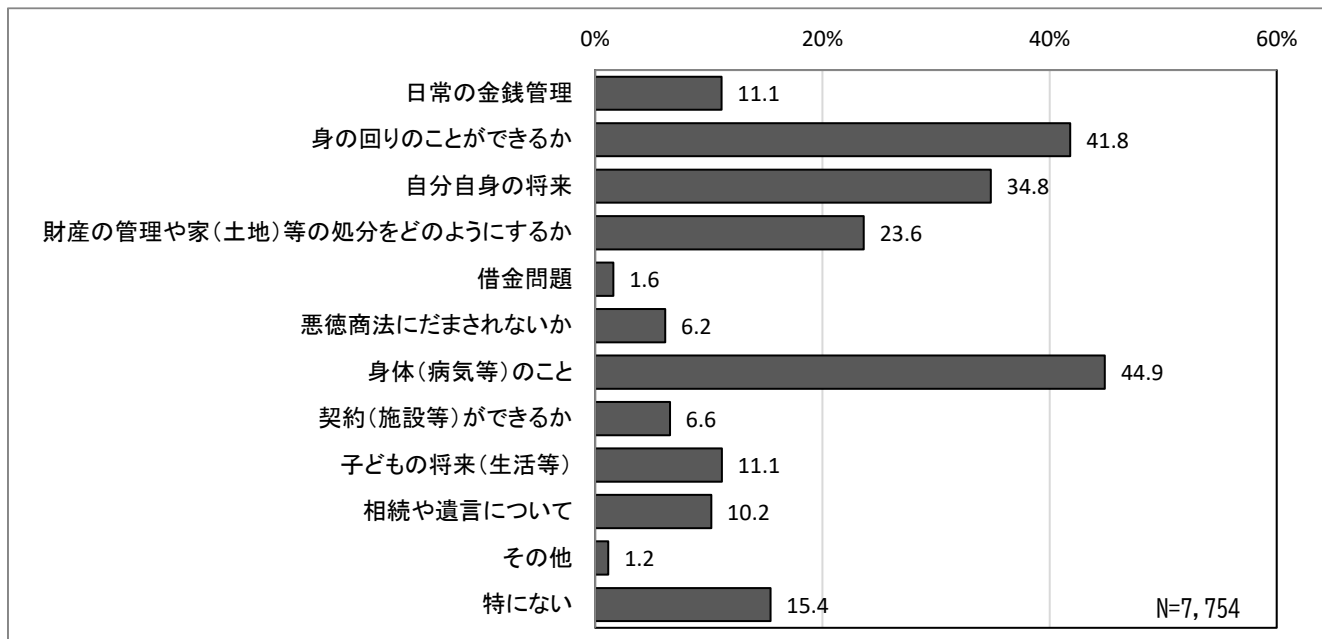
(上段：構成比 下段：人数)

属性	区分	全体	食事の準備・後片付け	家の掃除・整理整頓	買い物代行	ごみ出し	洗濯	布団干し	簡単な家内外での修理・修繕(雨どい修繕など)	見守り(服薬等)・話し相手	草刈り等家周りの環境整備	その他	特にない
			割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
総数	-	100.0	20.8	20.2	25.3	15.6	9.7	11.3	31.3	7.6	48.8	1.5	23.6
		7,754	1,616	1,566	1,960	1,212	751	877	2,429	587	3,782	113	1,831
年齢	65～69歳	100.0	18.1	19.0	23.5	11.9	8.0	7.8	34.1	6.4	50.4	1.7	27.9
		1,509	273	286	354	180	120	118	514	96	761	26	421
	70～74歳	100.0	19.1	18.9	22.5	12.9	8.5	8.4	31.9	5.8	52.7	1.4	25.7
		1,792	343	339	403	232	152	150	571	104	944	25	461
	75～79歳	100.0	20.1	18.4	24.0	14.9	8.6	10.5	29.8	7.2	47.5	1.3	25.6
		1,952	393	360	469	290	168	204	582	141	928	25	500
80～84歳	100.0	22.9	22.3	27.1	18.7	10.8	14.6	31.1	9.2	46.7	1.2	21.0	
	1,142	261	255	309	214	123	167	355	105	533	14	240	
85歳以上	100.0	25.8	24.5	32.6	22.7	14.3	18.6	30.5	10.9	45.2	1.8	14.9	
	1,249	322	306	407	284	179	232	381	136	564	22	186	

(2) 現在または将来的に、「少し不安に思っていること」は何ですか（複数回答）

現在または将来的に、「少し不安に思っていること」について、「身体（病気等）のこと」が44.9%で最も多く、次いで「身の回りのことができるか」41.8%、「自分自身の将来」34.8%の順となっています。

年齢が高くなるほど「財産の管理や家（土地）等の処分をどのようにするか」「子どもの将来（生活等）」が減少する傾向にあります。



(上段：構成比 下段：人数)

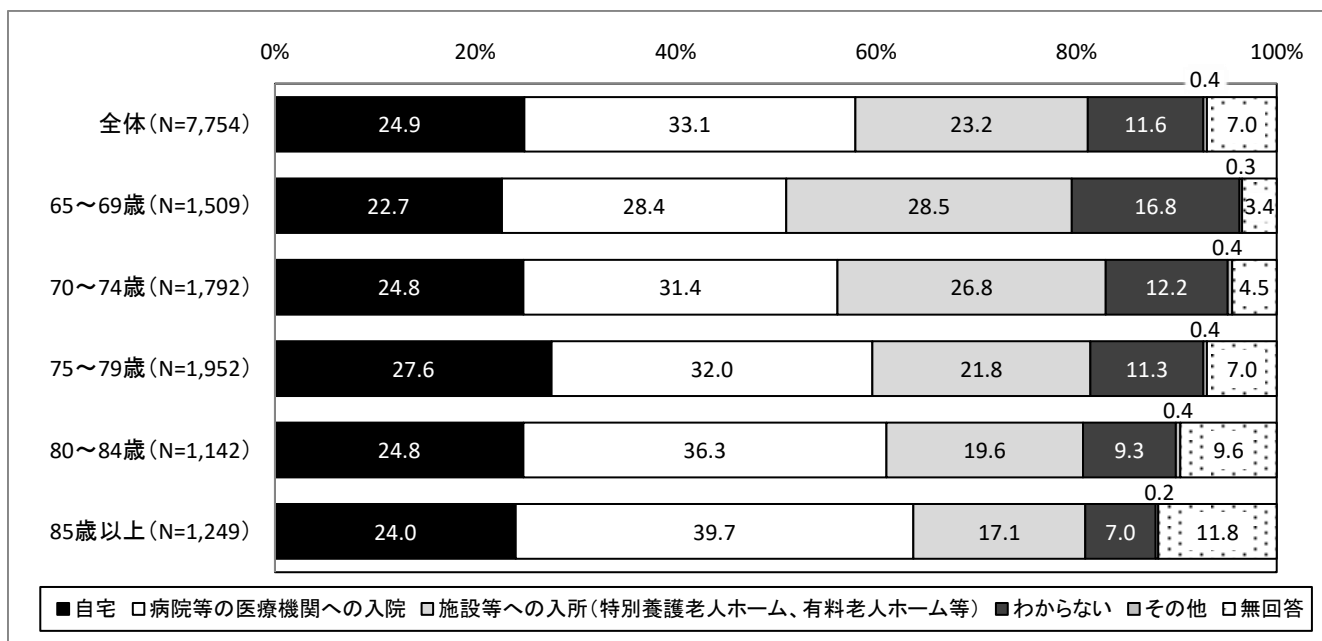
属性	区分	全体	不安の原因											
			日常の金銭管理	身の回りのことができるか	自分自身の将来	財産の管理や家(土地)等の処分をどのようにするか	借金問題	悪徳商法にだまされないか	身体(病気等)のこと	契約(施設等)ができるか	子どもの将来(生活等)	相続や遺言について	その他	特にない
総数	-	100.0	11.1	41.8	34.8	23.6	1.6	6.2	44.9	6.6	11.1	10.2	1.2	15.4
		7,754	862	3,243	2,700	1,833	124	478	3,479	510	864	792	90	1,197
年齢	65~69歳	100.0	12.0	34.8	34.7	31.4	2.8	4.8	42.9	6.5	15.3	10.3	2.3	15.8
		1,509	181	525	523	474	43	73	648	98	231	156	35	239
	70~74歳	100.0	11.6	38.6	35.3	25.9	2.3	4.6	47.1	6.4	12.1	11.0	1.5	14.3
		1,792	207	691	633	464	42	82	844	114	216	198	26	256
	75~79歳	100.0	10.3	43.1	35.1	22.6	1.0	5.9	44.1	5.1	11.1	9.9	0.8	16.9
		1,952	201	841	686	441	20	115	861	100	216	194	15	330
	80~84歳	100.0	11.0	48.3	34.9	19.6	0.7	7.8	45.5	8.2	9.5	9.9	0.2	15.7
		1,142	126	552	399	224	8	89	520	94	109	113	2	179
	85歳以上	100.0	10.9	47.7	33.9	16.0	0.8	9.1	45.3	7.7	6.6	9.6	0.8	13.9
		1,249	136	596	424	200	10	114	566	96	83	120	10	174

13 人生の終わりに向けた活動について

(1) あなた自身の身体が虚弱になって、医療や介護が必要となったとき、主にどこで医療や介護を受けたいですか

医療や介護が必要となったとき、主にどこで医療や介護を受けたいかについて、「病院等の医療機関への入院」が33.1%で最も多く、次いで「自宅」24.9%、「施設等への入所（特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等）」23.2%の順となっています。

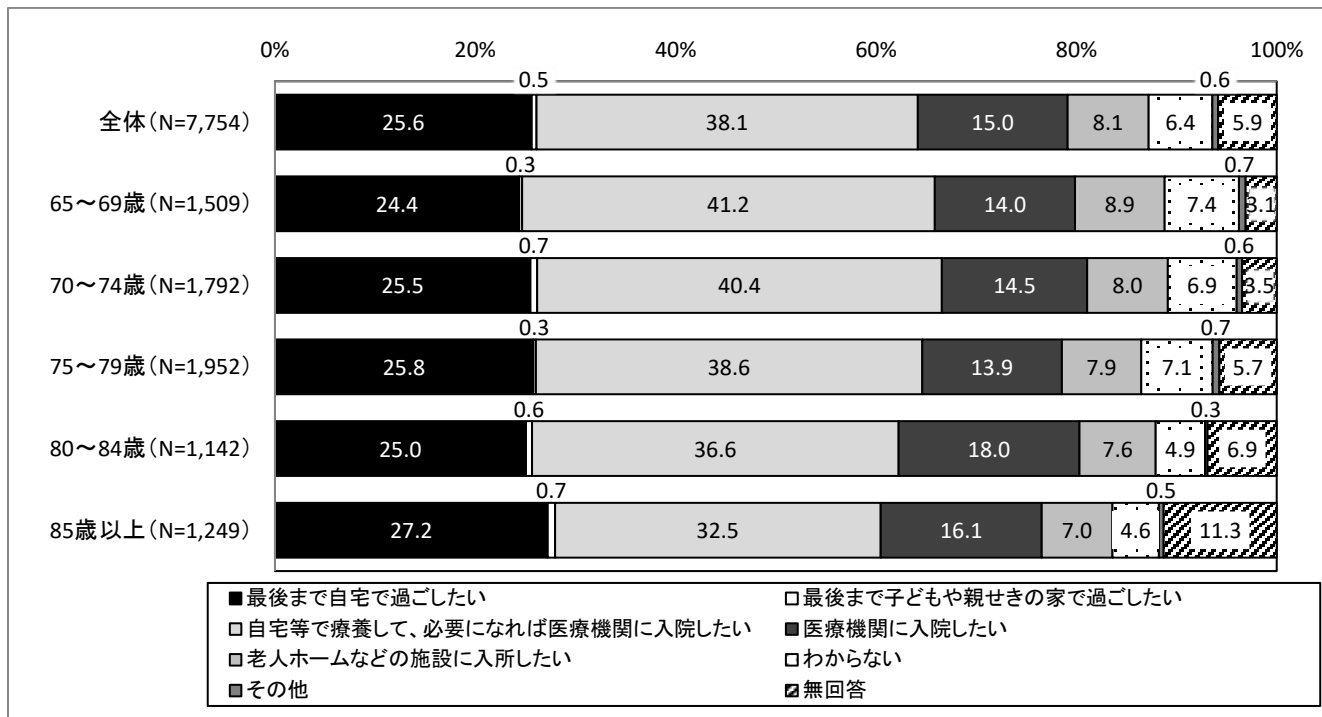
年代別に見ると、85歳以上では「病院等の医療機関への入院」が39.7%で全体と比べて6.6ポイント高くなっています。



(2) あなたは、病気等で治る見込みがなく人生の終わりを迎えなければならない場合（6か月あるいはそれより短い期間を想定）、どこで過ごしたいと思いますか

病気等で治る見込みがなく人生の終わりを迎えなければならない場合、どこで過ごしたいかについて、「自宅等で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が 38.1%で最も多く、次いで「最後まで自宅で過ごしたい」25.6%、「医療機関に入院したい」15.0%の順となっています。

年代別に見ると、85歳以上では「自宅等で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が32.5%で全体と比べて5.6ポイント低くなっています。



第 3 章 判定結果

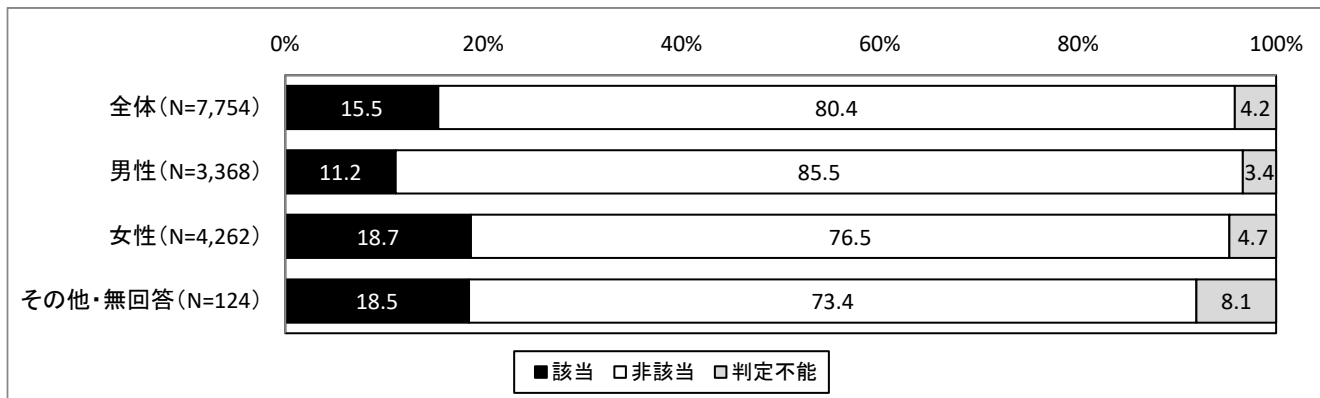
第3章 判定結果

1 項目別評価

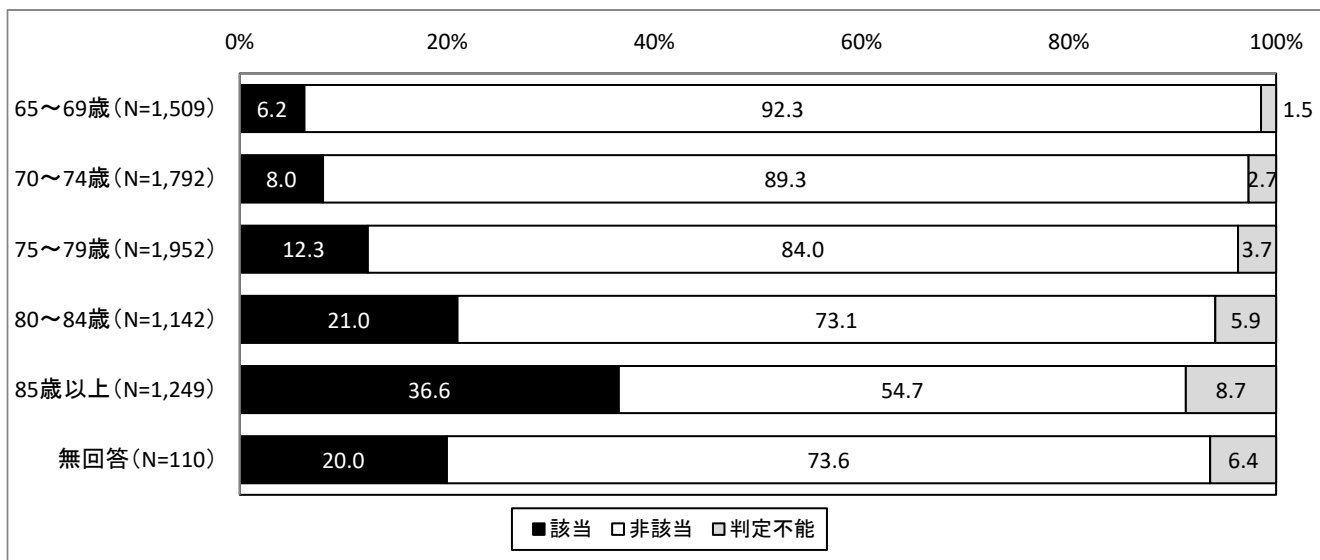
(1) 機能

① 運動器

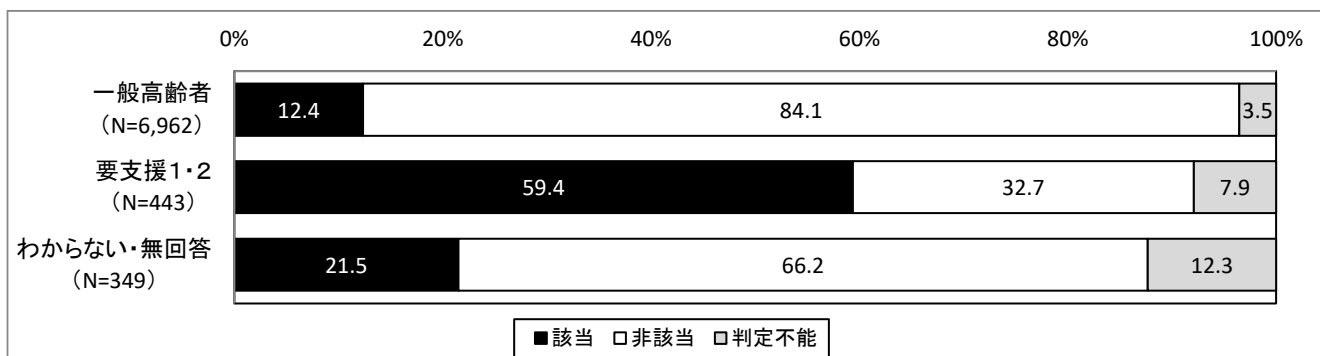
運動器機能の低下に該当している人の割合は、男性で11.2%、女性で18.7%となっており、男性よりも女性の該当者割合が高くなっています。



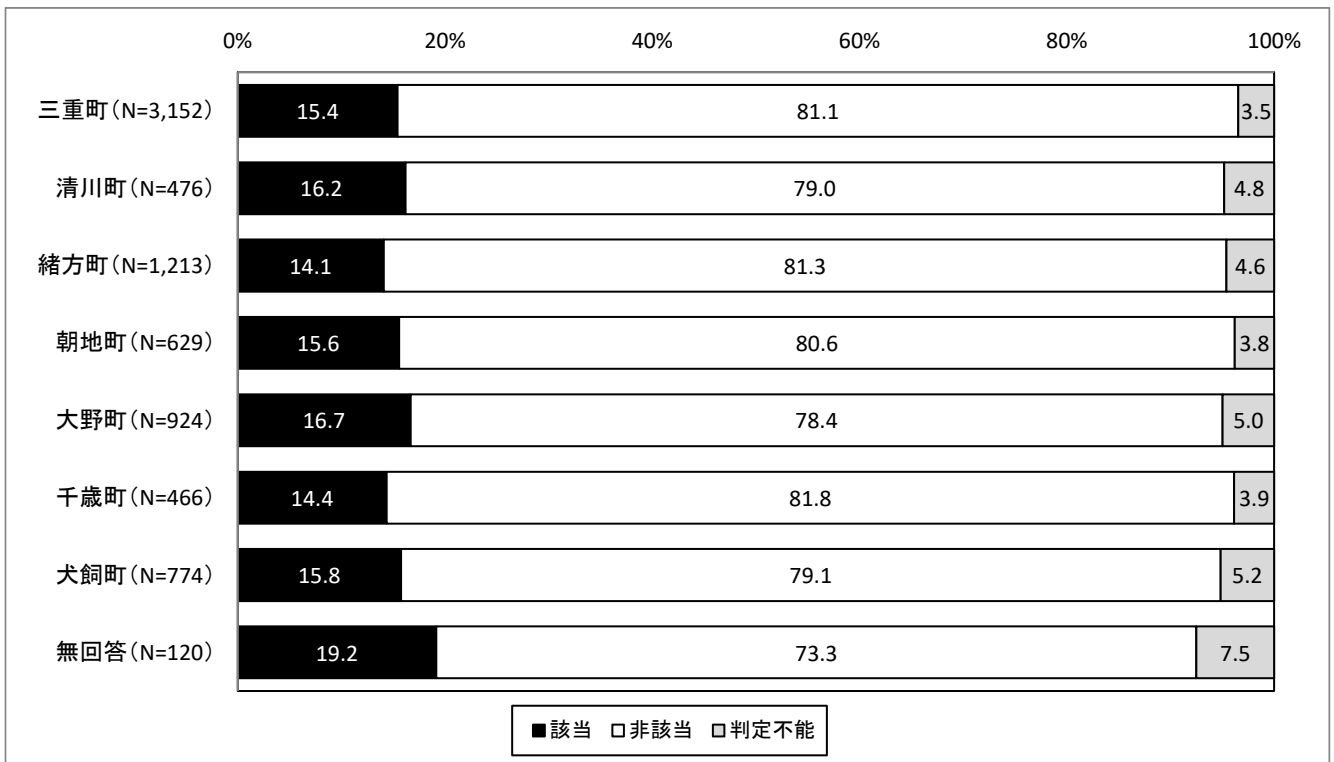
年齢別の運動器機能では、高齢になるほど該当者割合が高くなっています。



認定該当状況による運動器機能の低下に該当している人の割合は、一般高齢者12.4%、要支援1・2で59.4%となっており、一般高齢者よりも要支援1・2の該当者割合が高くなっています。



圏域別による運動器機能の低下に該当している人の割合は、大野町 16.7%が最も高く、緒方町 14.1%が最も低くなっています。

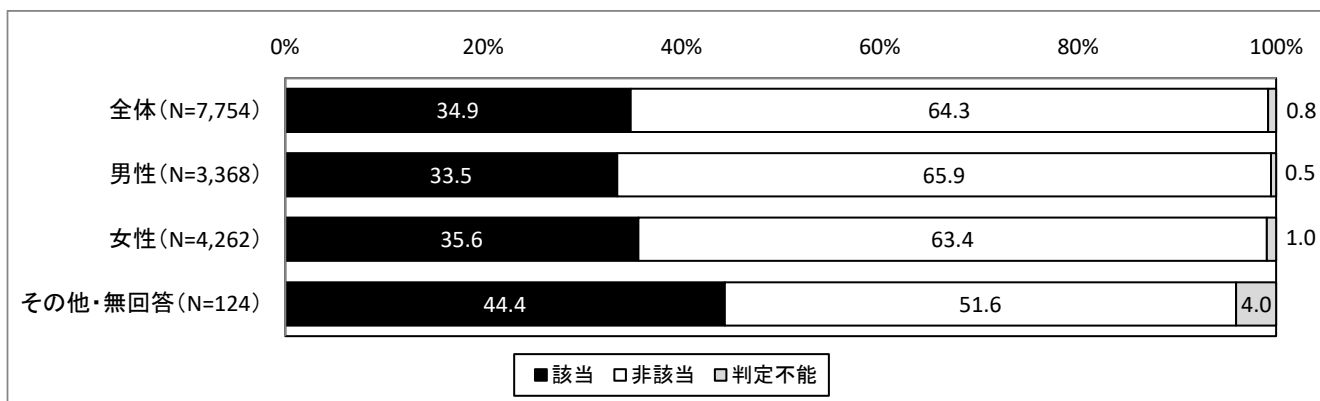


以下の設問のうち3問以上、該当する選択肢が回答された場合に、運動器機能が低下していると判定されます。

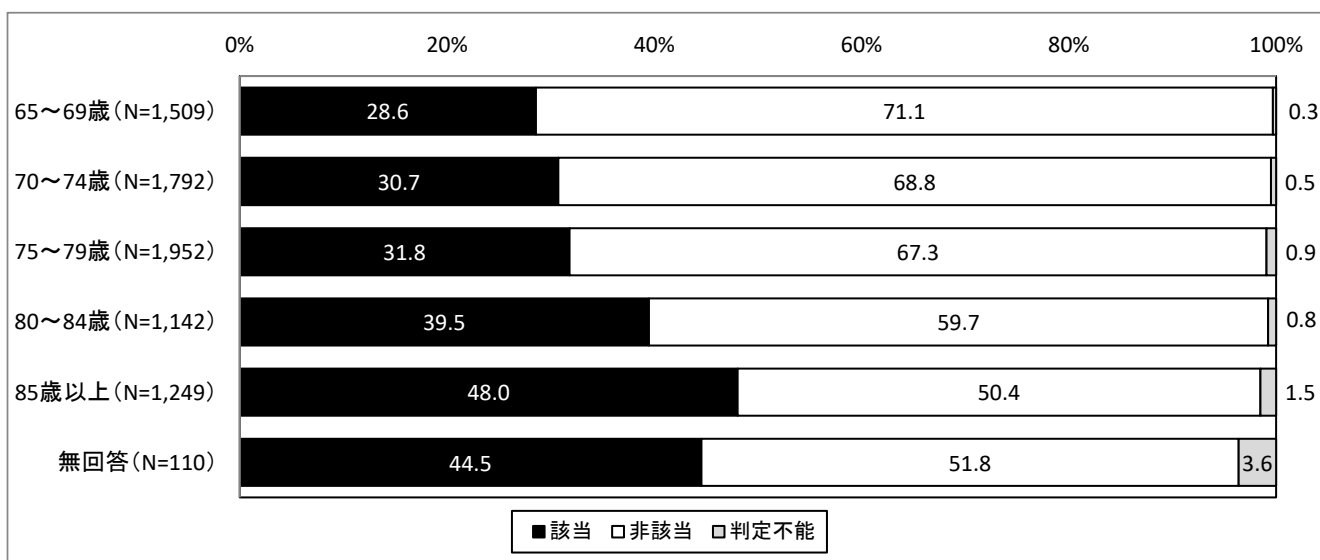
番号	設問内容	該当する選択肢
問 4(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問 4(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問 4(3)	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問 4(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問 4(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

② 転倒

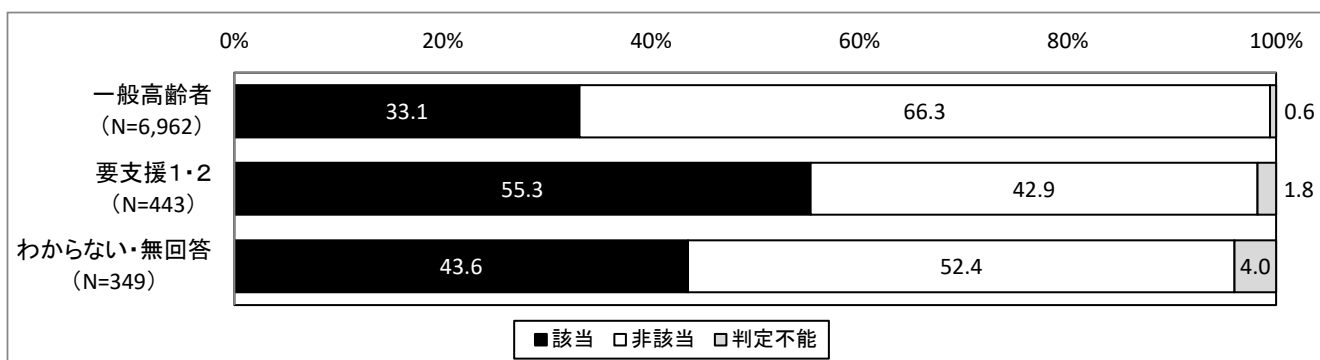
転倒リスクありに該当している人の割合は、男性で33.5%、女性で35.6%となっており、性別による差は少なくなっています。



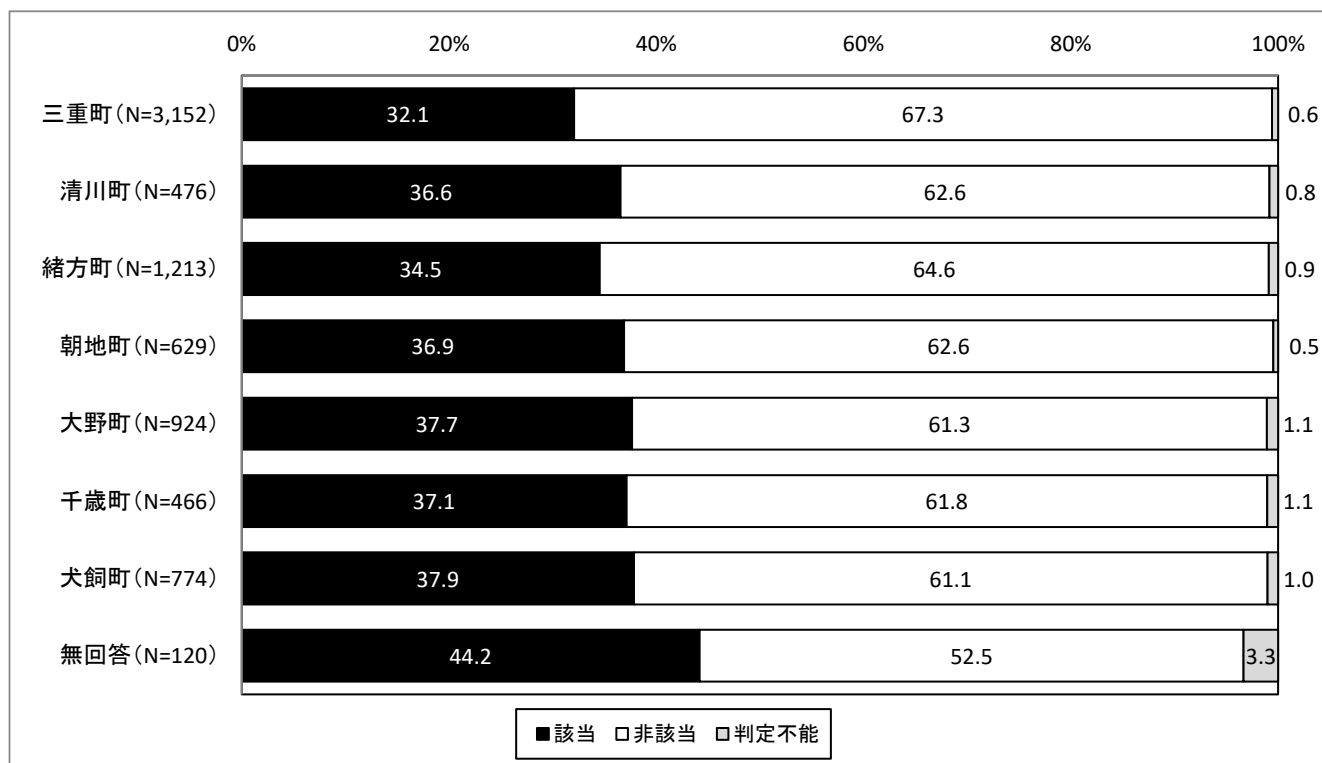
年齢別の転倒リスクをみると、高齢になるほど該当者割合が高くなる傾向にあり、85歳以上の該当者割合が高くなっています。



認定該当状況による転倒リスクに該当している人の割合は、一般高齢者33.1%、要支援1・2で55.3%となっており、一般高齢者よりも要支援1・2の該当者割合が高くなっています。



圏域別による転倒リスクに該当している人の割合は、犬飼町 37.9%が最も高く、三重町 32.1%が最も低くなっています。

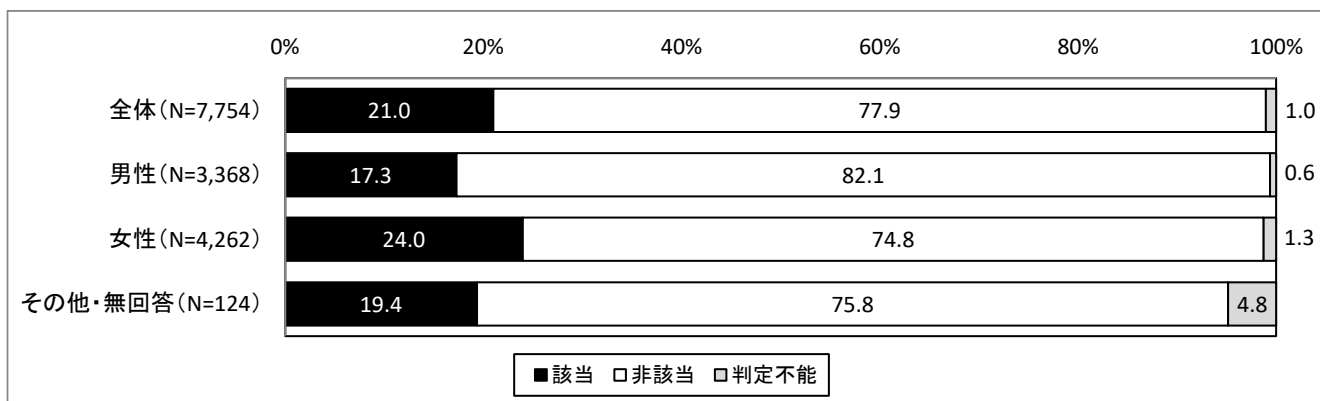


以下の設問で、該当する選択肢が回答された場合に、転倒リスクがあると判定されます。

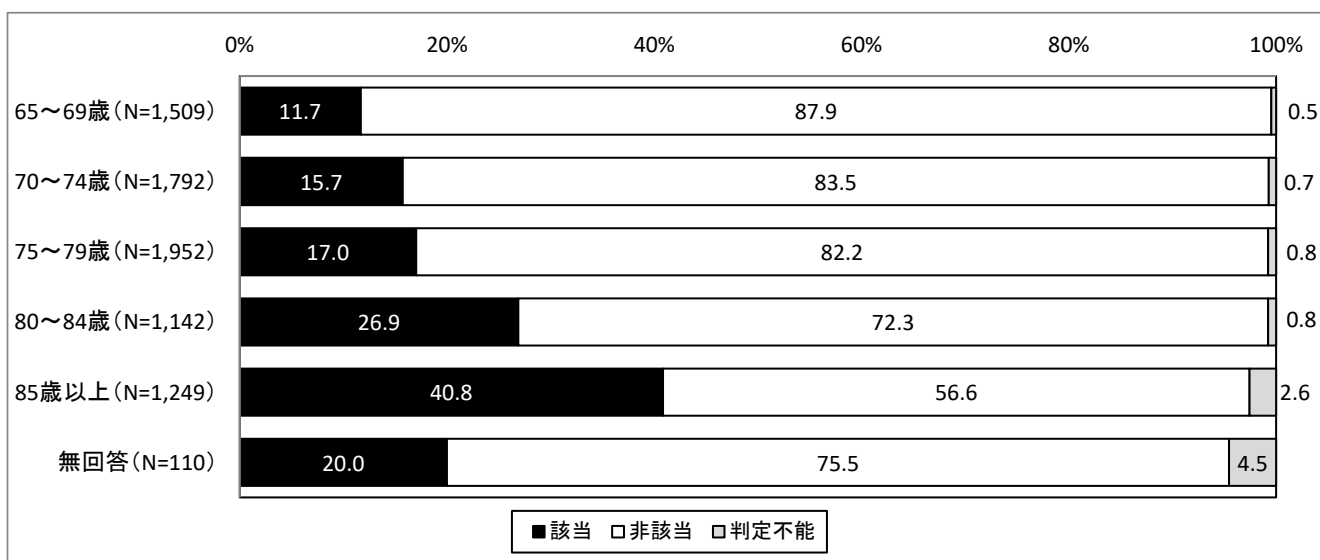
番号	設問内容	該当する選択肢
問 4(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

③ 閉じこもり

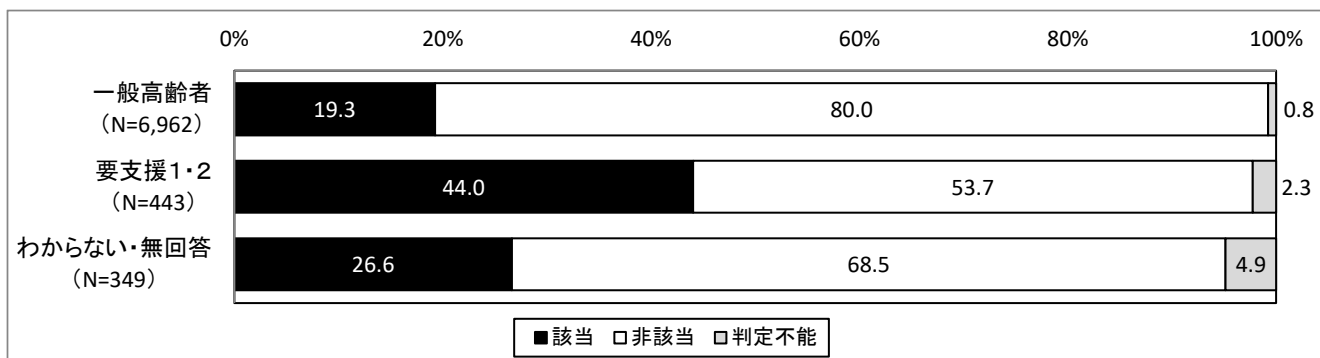
閉じこもり傾向ありに該当している人の割合は、男性で17.3%、女性で24.0%となっており、男性よりも女性の該当者割合が高くなっています。



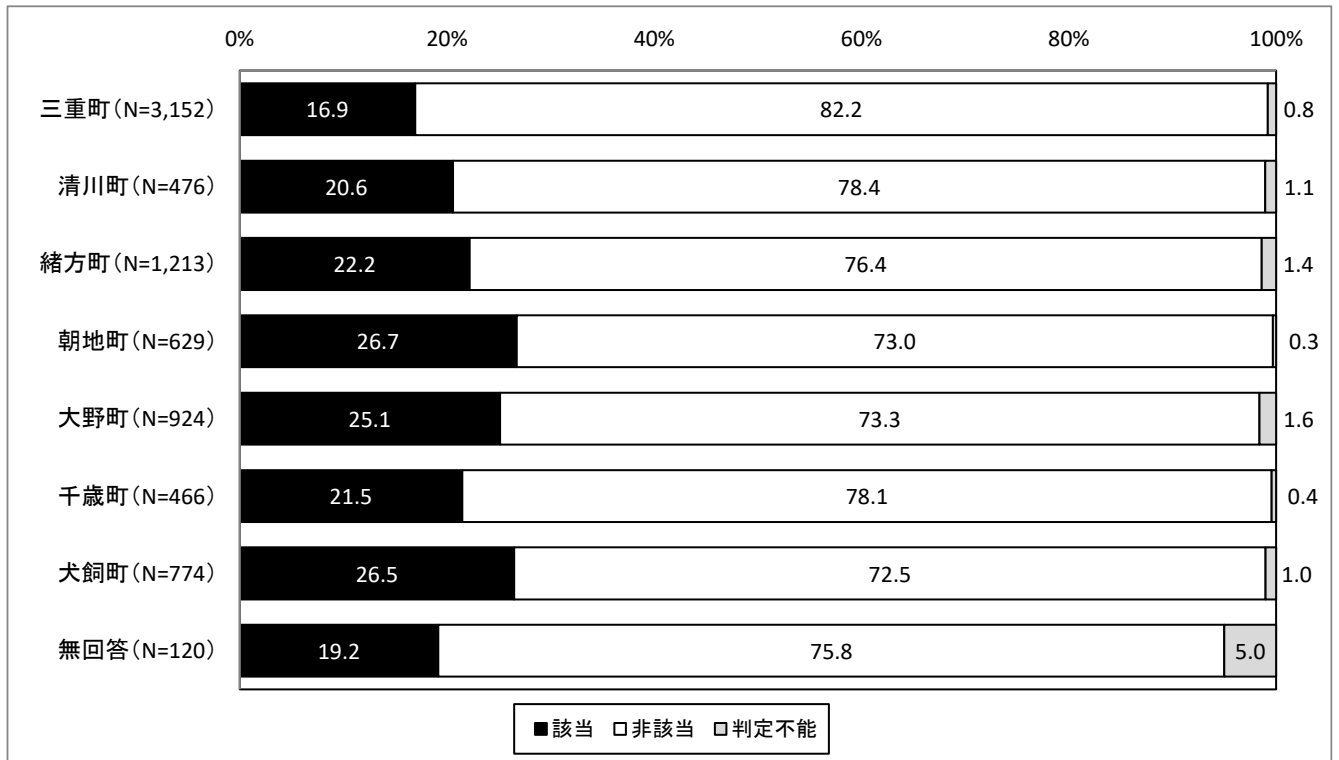
年齢別の閉じこもり傾向をみると、高齢になるほど該当者割合が高くなる傾向にあり、85歳以上の該当者割合が高くなっています。



認定該当状況による閉じこもり傾向ありに該当している人の割合は、一般高齢者19.3%、要支援1・2で44.0%となっており、一般高齢者よりも要支援1・2の該当者割合が高くなっています。



圏域別による閉じこもり傾向ありに該当している人の割合は、朝地町 26.7%が最も高く、三重町 16.9%が最も低くなっています。

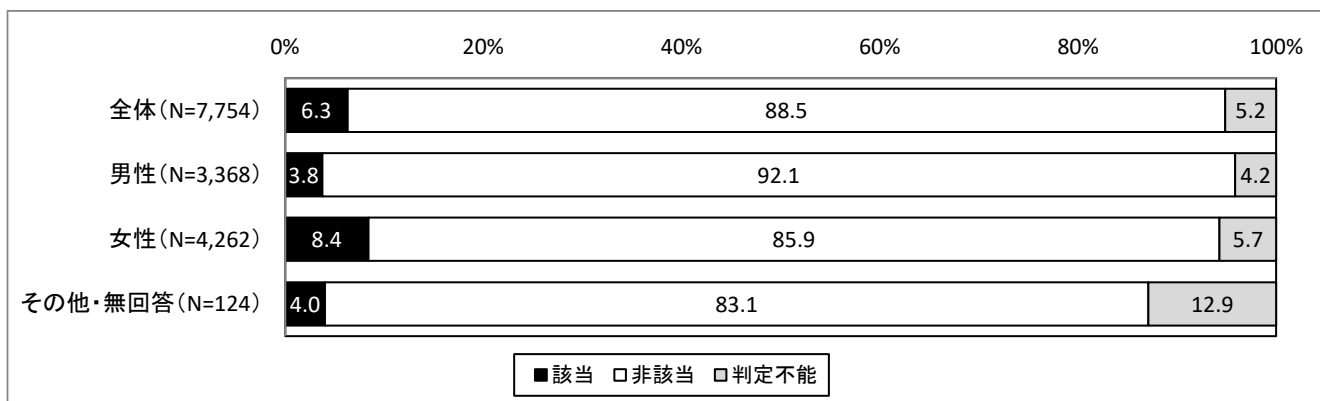


以下の設問で、該当する選択肢が回答された場合に、閉じこもり傾向にあると判定されます。

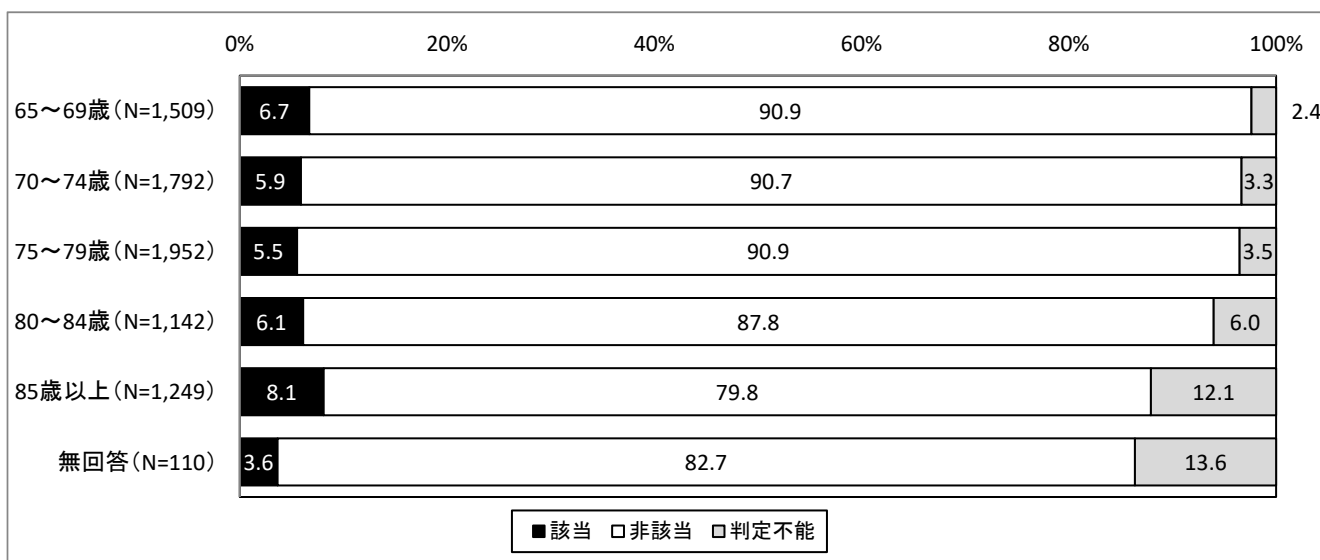
番号	設問内容	該当する選択肢
問 4(6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

④ 栄養改善

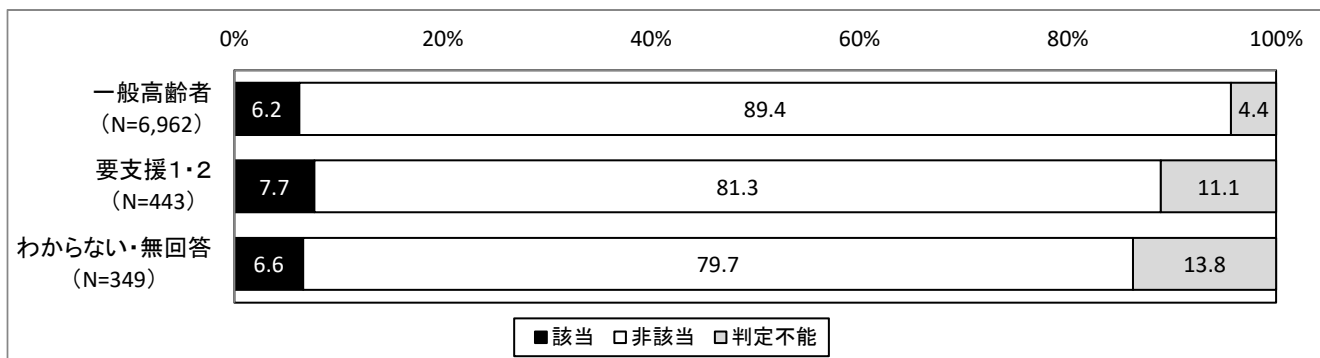
栄養改善に該当している人の割合は、男性 3.8%、女性 8.4%となっており、男性よりも女性の該当者割合が高くなっています。



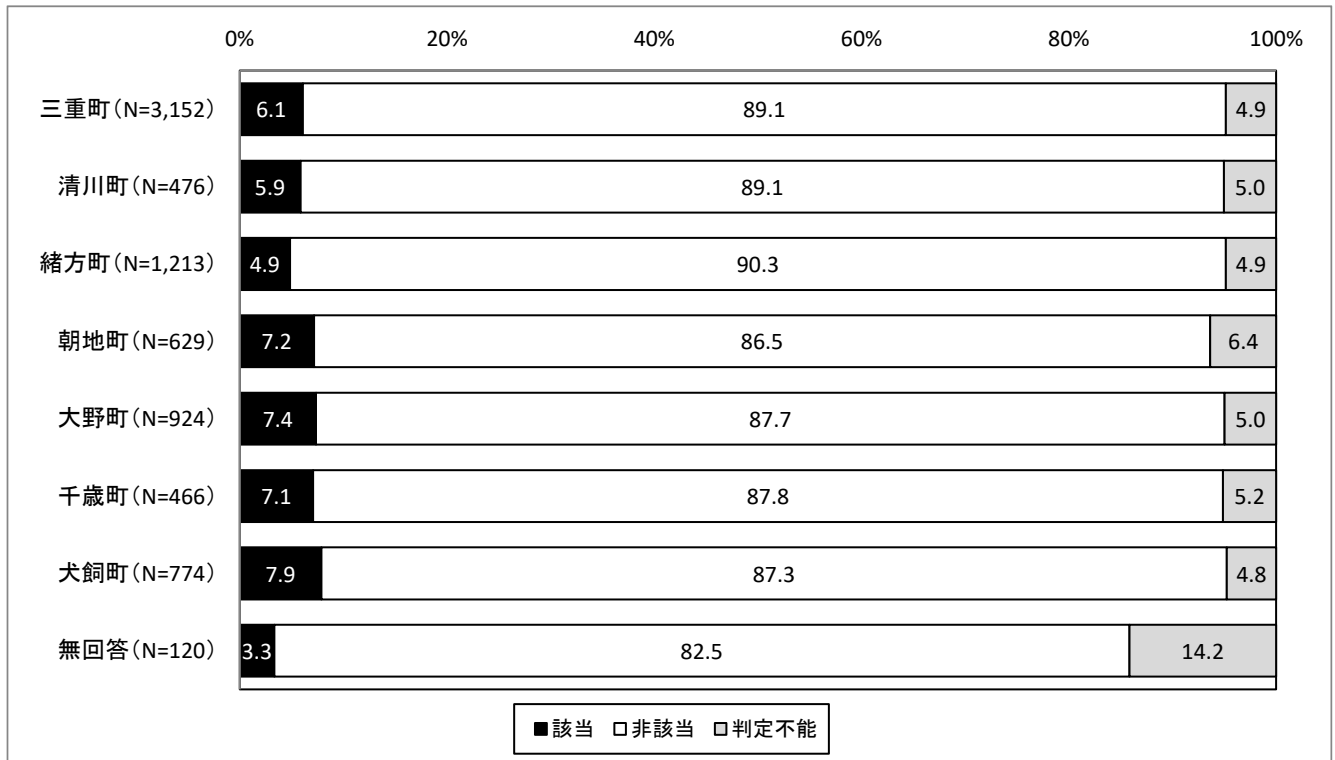
年齢別の栄養改善では、85歳以上の該当者割合が高くなっています。



認定該当状況による栄養改善に該当している人の割合は、一般高齢者 6.2%、要支援1・2で7.7%となっており、認定該当状況による差は少なくなっています。



圏域別による栄養改善に該当している人の割合は、犬飼町 7.9%が最も高く、緒方町 4.9%が最も低くなっています。

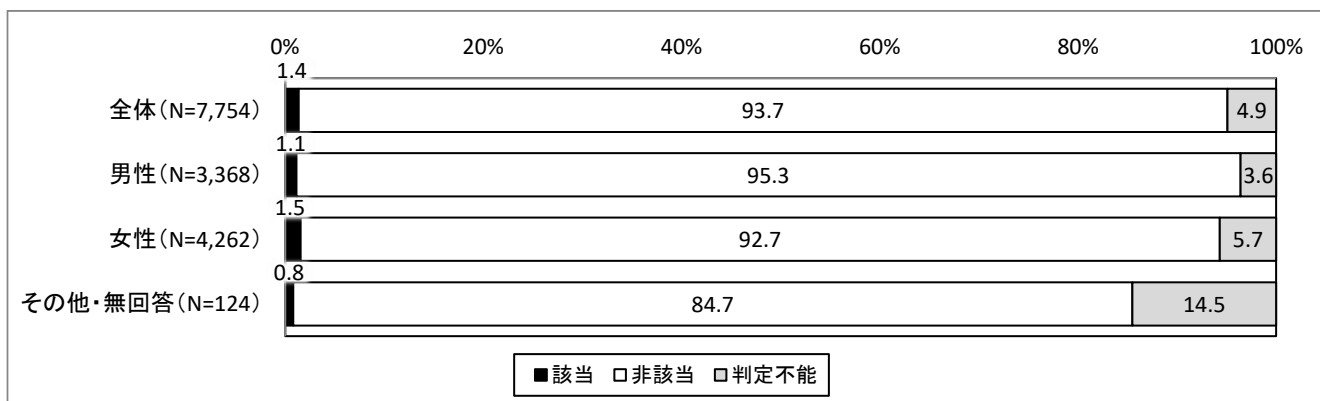


身長・体重から算出されるBMI (体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}) が 18.5 以下に該当する場合に低栄養状態にあると判定されます。

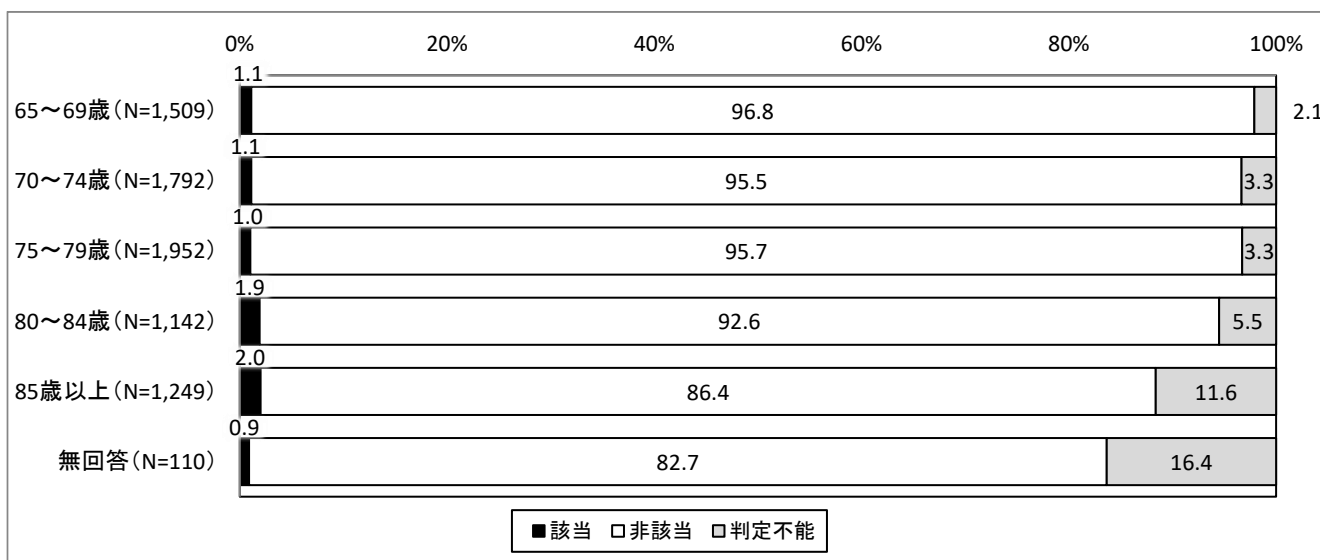
番号	設問内容	該当する選択肢
問 5(1)	身長、体重 (肥満度: BMI = 体重 / (身長 × 身長))	18.5 以下

⑤ 低栄養

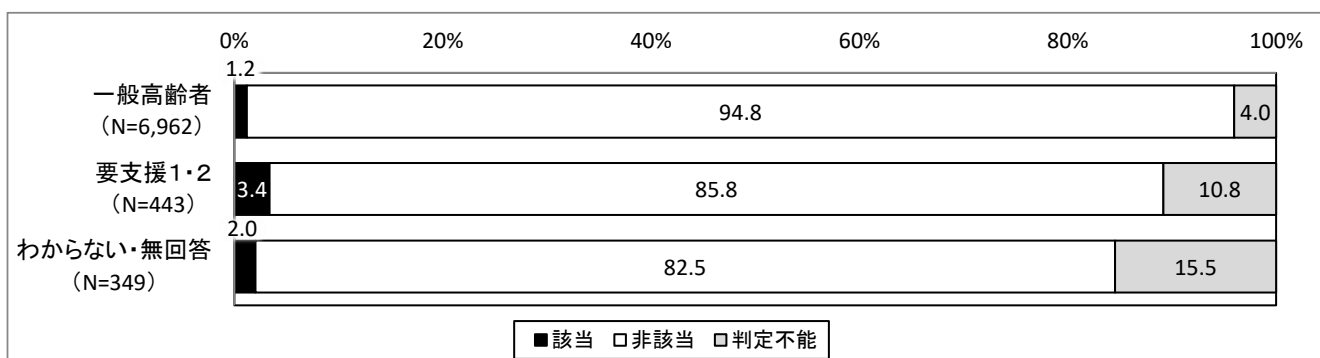
低栄養状態に該当している人の割合は、男 1.1%、女性 1.5%となっており、該当者割合は他の項目に比べて非常に低くなっています。



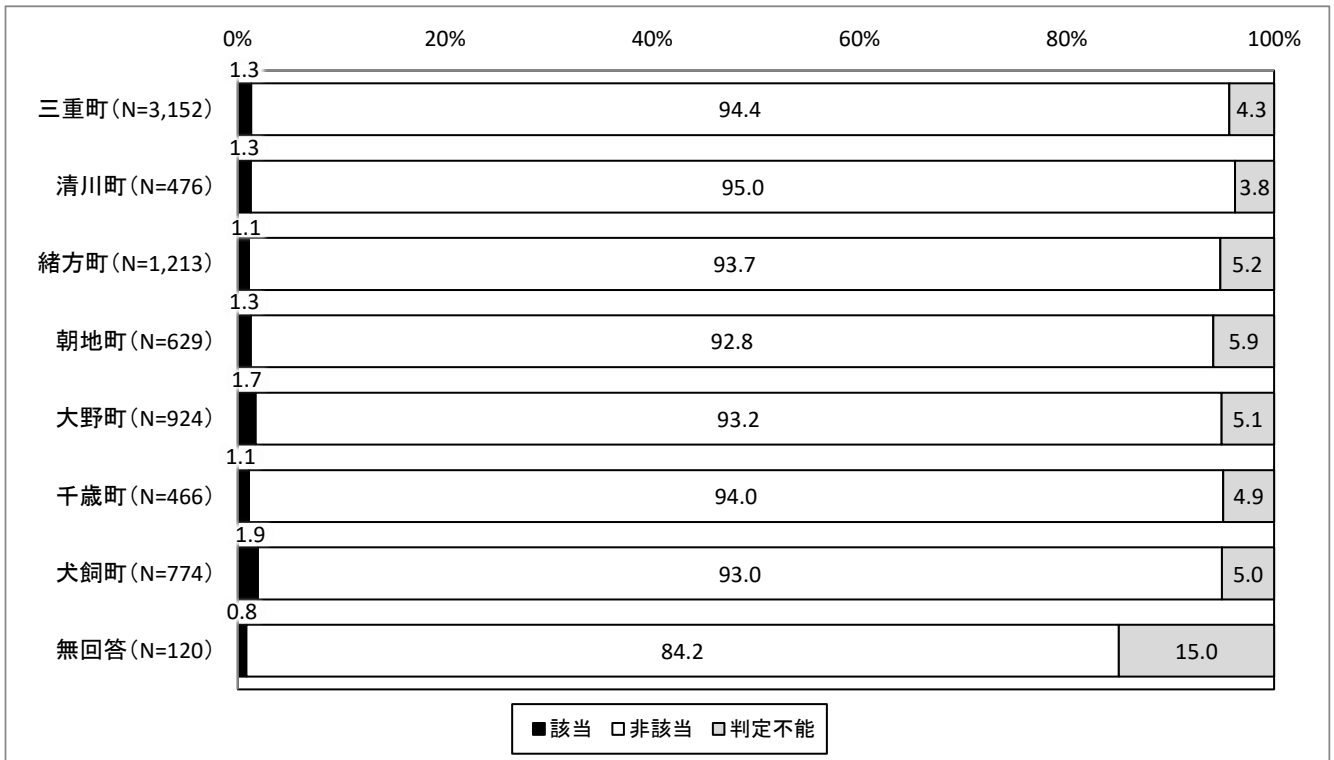
年齢別の低栄養状態では、該当者割合は他の項目に比べて低くなっていますが、85歳以上で2.0%となっています。



認定該当状況による低栄養状態に該当している人の割合は、一般高齢者 1.2%、要支援1・2で3.4%となっており、一般高齢者よりも要支援1・2の該当者割合が高くなっています。



圏域別による低栄養状態に該当している人の割合は、犬飼町 1.9%が最も高く、緒方町、千歳町 1.1%が最も低くなっています。

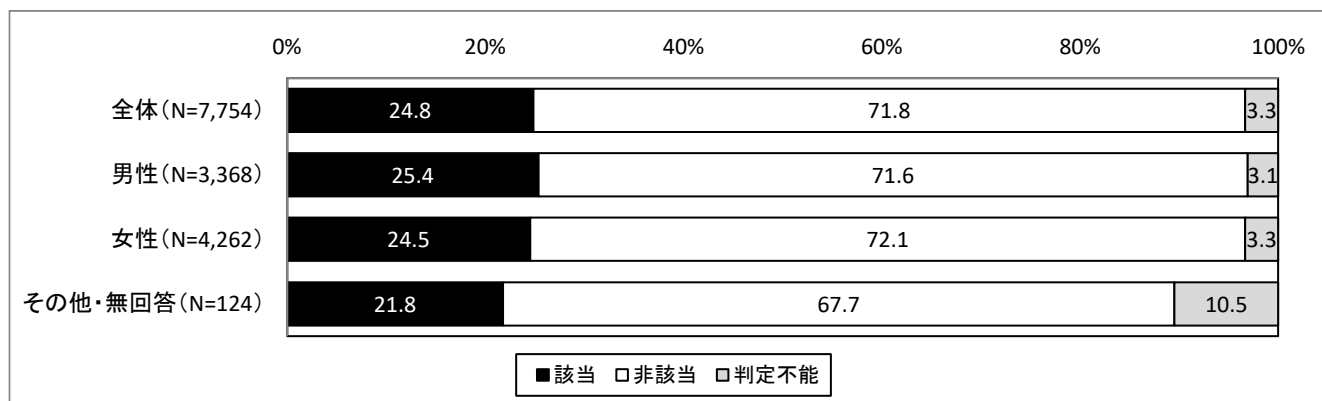


身長・体重から算出されるBMI (体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}) が 18.5 以下で、問5 (7) の設問において、該当する選択肢が回答された場合に低栄養状態にあると判定されます。

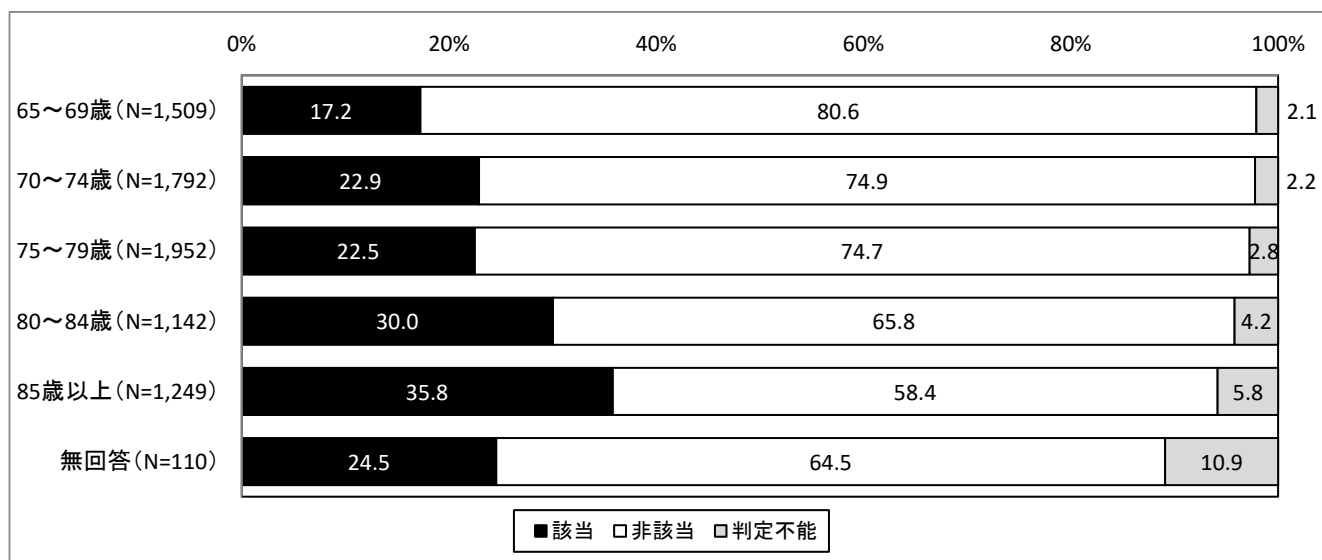
番号	設問内容	該当する選択肢
問5(1)	身長、体重 (肥満度: BMI = 体重 / (身長 × 身長))	18.5 以下
問5(7)	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

⑥ 口腔

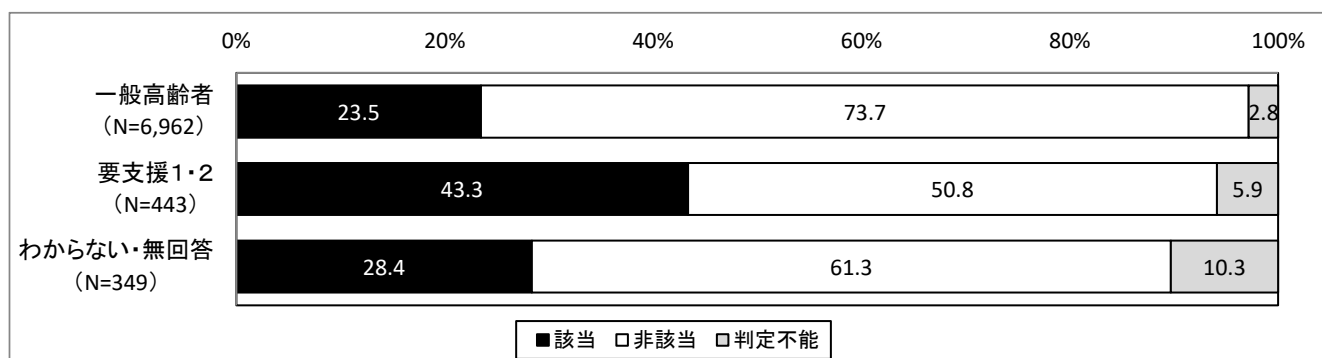
口腔機能の低下に該当している人の割合は、男性 25.4%、女性 24.5%となっており、性別による差は少なくなっています。



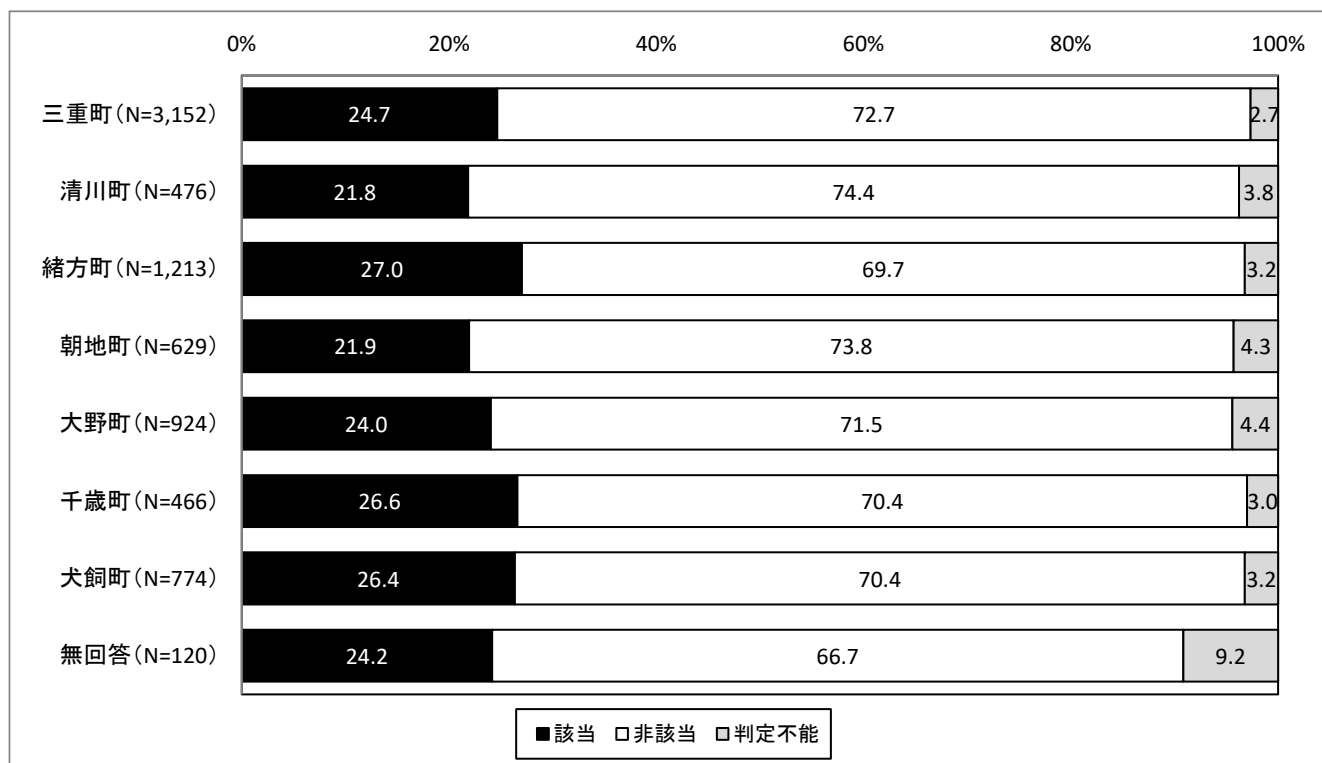
年齢別の口腔機能の低下をみると、高齢になるほど該当者割合が高くなる傾向にあり、85 歳以上の該当者割合が高くなっています。



認定該当状況による口腔機能の低下に該当している人の割合は、一般高齢者 23.5%、要支援1・2で 43.3%となっており、一般高齢者よりも要支援1・2の該当者割合が高くなっています。



圏域別による口腔機能の低下に該当している人の割合は、緒方町 27.0%が最も高く、清川町 21.8%が最も低くなっています。

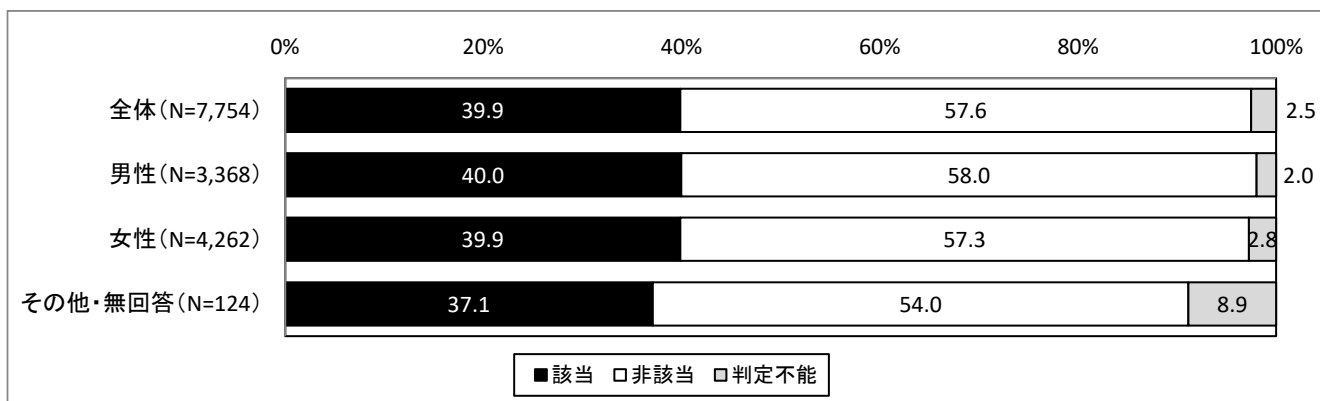


以下の設問のうち2問以上、該当する選択肢が回答された場合に、口腔機能が低下していると判定されます。

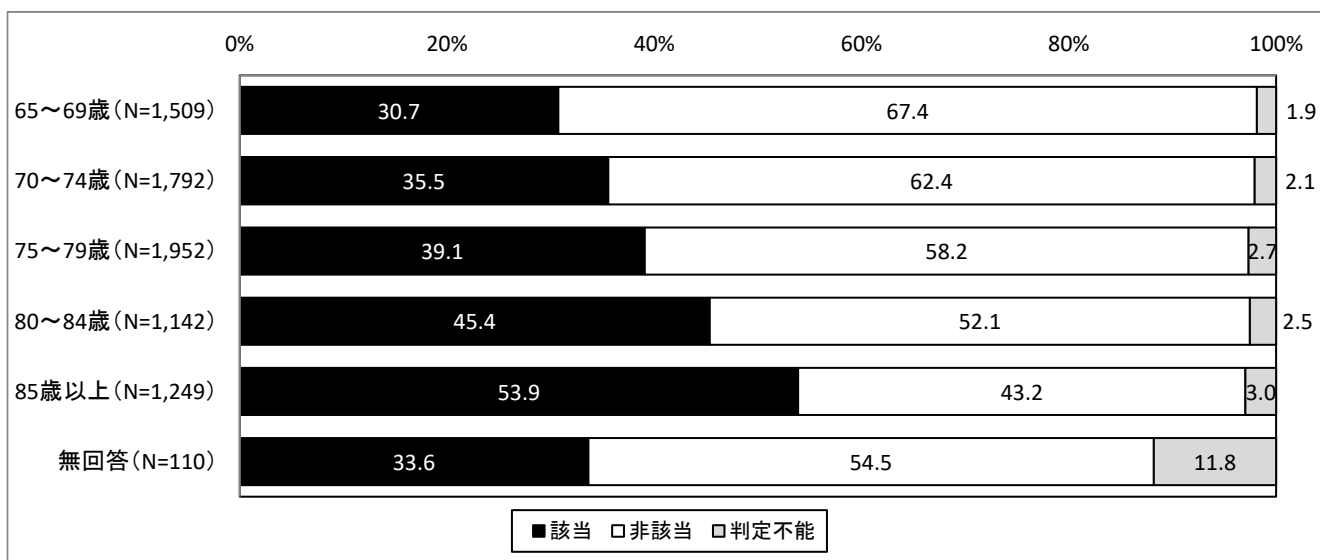
番号	設問内容	該当する選択肢
問 5(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問 5(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問 5(4)	口の渴きが気になりますか	1. はい

⑦ 認知機能

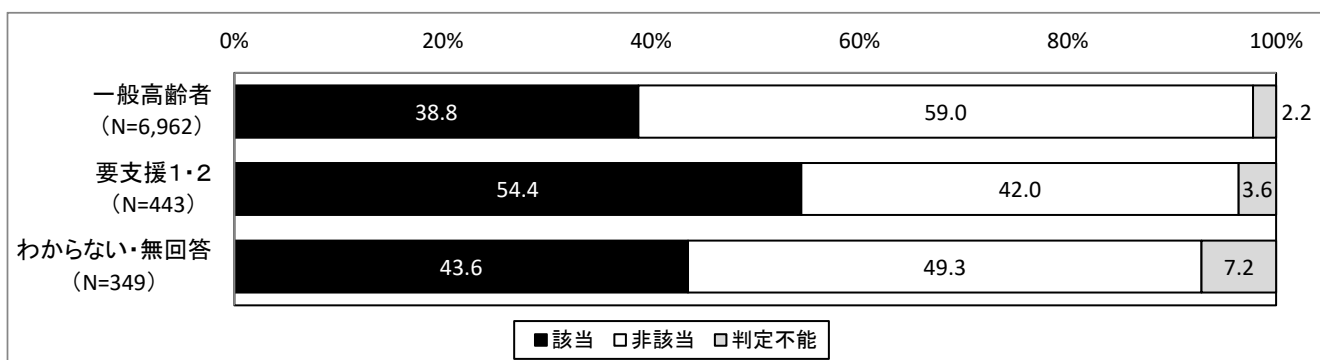
認知機能の低下に該当している人の割合は、男性 40.0%、女性 39.9%となっており、性別による差は少なくなっています。



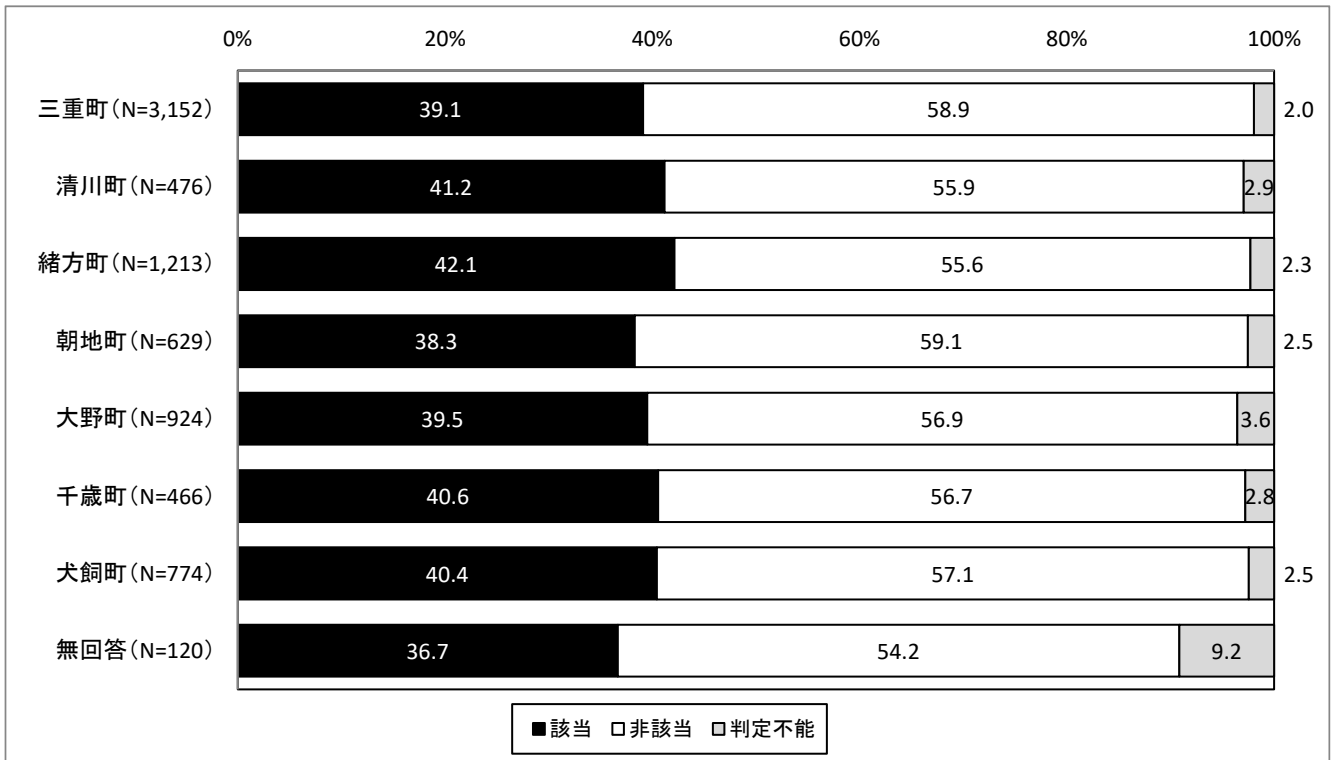
年齢別の認知機能の低下をみると、高齢になるほど該当者割合が高い傾向にあり、85 歳以上では約5割となっています。



認定該当状況による認知機能の低下に該当している人の割合は、一般高齢者 38.8%、要支援1・2で 54.4%となっており、一般高齢者よりも要支援1・2の該当者割合が高くなっています。



圏域別による認知機能の低下に該当している人の割合は、緒方町 42.1%が最も高く、朝地町 38.3%が最も低くなっています。

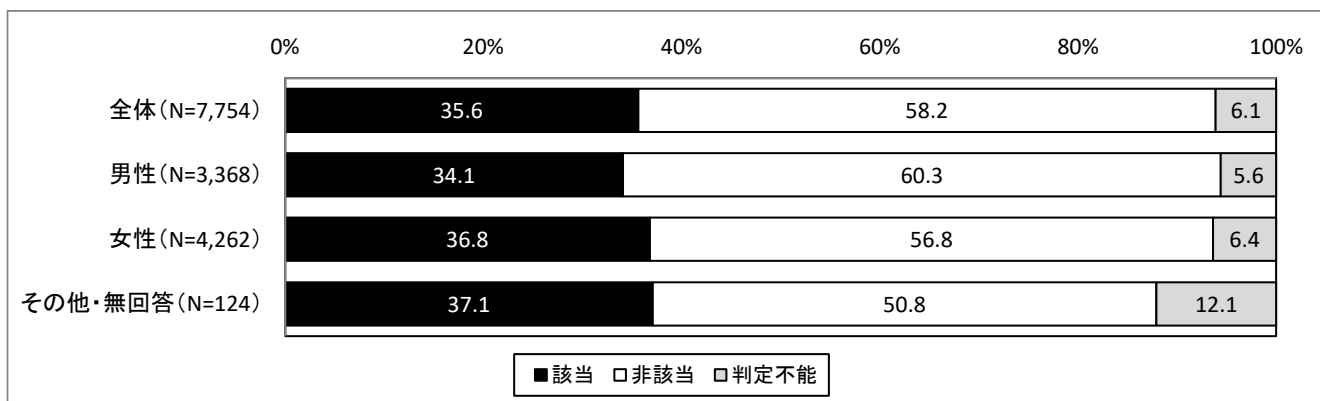


以下の設問で、該当する選択肢が回答された場合に、認知機能が低下していると判定されます。

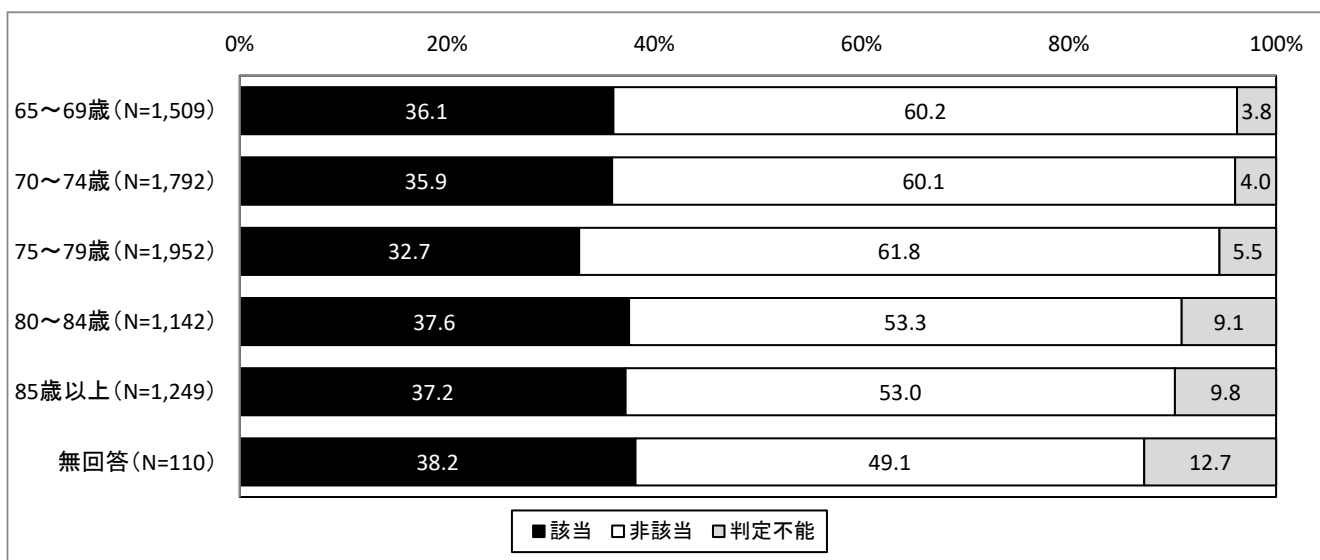
番号	設問内容	該当する選択肢
問 6(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい

⑧ うつ

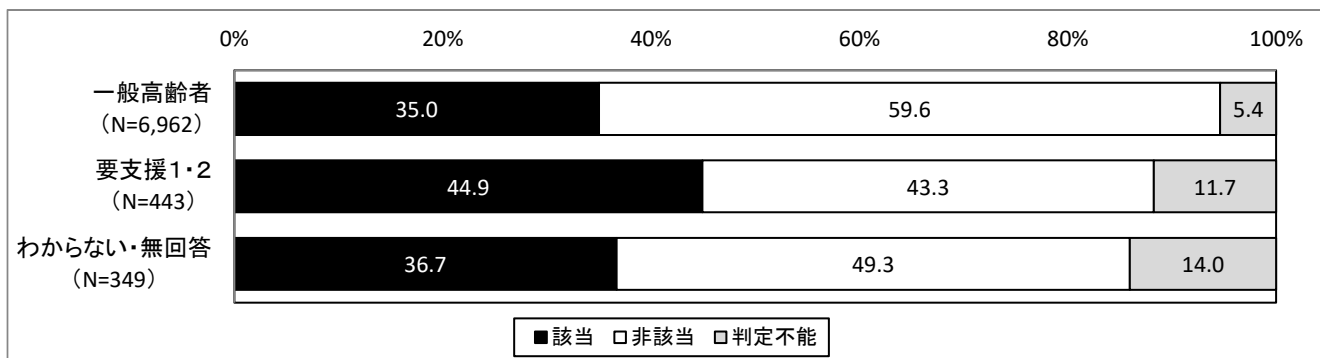
うつ傾向ありに該当している人の割合は、男性 34.1%、女性 36.8%となっており、性別による差は少なくなっています。



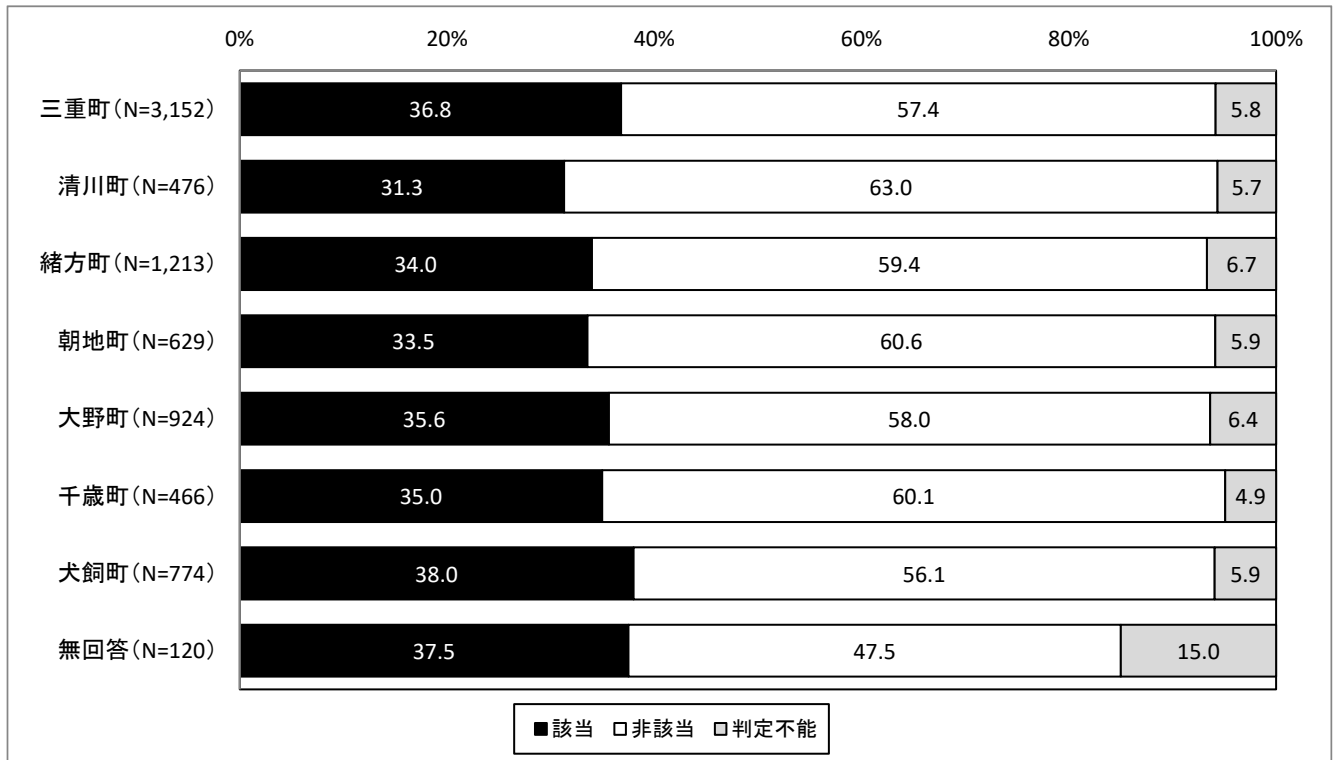
年齢別のうつ傾向をみると、年齢ごとにばらつきがあり 80～84 歳が 37.6%と最も高くなっています。



認定該当状況によるうつ傾向ありに該当している人の割合は、一般高齢者 35.0%、要支援1・2で 44.9%となっており、一般高齢者よりも要支援1・2の該当者割合が高くなっています。



圏域別によるうつ傾向ありに該当している人の割合は、犬飼町 38.0%が最も高く、清川町 31.3%が最も低くなっています。



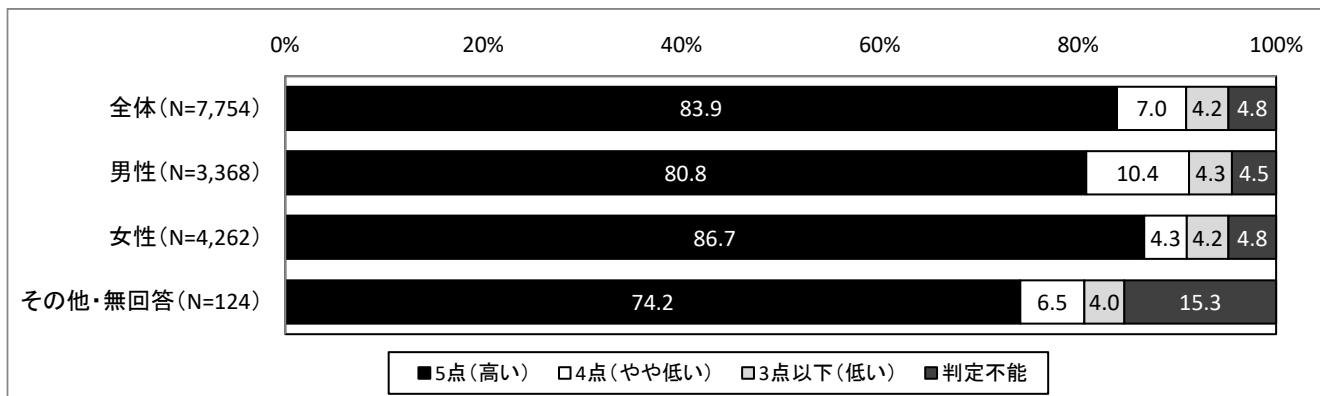
以下の設問でいずれか1問でも、該当する選択肢が回答された場合に、うつ傾向にあると判定されます。

番号	設問内容	該当する選択肢
問9(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問9(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

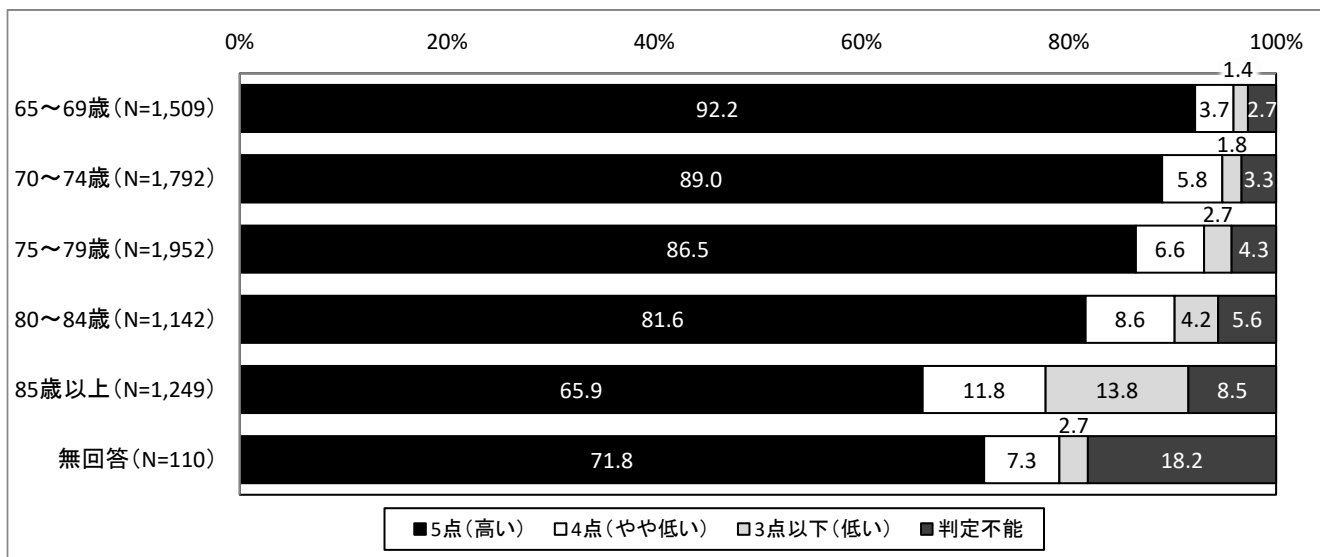
(2) 日常生活

① IADL (手段的日常生活動作能力)

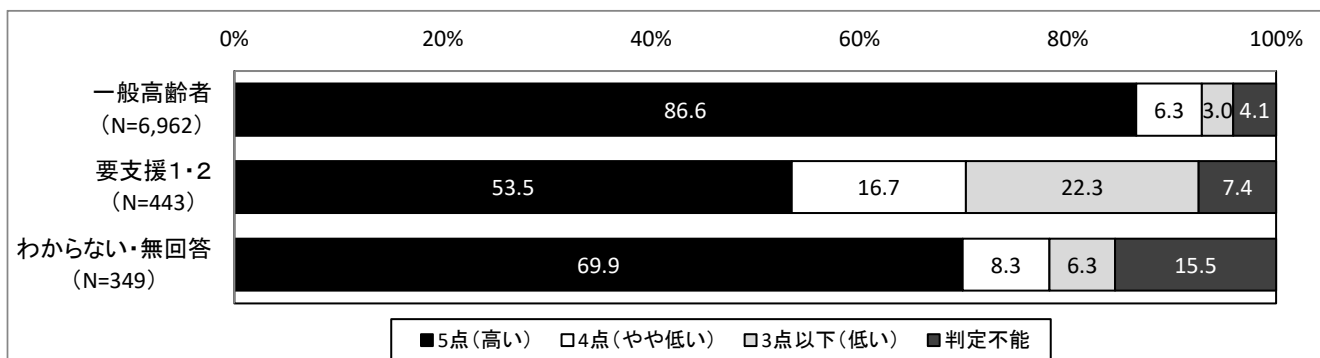
IADLにおいて「高い」に該当している人の割合は、男性 80.8%、女性 86.7%となっており、男性よりも女性の該当者割合が高くなっています。



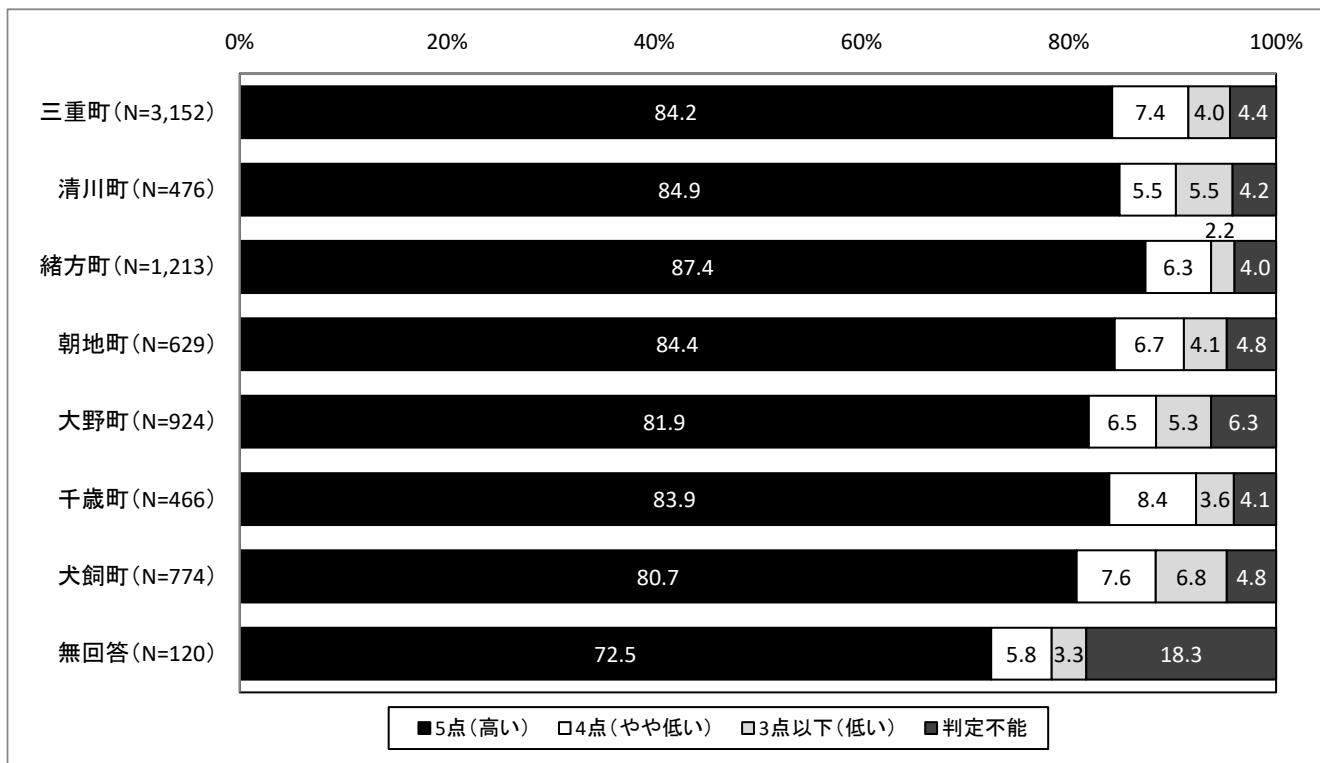
年齢別の IADL では、年齢が高くなるほど「高い」に該当している人の割合が低くなっています。



認定該当状況による IADL において「高い」に該当している人の割合は、一般高齢者 86.6%、要支援 1・2 で 53.5%となっており、要支援 1・2 よりも一般高齢者の該当者割合が高くなっています。



圏域別による I A D Lにおいて「高い」に該当している人の割合は、緒方町 87.4%が最も高く、犬飼町 80.7%が最も低くなっています。

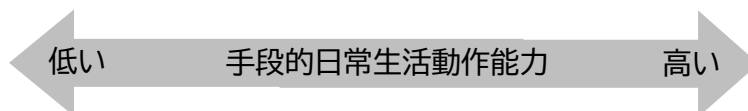


以下の設問で、該当する選択肢が回答された場合に各1点とし、その合計点数で評価を行いました。

番号	設問内容	該当する選択肢
問 6(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	「1. できるし、している」 または 「2. できるけどしていない」に1点
問 6(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問 6(6)	自分で食事の用意をしていますか	
問 6(7)	自分で請求書の支払いをしていますか	
問 6(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

【合計点数 判定基準】

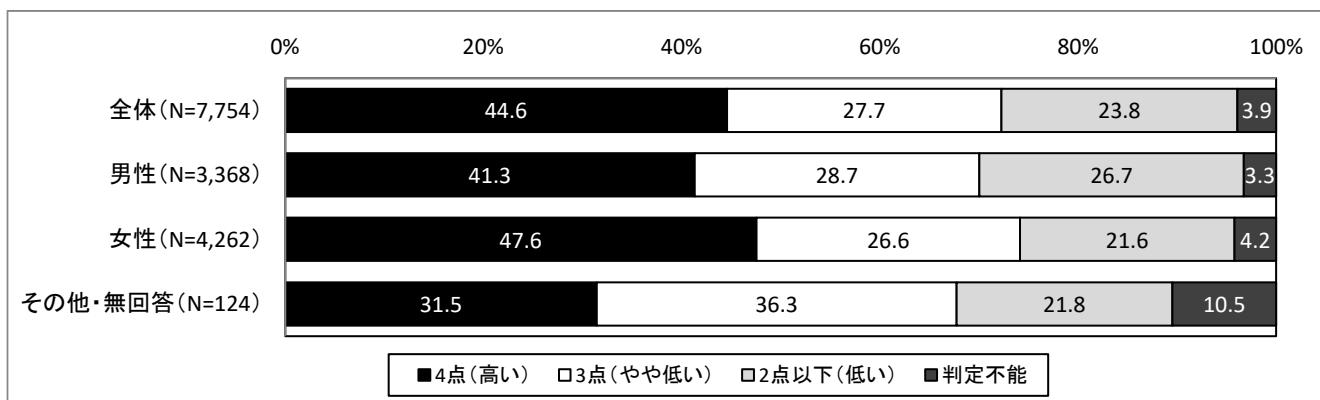
0～3点	4点	5点
低い	やや低い	高い



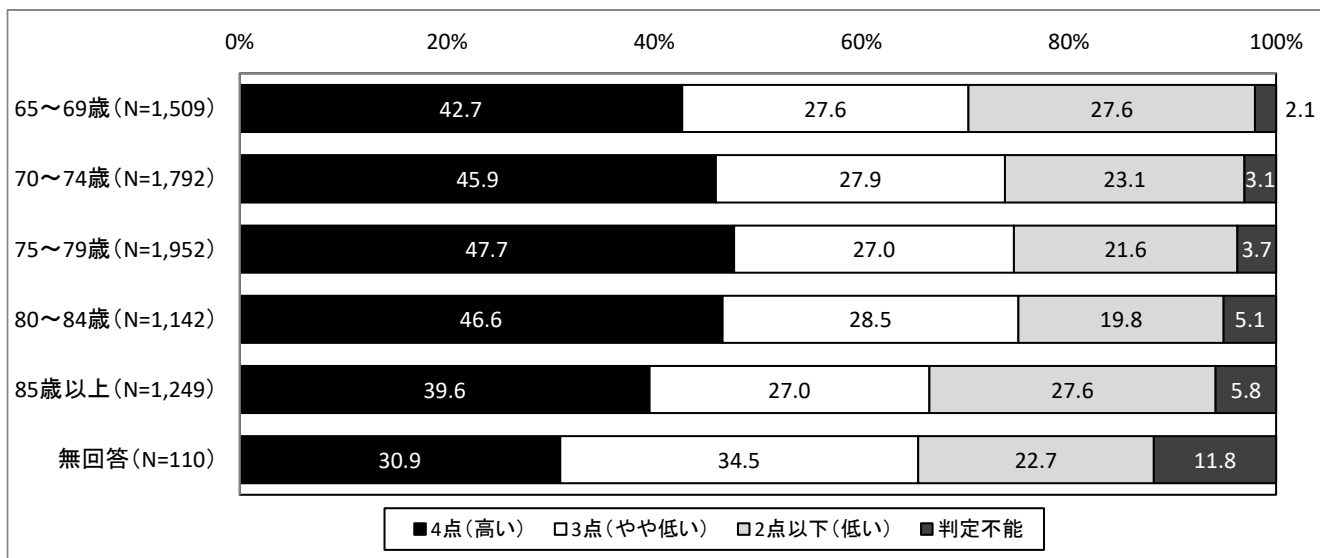
(3) 社会参加

① 知的能動性

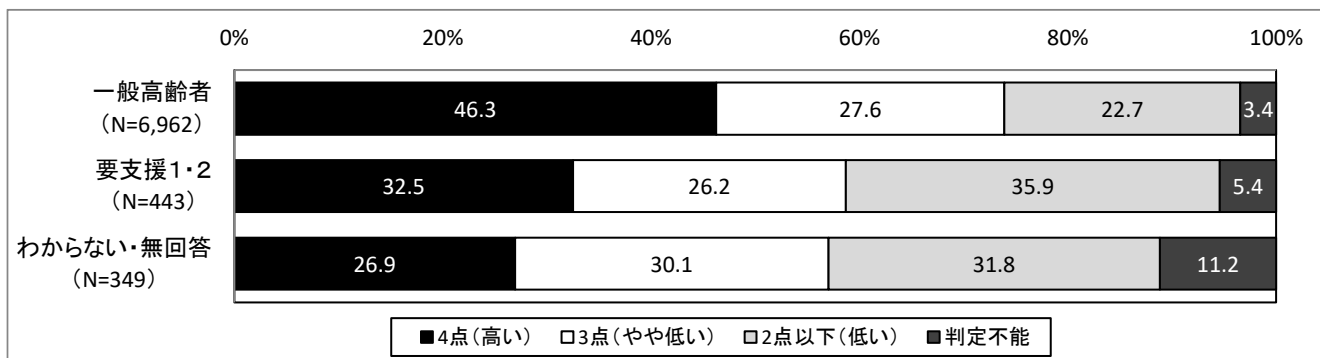
知的能動性において「高い」に該当している人の割合は、男性 41.3%、女性 47.6%となっており、男性よりも女性の該当者割合が高くなっています。



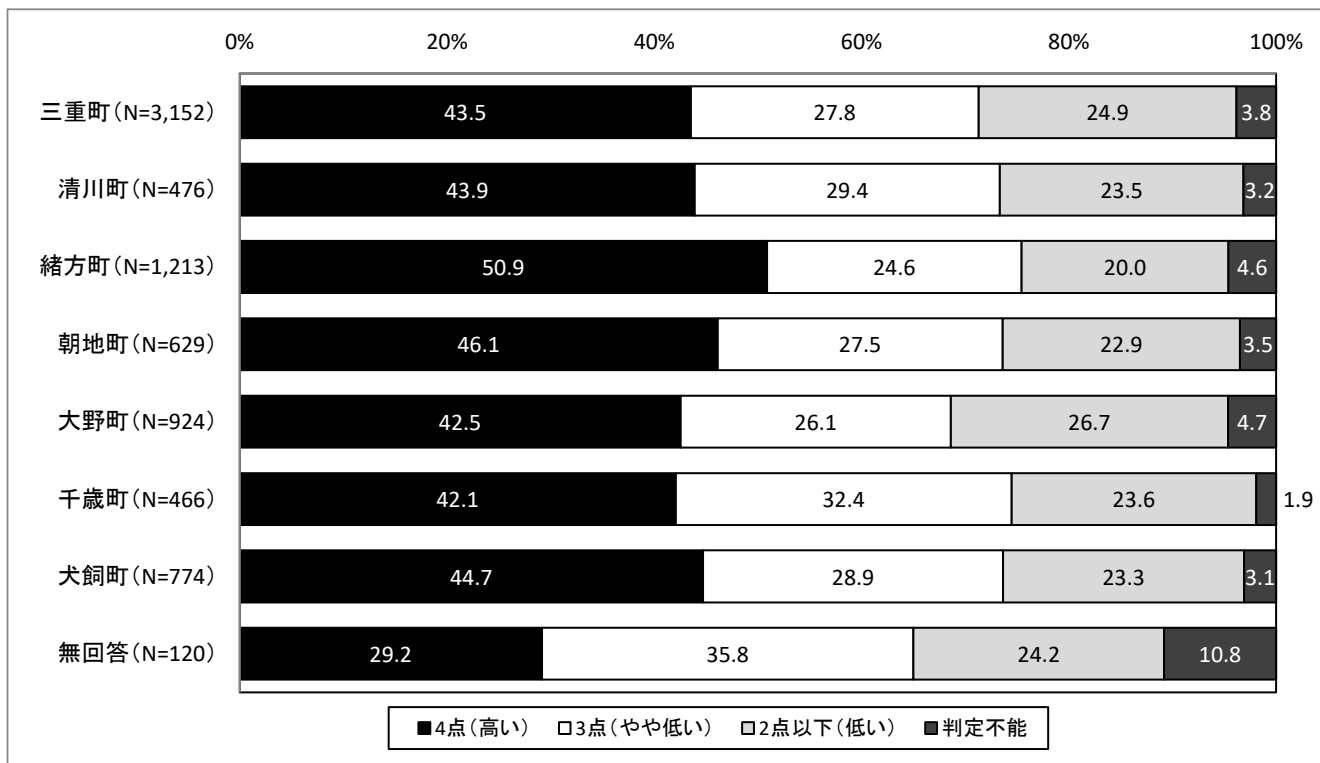
年齢別の知的能動性をみると、年齢ごとにばらつきがあり 75～79 歳が 47.7%と最も高くなっています。



認定該当状況による知的能動性において「高い」に該当している人の割合は、一般高齢者 46.3%、要支援 1・2 で 32.5%となっており、要支援 1・2 よりも一般高齢者の該当者割合が高くなっています。



圏域別による知的能動性において「高い」に該当している人の割合は、緒方町 50.9%が最も高く、千歳町 42.1%が最も低くなっています。

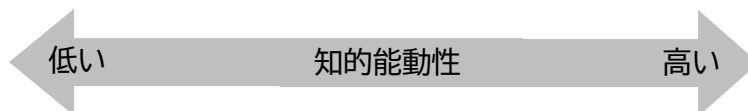


以下の設問で、該当する選択肢が回答された場合に各1点とし、その合計点数で評価を行いました。

番号	設問内容	該当する選択肢
問 6(9)	年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか	「1. はい」に1点
問 6(10)	新聞を読んでいますか	
問 6(11)	本や雑誌を読んでいますか	
問 6(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	

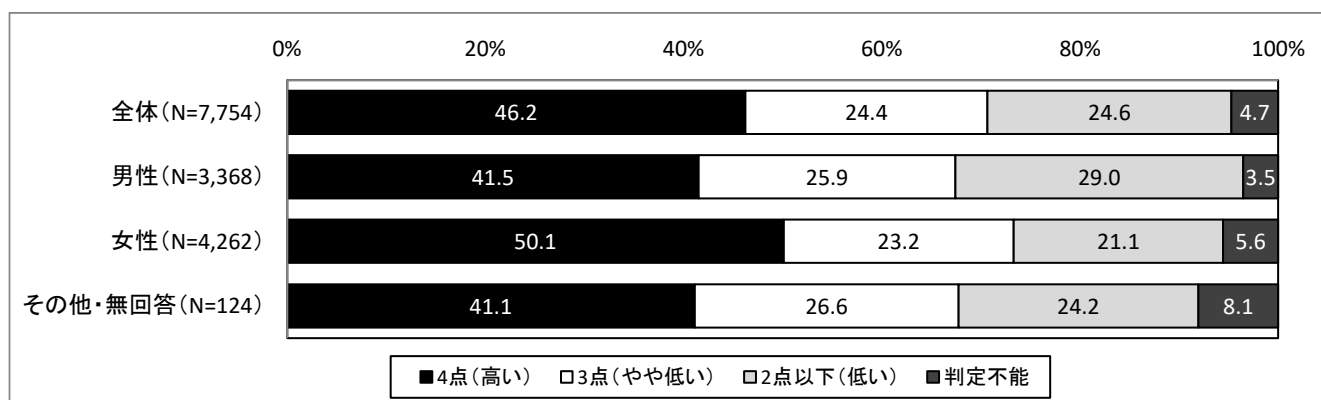
【合計点数 判定基準】

0～2点	3点	4点
低い	やや低い	高い

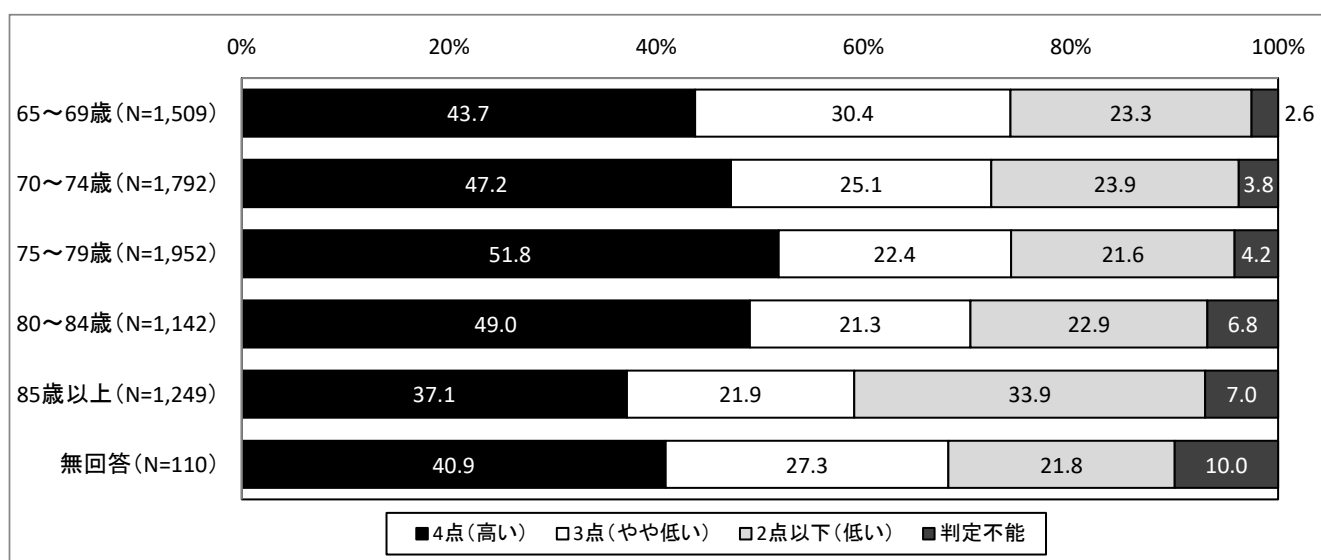


② 社会的役割

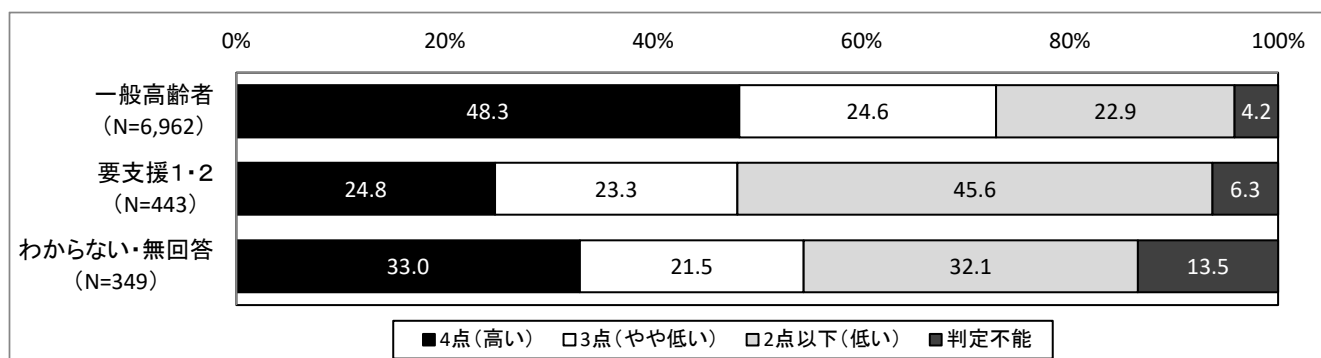
社会的役割において「高い」に該当している人の割合は、男性 41.5%、女性 50.1%となっており、男性よりも女性の該当者割合が高くなっています。



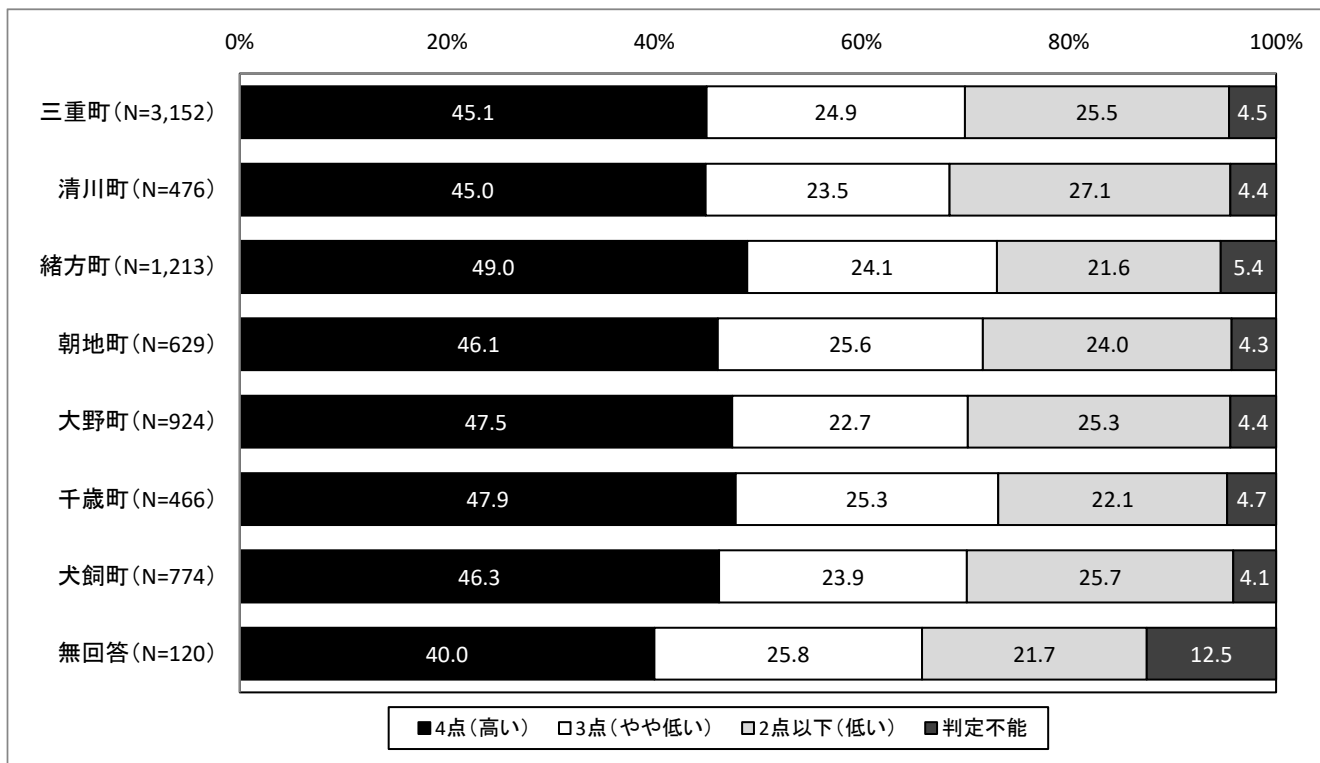
年齢別の社会的役割をみると、年齢ごとにばらつきがあり「高い」に該当している人の割合は、75～79歳が51.8%と最も高くなっています。



認定該当状況による社会的役割において「高い」に該当している人の割合は、一般高齢者 48.3%、要支援1・2で24.8%となっており、要支援1・2よりも一般高齢者の該当者割合が高くなっています。



圏域別による社会的役割において「高い」に該当している人の割合は、緒方町 49.0%が最も高く、清川町 45.0%が最も低くなっています。

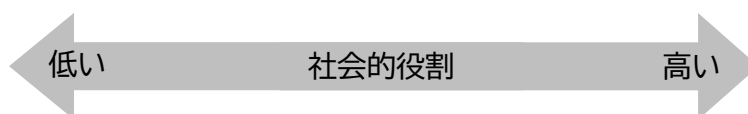


以下の設問で、該当する選択肢が回答された場合に各1点とし、その合計点数で評価を行いました。

番号	設問内容	該当する選択肢
問 6(13)	友人の家を訪ねていますか	「1. はい」に1点
問 6(14)	家族や友人の相談にのっていますか	
問 6(15)	病人を見舞うことができますか	
問 6(16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	

【合計点数 判定基準】

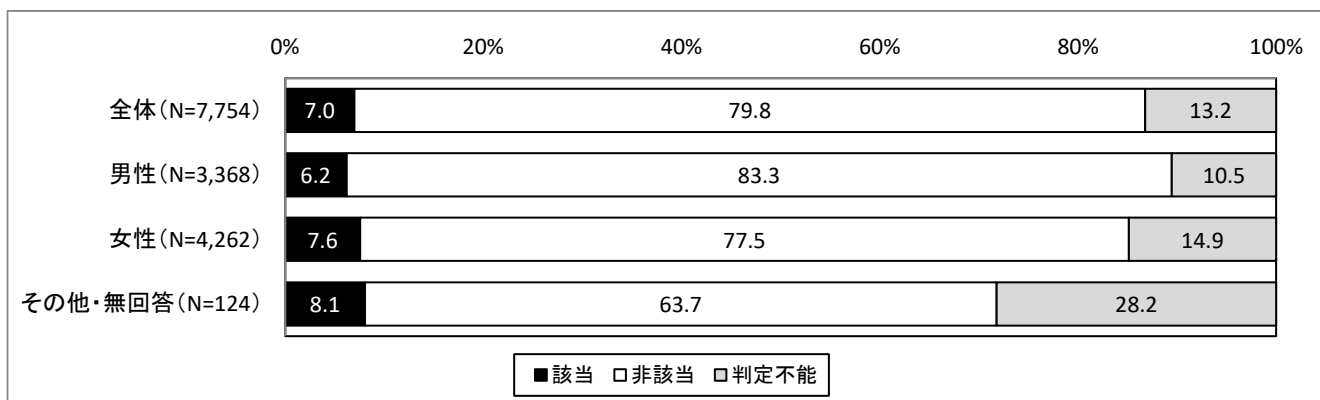
0～2点	3点	4点
低い	やや低い	高い



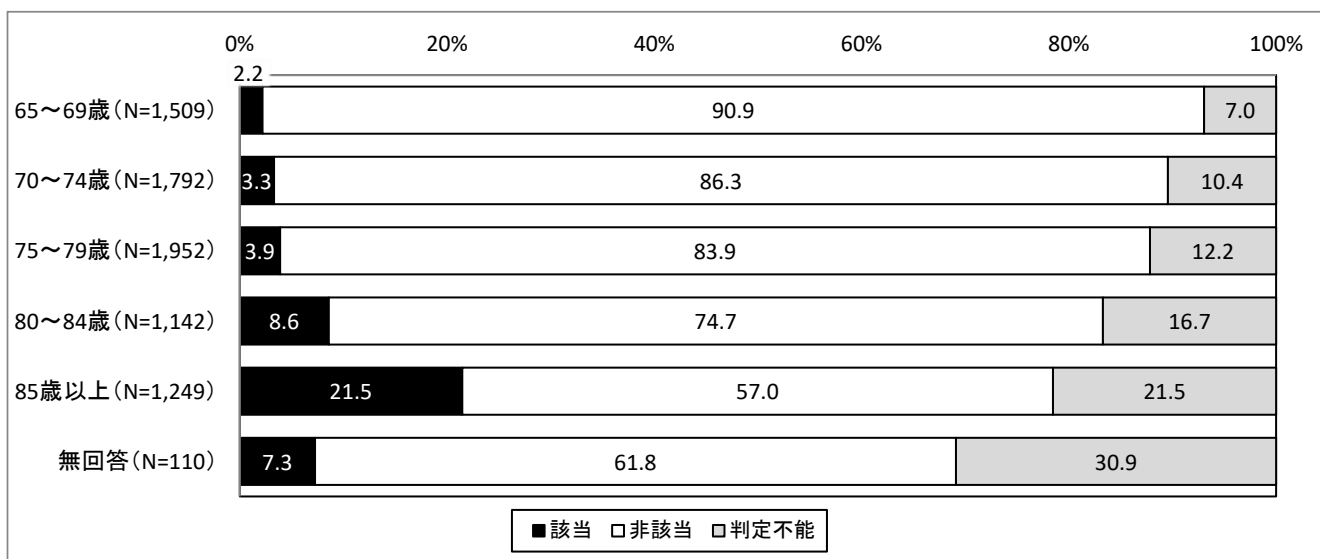
(4) 生活機能総合評価

① 虚弱のリスク

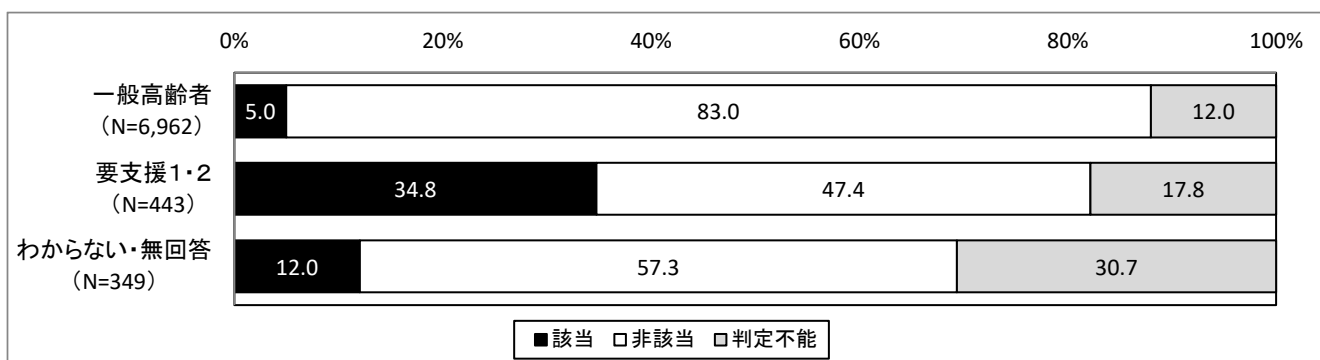
虚弱リスクありに該当している人の割合は、男性 6.2%、女性 7.6%となっており、性別による差は少なくなっています。



年齢別の虚弱リスクをみると、高齢になるほど該当者割合が高くなる傾向にあり、85歳以上の該当者割合が高くなっています。

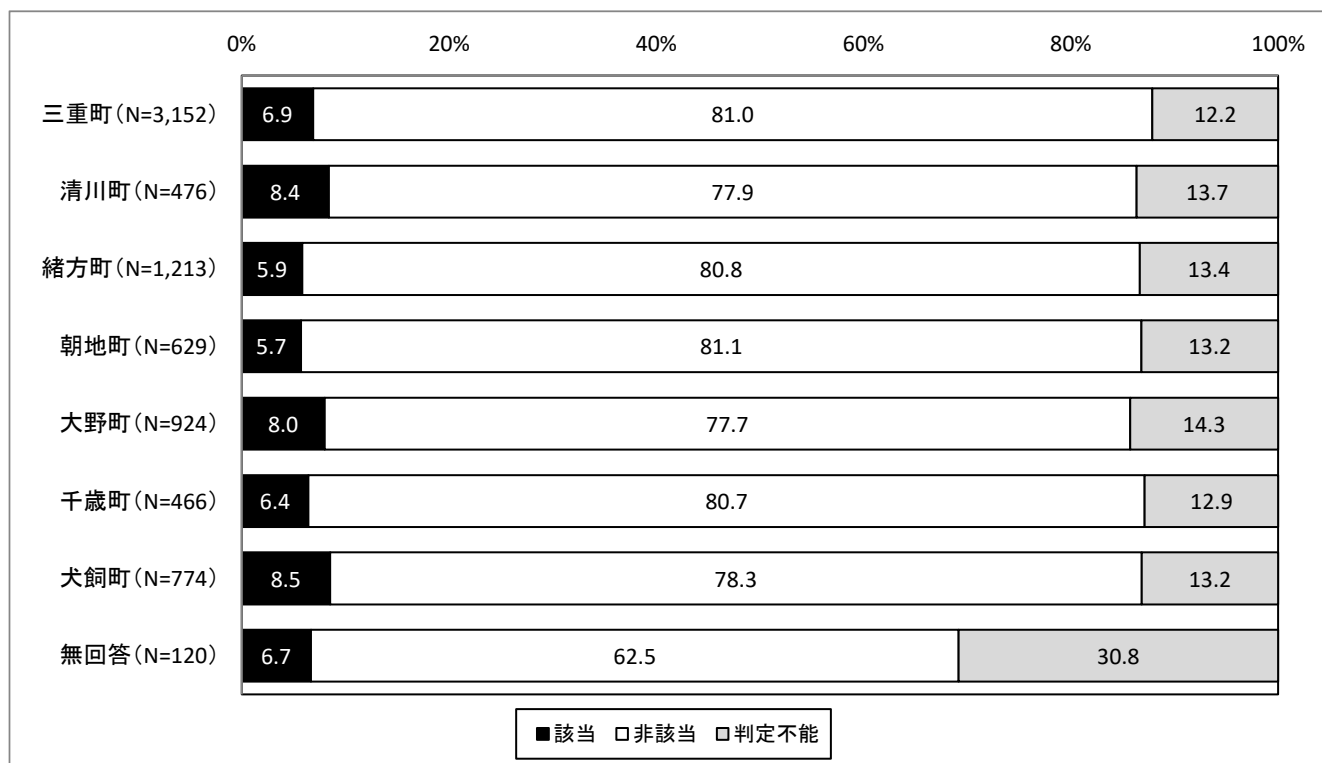


認定該当状況による虚弱リスクありに該当している人の割合は、一般高齢者 5.0%、要支援1・2で 34.8%となっており、一般高齢者よりも要支援1・2の該当者割合が高くなっています。



第3章 判定結果

虚弱リスクありに該当している人の圏域別による割合は、犬飼町 8.5%が最も高く、朝地町 5.7%が最も低くなっています。



以下の設問のうち 10 問以上、該当する選択肢が回答された場合に、虚弱のリスクありと判定されます。

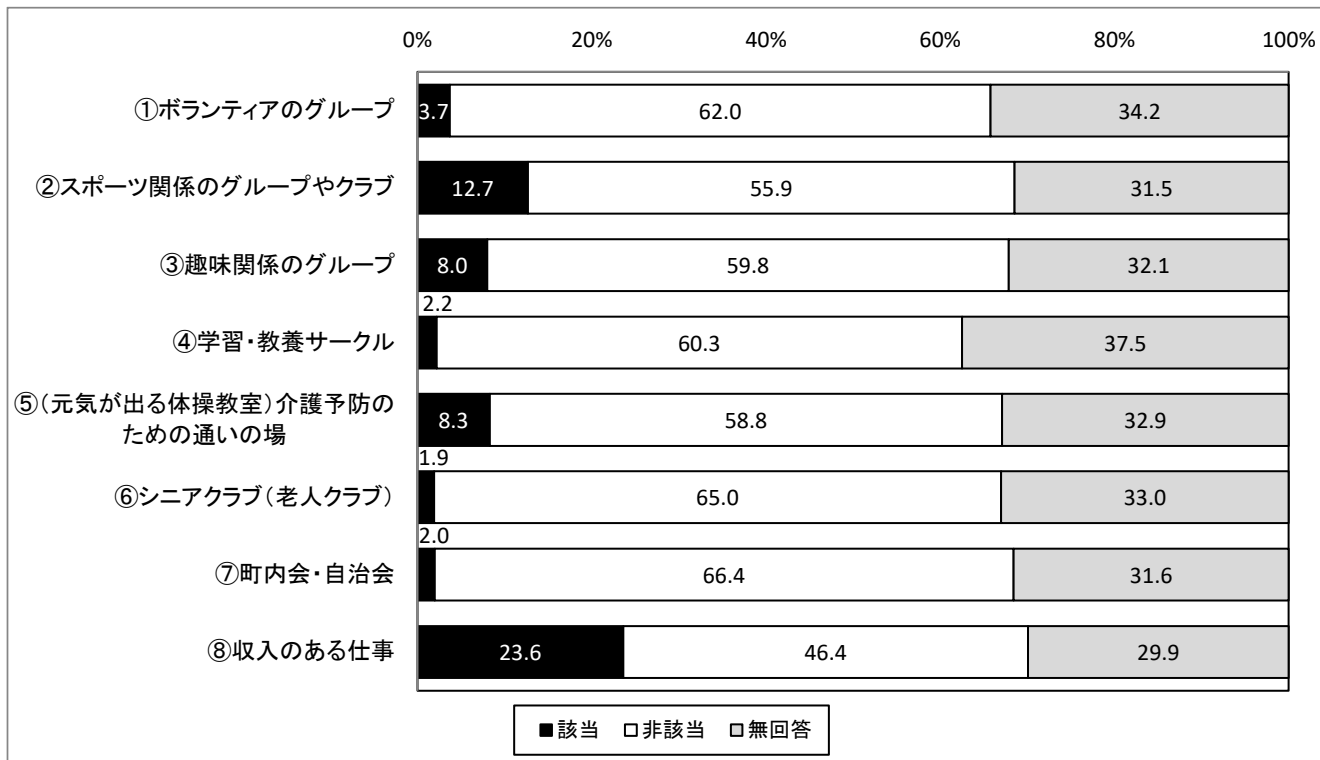
番号	設問内容	該当する選択肢
問 4(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問 4(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問 4(3)	15 分位続けて歩いていますか	3. できない
問 4(4)	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1 度ある
問 4(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である
問 4(6)	週に 1 回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない
問 4(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている
問 5(1)	身長・体重により BMI を算出	BMI が 18.5 以下
問 5(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問 5(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問 5(4)	口の湯きが気になりますか	1. はい
問 5(7)	6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい
問 6(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい
問 6(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2. いいえ
問 6(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい
問 6(4)	バスや電車を使って 1 人で外出していますか (自家用車でも可)	3. できない
問 6(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	3. できない
問 6(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	3. できない
問 6(13)	友人の家を訪ねていますか	2. いいえ
問 6(14)	家族や友人の相談にのっていますか	2. いいえ

2 社会参加に関して

(1) 地域活動への参加状況

① 社会参加率

「週4回以上」「週2～3回」「週1回」のいずれかに回答された社会参加に該当する人は、⑧収入のある仕事が23.6%、②スポーツ関係のグループやクラブが12.7%、⑤（元気が出る体操教室）介護予防のための通いの場が8.3%となっています。いずれの項目においても、非該当の割合が多くなっています。



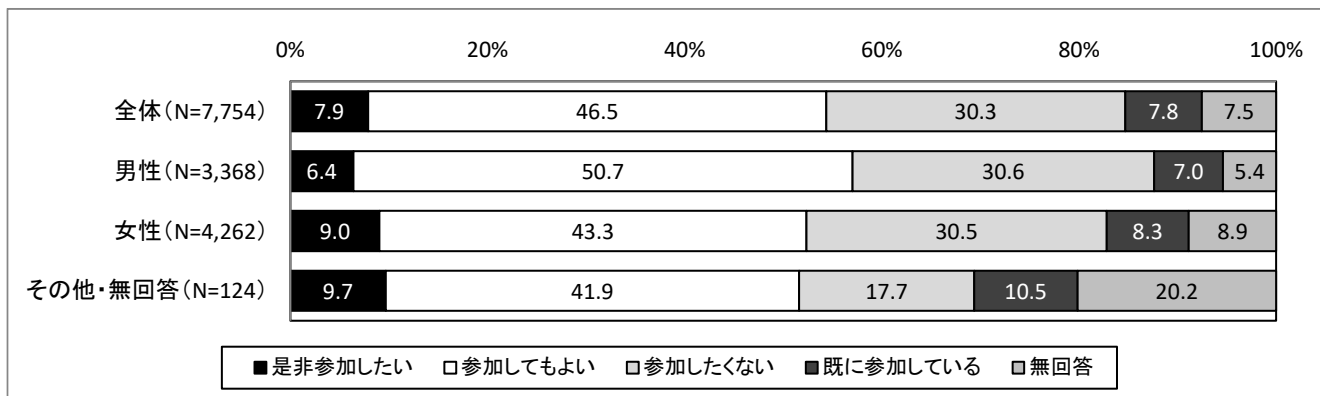
以下の設問において該当する選択肢が回答された割合を、社会参加率としています。

番号	設問内容	該当する選択肢
問7(1)	以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか ※①～⑧それぞれに回答	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回

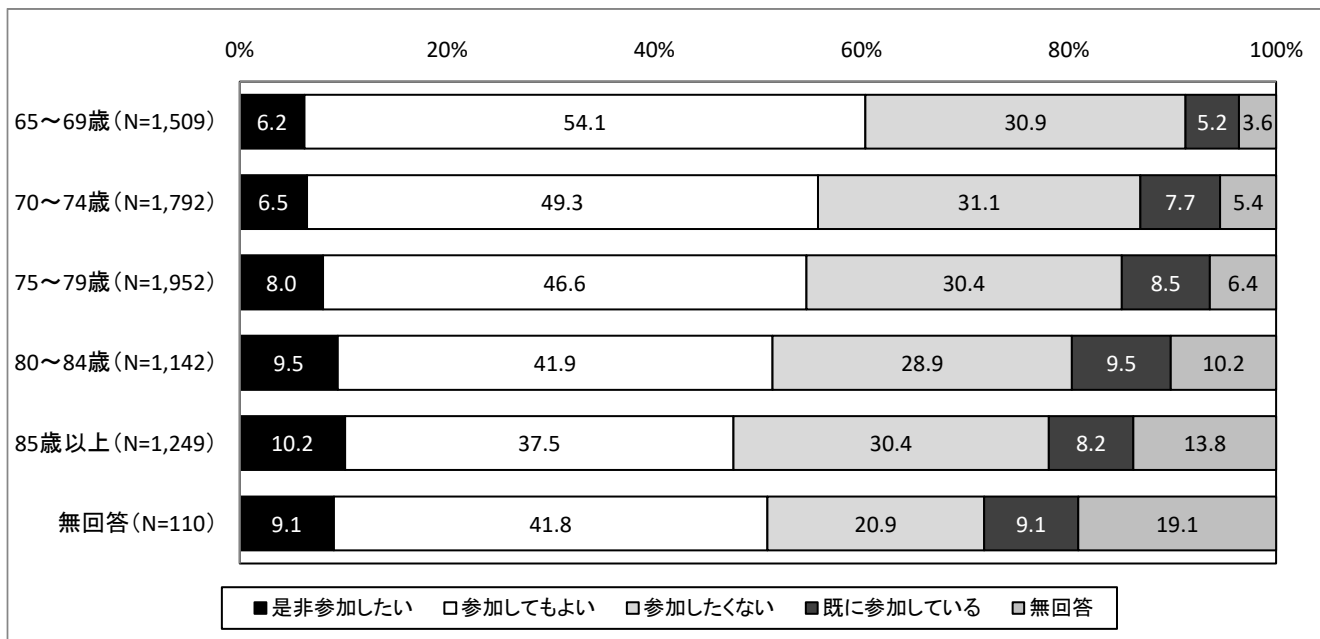
(2) 地域づくりへの参加状況

① 参加者としての参加

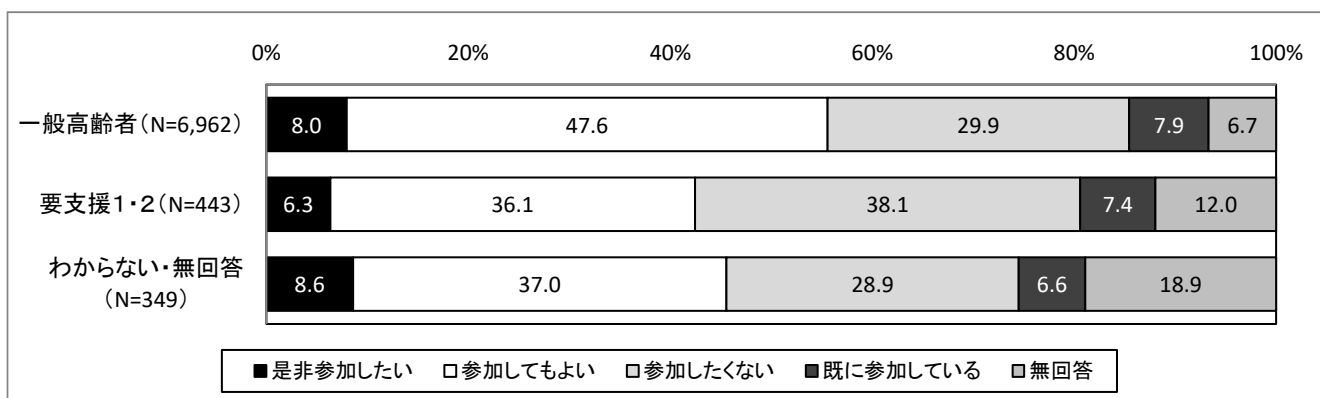
健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかについて、男女別に見ると、男性は「参加してもよい」が女性より多く、女性は「是非参加したい」が男性より多くなっています。



年齢別に見ると、65～69歳では「参加してもよい」が54.1%で最も多くなっています。

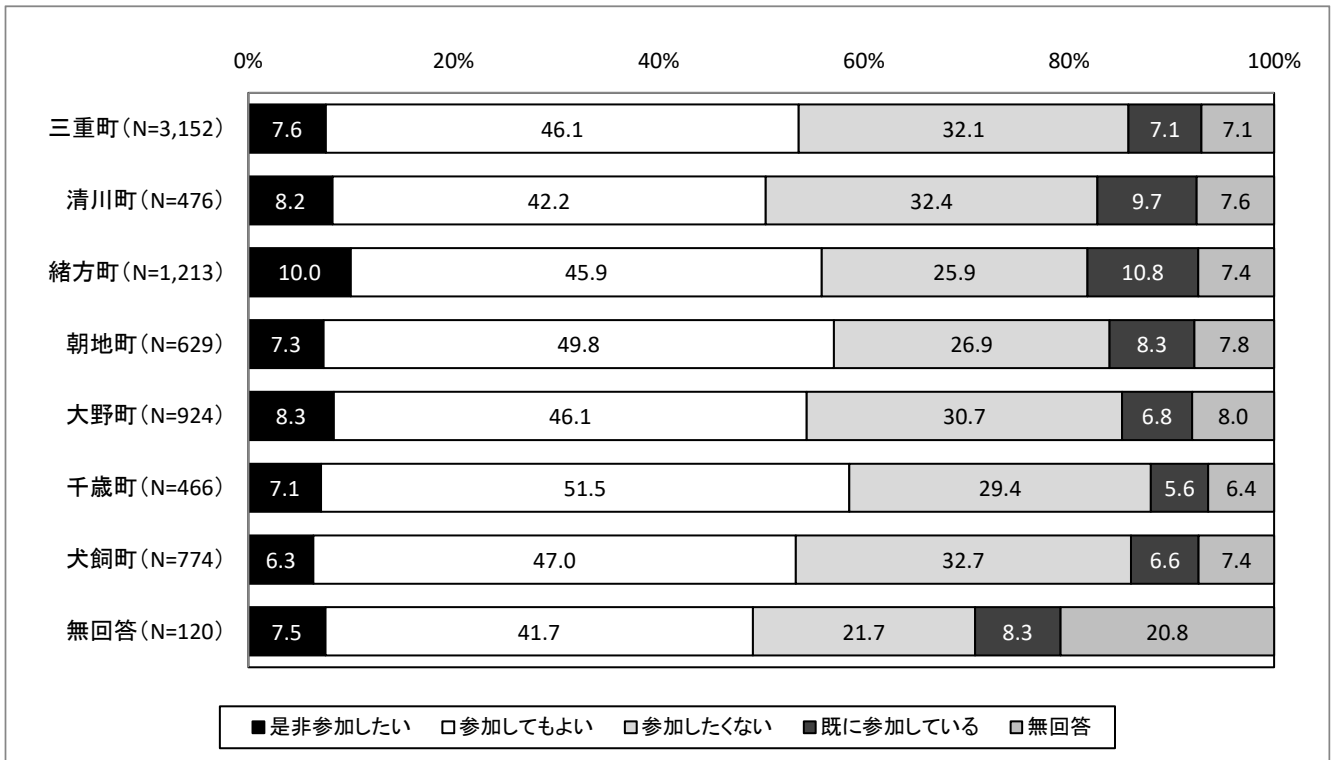


認定該当状況で見ると、要支援1・2では「参加したくない」が一般高齢者より多くなっています。



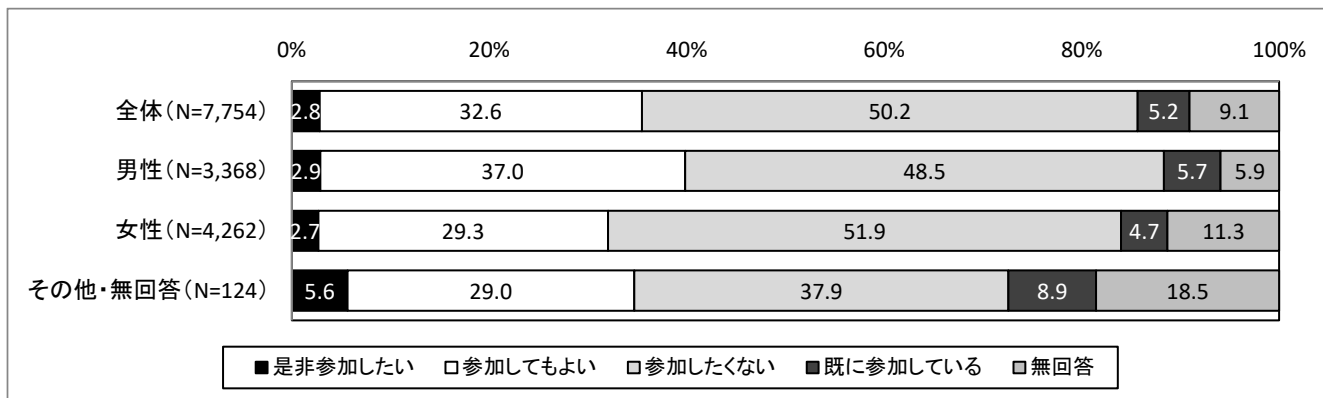
第3章 判定結果

圏域別に見ると、千歳町は「参加してもよい」、緒方町は「是非参加したい」が他の圏域より多くなっています。

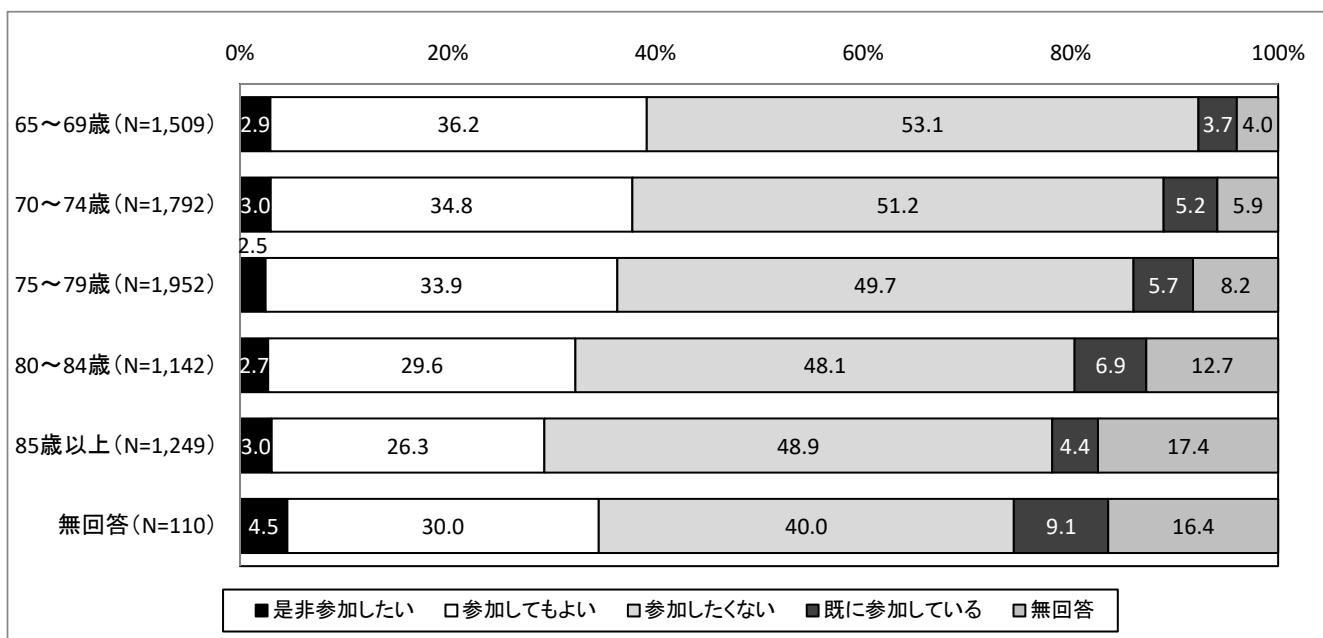


② 企画・運営（お世話役）としての参加

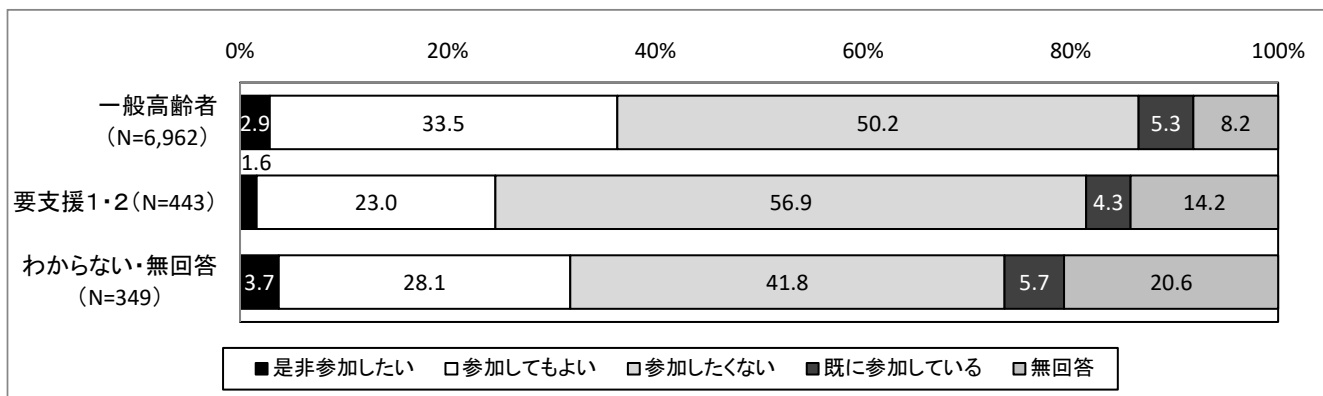
健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかについて、男女別に見ると、男性は「参加してもよい」が女性より多く、女性は「参加したくない」が男性より多くなっています。



年齢別に見ると、65～69歳では「参加してもよい」が36.2%で最も多くなっています。

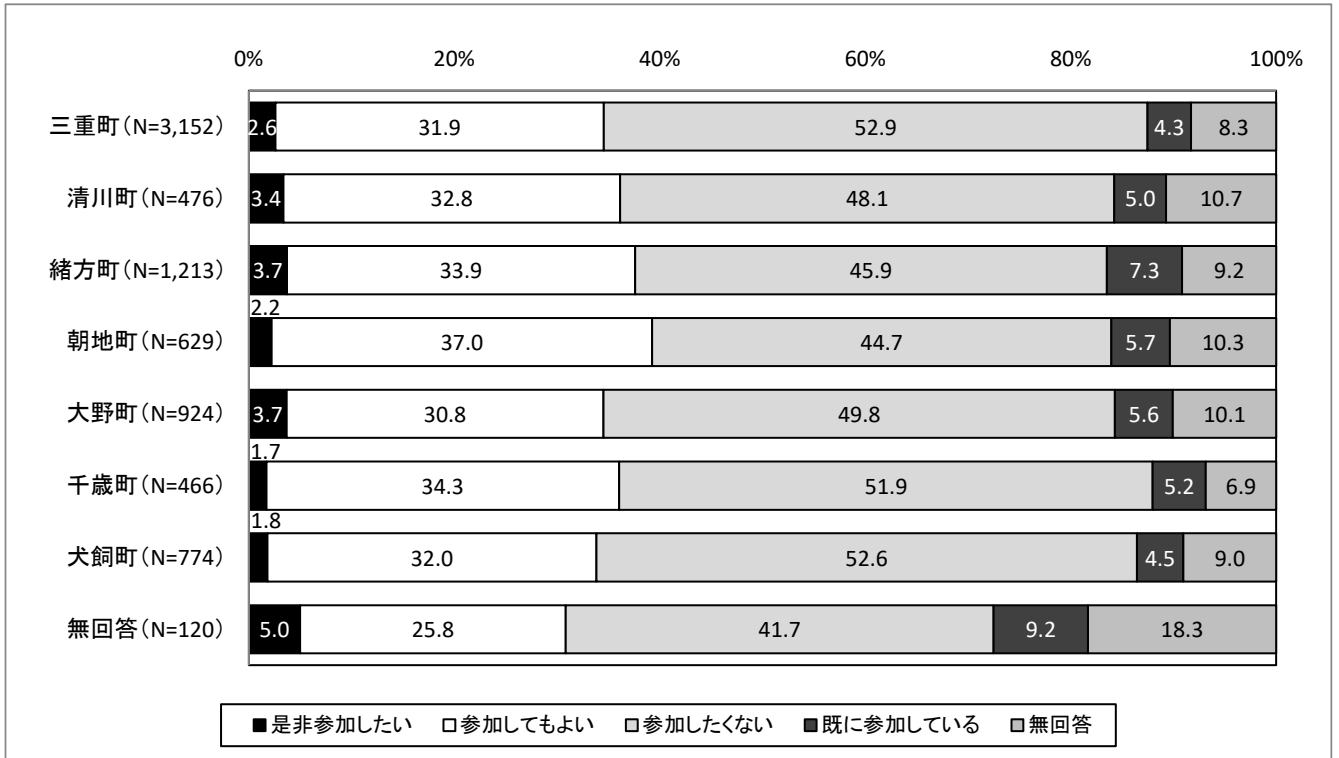


認定該当状況で見ると、要支援1・2では「参加したくない」が一般高齢者より多くなっています。



第3章 判定結果

圏域別に見ると、朝地町は「参加してもよい」、緒方町は「既に参加している」が他の圏域より多くなっています。



第4章 調査総括

第4章 調査総括

1 調査結果を踏まえた課題と施策の方向性

本調査は、「第10期豊後大野市介護保険事業計画」の策定に向けて、市内高齢者の生活状況、健康状態、社会参加の実態等を把握し、今後の高齢者福祉施策及び介護予防施策の検討に資する基礎資料とすることを目的として実施しました。

以下では、第2章及び第3章に示した調査結果に基づき、豊後大野市における高齢者の現状を整理するとともに、今後の課題及び施策の方向性を総括します。

(1) 自立した生活の維持と生活機能の現状

本調査では、IADLにおいて「高い」に該当する高齢者が83.9%と多く、現在の健康状態についても「よい」が76.6%を占めており、多くの高齢者が自立した生活を維持している状況が確認されました。また、週2回以上外出している人は約8割にのぼり、外出頻度が「減っていない」が75.3%となっていることから、日常生活の活動性も概ね維持されているといえます。

一方で、年齢が上がるにつれて生活機能の低下傾向がみられ、85歳以上では各種機能低下リスクが高まっています。自立状態を維持している今の段階から、予防的な取組を強化していくことが重要です。

(2) 運動機能・転倒リスクと身体機能低下への対応

転倒リスク該当者は34.9%、運動器機能低下該当者も15.5%みられ、特に85歳以上や要支援1・2では該当率が高くなっています。虚弱リスクは全体で7.0%ですが、要支援1・2では34.8%と高い状況です。

また、外出を控える理由として「足腰などの痛み」が46.9%と最も多く、身体機能の低下が活動量の減少につながっていることがうかがえます。今後は、通いの場や運動教室の充実、専門職との連携による支援などを通じて、転倒予防と身体機能の維持を一層推進していく必要があります。

(3) 外出機会と移動手段への不安

外出頻度については、週1回以上外出している人が大多数を占めていますが、昨年と比べて外出回数が「減っている」と回答した人は23.6%となっています。また、「外出を控えている」と回答した人は18.9%となっています。「閉じこもり傾向あり」に該当する人は全体で21.0%となっており、年齢が高くなるほど割合が上昇しています。

移動手段については、「自分や家族が運転できなくなる」ことへの不安が72.3%と高く、将来利用したい移動手段として「タクシー」56.8%、「バス」47.3%が上位となっています。今後は、高齢化の進行を見据え、移動支援の充実や地域交通の確保に取り組むことが重要です。

(4) 口腔機能・栄養状態とフレイル予防

口腔機能の低下に該当する人は全体で24.8%となっており、年齢が高くなるほど該当者割合が増加する傾向にあります。半年前に比べて「固いものが食べにくくなった」と感じている人は33.6%、「むせることがある」人は26.4%となっています。

低栄養状態に該当する人の割合は低いものの、6か月間で2~3kg以上の体重減少があった人は14.0%存在しており、口腔機能や栄養状態の変化を早期に把握することが重要です。

これらの結果から、歯科保健や栄養指導を含めた総合的なフレイル予防の取組を進める必要があります。

(5) 社会参加と地域とのつながり

地域活動への参加状況を見ると、週1回以上の参加者は、収入のある仕事が23.6%、スポーツ関係のグループが12.7%、介護予防のための通いの場が8.3%にとどまっており、多くの高齢者は定期的な活動には参加していない状況です。一方で、健康づくりや趣味活動に「参加してもよい」と回答した人は46.5%となっており、参加意向を有する層は一定数存在しています。

また、家族や友人以外に相談相手が「いない」とする人が28.7%みられることから、地域とのつながりが十分とはいえない層も存在しています。今後は、参加意向を具体的な行動につなげる仕組みづくりと合わせて、通いの場や地域活動を通じた見守り・相談機能の充実を図ることが重要です。

(6) 健康状態・認知機能・精神面の状況

自身の健康状態を「よい」と感じている人は76.6%と高い一方で、年齢が高くなるほどその割合は低下しています。治療中又は後遺症のある病気としては、高血圧が48.1%と最も多く、生活習慣病を抱える高齢者が一定数存在しています。年齢が高くなるにつれて心臓病や筋骨格系疾患なども増加しており、疾病管理と介護予防を一体的に進めていく必要があります。

認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人は10.2%となっていますが、認知症に関する相談窓口を「知っている」と回答した人は38.1%にとどまっており、支援体制の周知が十分とはいえない状況です。

加えて、認知機能低下のリスクが一定割合で認められることから、相談窓口の認知度向上と地域における支援ネットワークの充実が重要となります。更には認知症予防と早期発見の体制強化を図り、社会参加や交流の機会を通じた孤立予防を推進することにより、認知症になっても安心して暮らせる地域の整備が求められます。

(7) 認知症に対する意識と権利擁護に関する課題

将来の不安としては「身体（病気等）」が44.9%、「身の回りのこと」が41.8%と多く、健康状態や日常生活の継続に対する不安が大きいことがうかがえます。加齢に伴う生活機能の低下や認知症への不安を踏まえ、今後の暮らし方を見据えた備えが求められています。

また、終末期の療養については、「自宅等で療養し必要時に入院したい」が38.1%、「最後まで自宅で過ごしたい」が25.6%となっており、在宅での生活継続を希望する人が一定程度みられます。一方で「医療機関に入院したい」も33.1%存在しており、療養場所に対する考え方は多様です。こうした多様な意向を尊重しながら、医療・介護・生活支援の切れ目ない連携体制の充実が重要です。

(8) 日常生活の困りごとと生活支援ニーズ

日常生活における「ちょっとした困りごと」については、「草刈り等家周りの環境整備」が48.8%と最も多く、次いで「簡単な家内外での修理・修繕（雨どい修繕など）」31.3%、「買い物代行」25.3%となっており、家周りの作業や日常生活の支援に対するニーズがみられます。特に85歳以上では、「買い物代行」「布団干し」「ごみ出し」など、日常生活に密接した支援を求める割合が他の年代と比べて高くなっています。

また、現在または将来的に「少し不安に思っていること」としては、「身体（病気等）のこと」が44.9%、「身の回りのことができるか」が41.8%、「自分自身の将来」が34.8%となっており、健康状態や日常生活の継続に対する不安が大きいことがうかがえます。よって、引き続き身体機能の維持向上のための取組や身体機能の低下に伴う日常生活の困りごとに対応するための取組が重要です。更には地域の支え合い活動や生活支援サービスの充実を図り、安心して生活を継続できる環境づくりが求められます。

2 総括

本市の高齢者は全体として高い自立度を維持し、日常生活や社会生活を主体的に営んでいる状況が確認されました。一方で、加齢に伴う身体機能の低下や転倒リスク、閉じこもり傾向、口腔機能の低下、更には認知機能や精神面の課題など、重度化につながる要因も着実に現れています。

また、社会参加には一定の意欲がみられるものの、実際の参加率は限定的であり、移動手段への不安や地域とのつながりの希薄化が今後の課題として浮き彫りとなりました。加えて、将来の生活や終末期の療養に対する考え方は多様であり、本人の意思を尊重した支援体制の整備が求められています。

さらに、草刈り等の家周りの環境整備や買い物代行など、日常生活における軽度の支援を必要とするニーズもみられることから、地域における生活支援体制の充実や支え合いの仕組みづくりを進めていくことが重要です。

これらを踏まえると、本市においては、引き続き自立を支える予防重視の取組を基盤としながら、フレイル対策、社会参加の促進、移動支援の充実、認知症施策の強化、そして医療・介護・生活支援の連携強化を総合的に推進していくことが必要です。高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境を整備することが、今後の施策展開における基本的な方向性となります。

豊後大野市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査報告書

発行年月 令和8年3月
発行 豊後大野市
編集 豊後大野市 高齢者福祉課 介護保険係
〒879-7198 豊後大野市三重町市場 1200 番地
TEL 0974-22-1076 FAX 0974-22-6653
